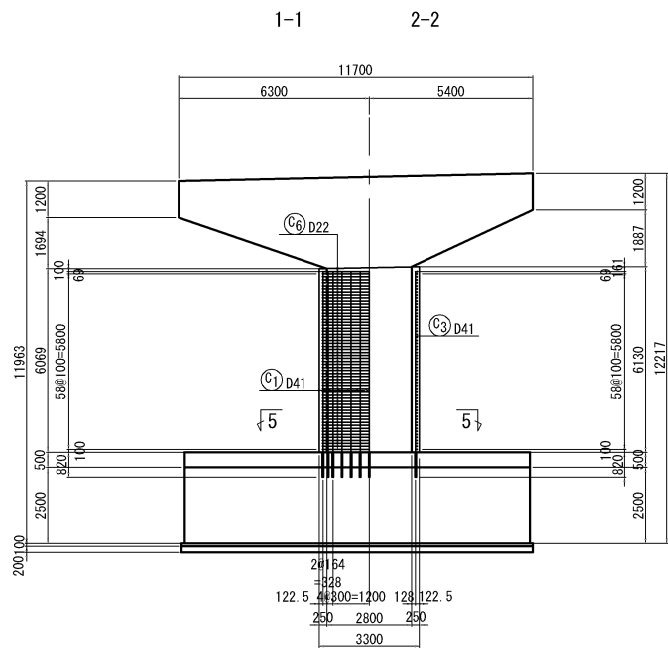
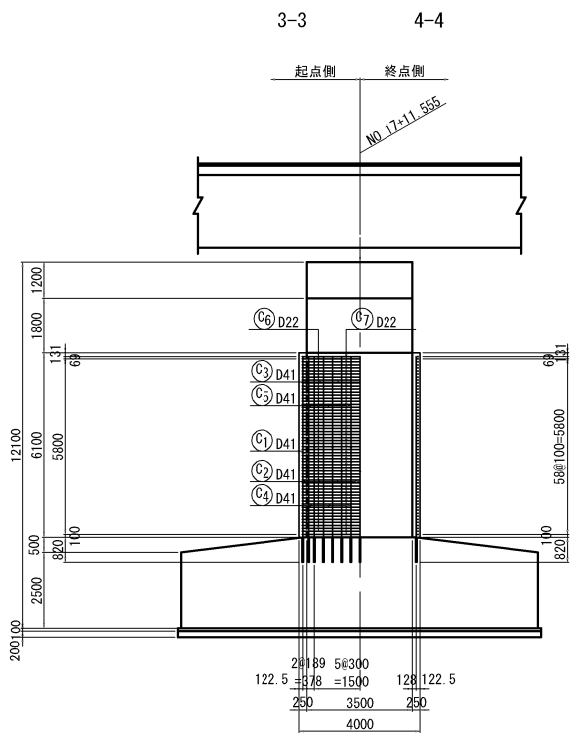


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図（RC橋脚 単柱式） RC巻立て 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

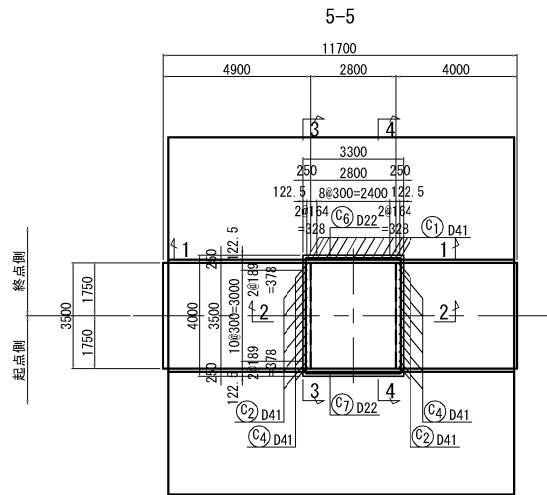
正面図 S=1:250



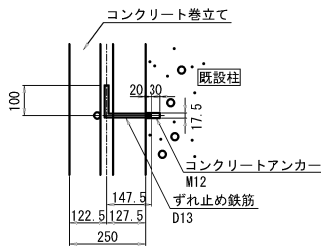
側面図 S=1:250



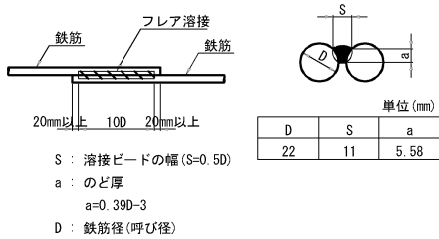
平面図 S=1:250



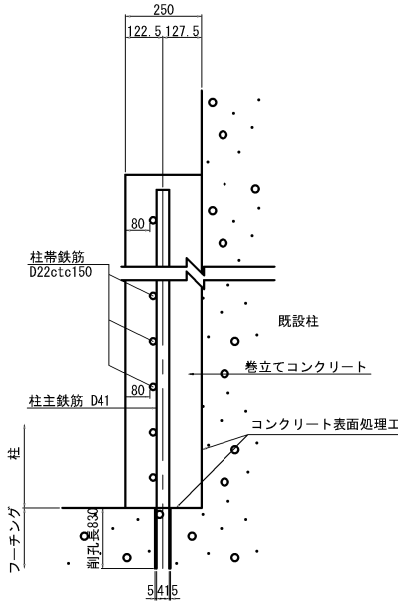
組立て筋詳細図 S=1/25



フレア溶接詳細図 S=1/25



かぶり詳細図 S=1:25



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
C1	D41	6790	26	10.5	71.30	1854	
C2	D41	3000	13	10.5	31.50	410	<13>
C3	D41	3790	13	10.5	39.80	517	
C4	D41	3790	13	10.5	39.80	517	<13>
C5	D41	3000	13	10.5	31.50	410	
C6	D22	7230	60	3.04	21.98	1319	<60>
C7	D22	7230	60	3.04	21.98	1319	<60>
6346 kg							
ガス圧接手箇所数							合 計
D41	3708 kg	<26>				3708 kg	
D22	2638 kg	<120>				2638 kg	
合 計	6346 kg	<26>				6346 kg	
T1	D13	240	90	0.995	0.239	22	L
D13							22 kg

鉄筋曲げ加工表

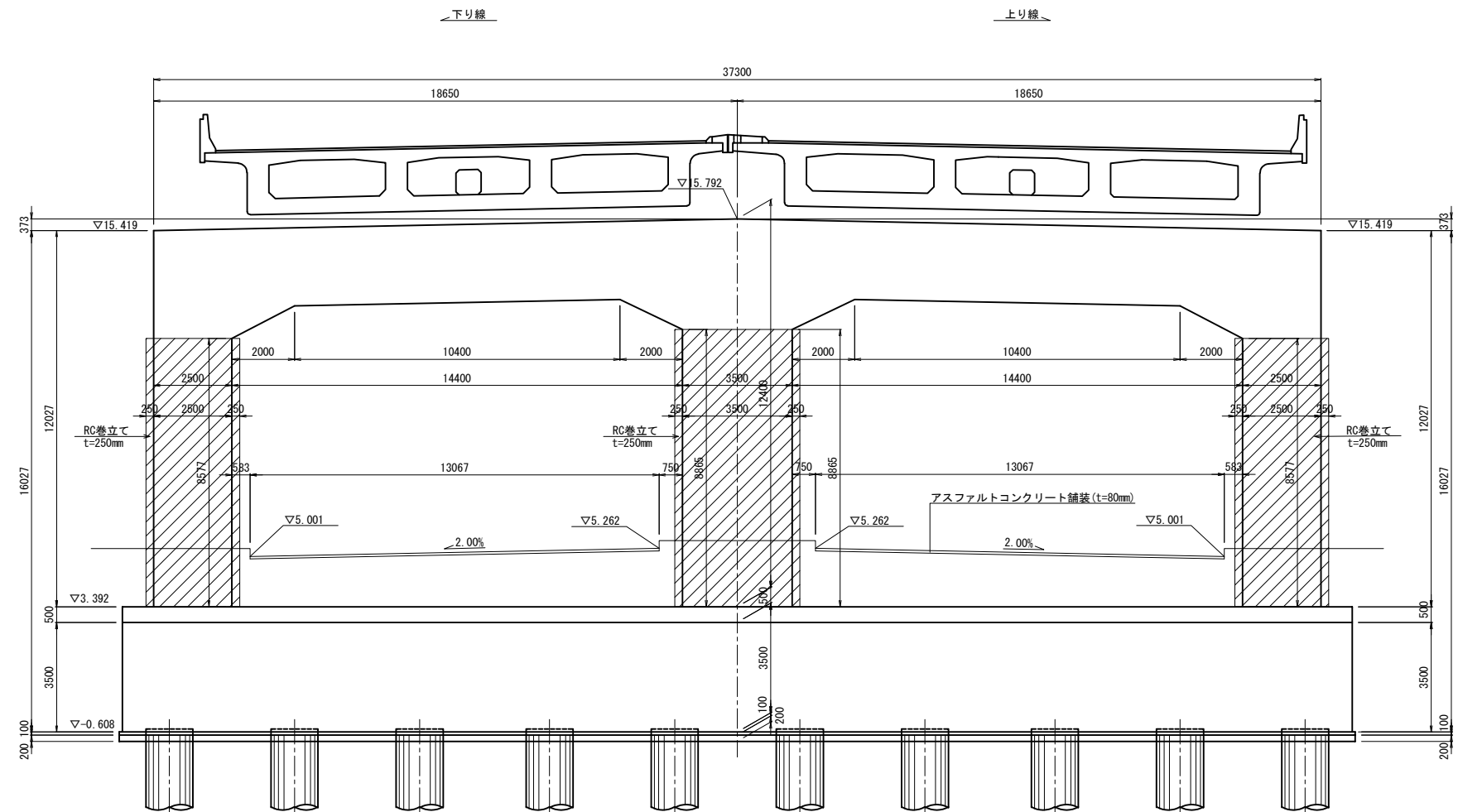
径	主鉄筋				スターラップ			
	R=3φ		R=5.5φ		R=2.5φ		R=90°	
	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51
D16	48	75	21	88	69	4	40	63
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5	75
D22	66	104	28	121	95	5	55	86
D25	75	118	32	137.5	108	6	62.5	98

※ Rは、鉄筋中心での半径を示す。

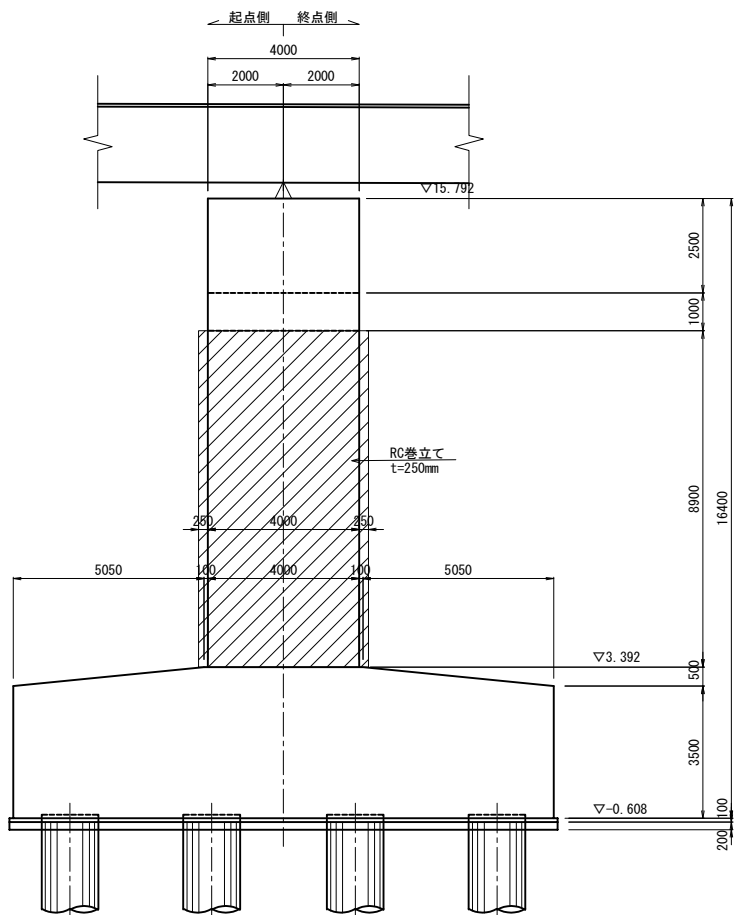
RC巻立て補強工数量表（橋脚1基当り）

項 目	単位	数 量	備 考
構造物掘削	m3	32.6	普通部（夜）
コンクリート	m3	20.7	A1ー5（夜）
型わく	m2	89.1	TH（夜）
鉄筋 T（夜）	SD345	D22	t 2.638
		D41	t 3.708
		合計	t 6.346
	フレア溶接	D22	箇所 120
		D41	箇所 26
	組立アンカー	鉄筋（D13）	本 70
		取壊し発生材運搬費	m3 0.089
		コンクリート処分費	t 0.218
	アンカー削孔工		m 43.2
	アンカー注入工		m 43.2
耐震補強用コンクリート表面処理工	m2	76.9	
鉄筋位置調査工	m2	79.9	
排水管撤去・新設工	m	4.7	排水管A（硬質塩化ビニル管）

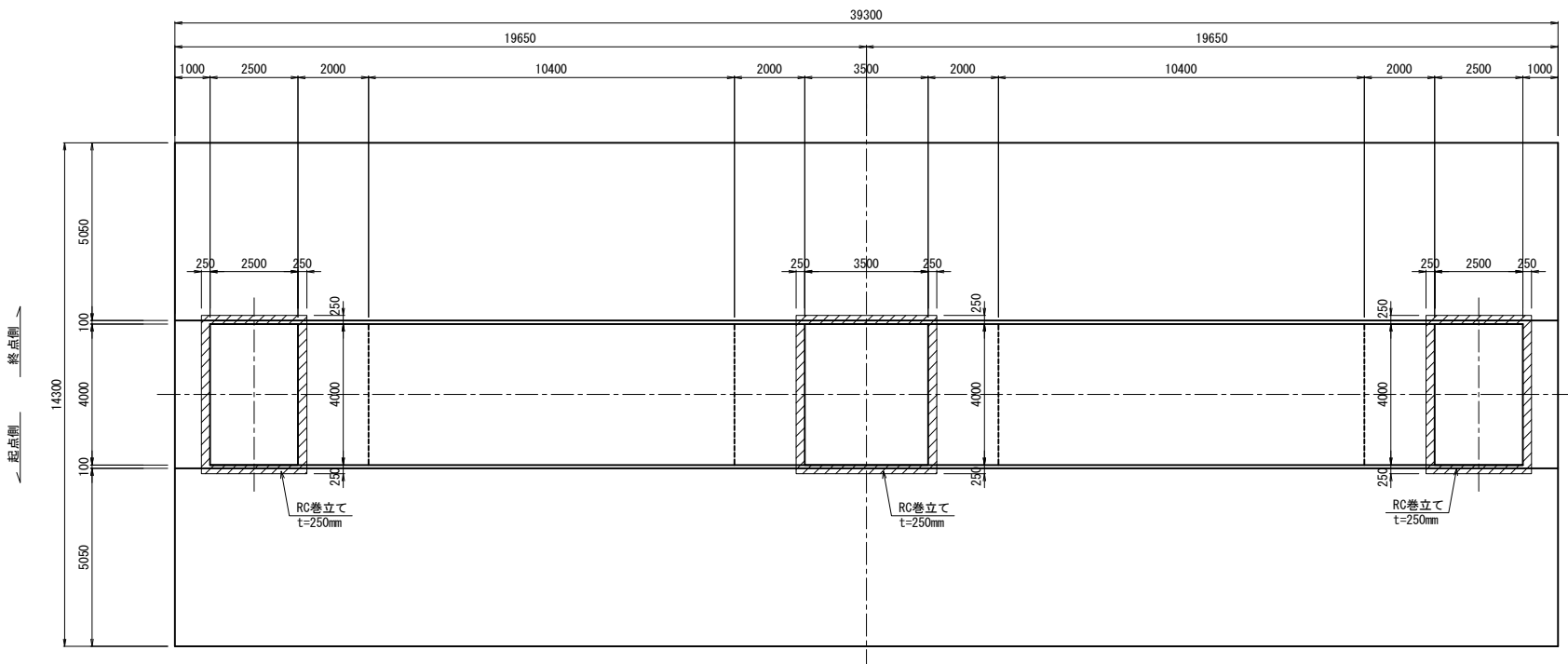
正面図



側面図

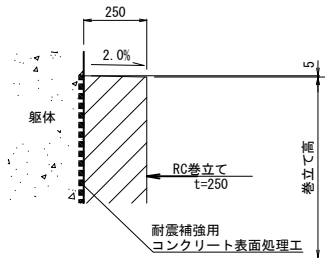


平面図

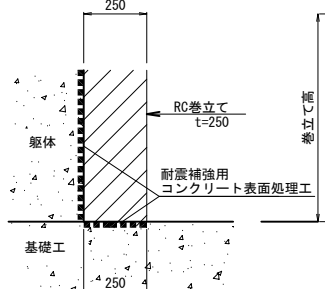


巻立て部詳細図 S=1:30

巻立て部 (上部)



巻立て部 (下部)

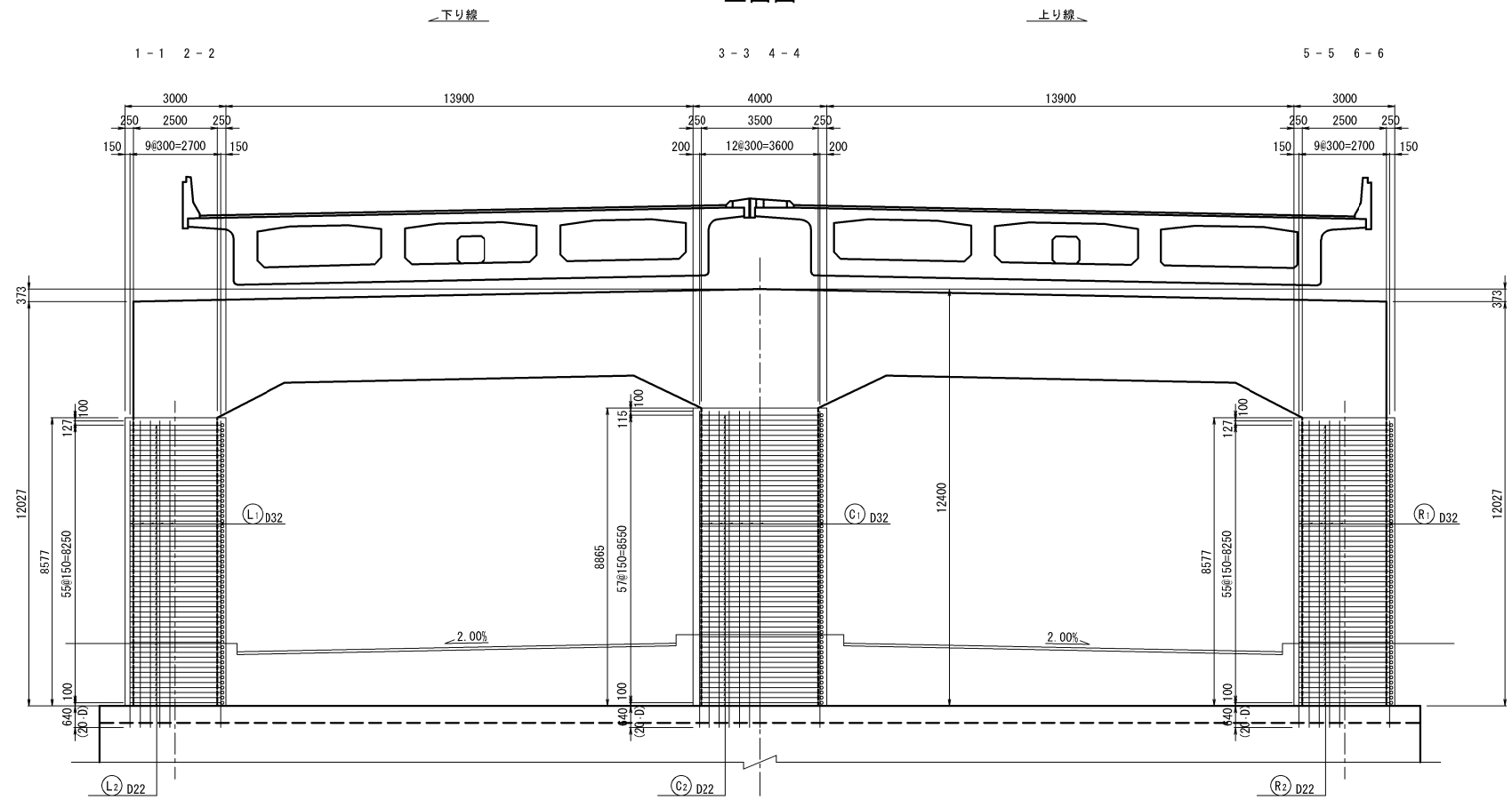


使用材料

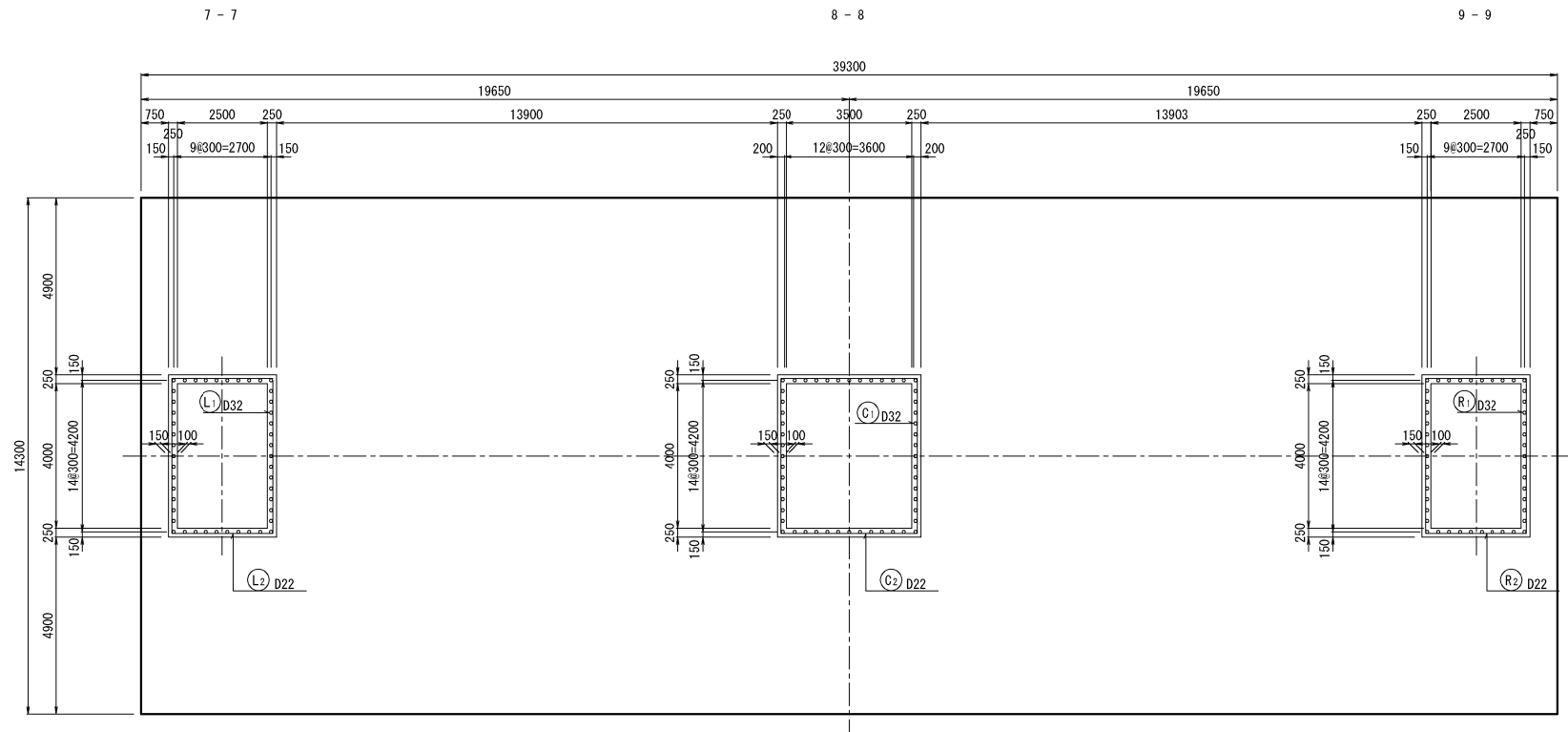
工 種	コ	仕 様
既設部	ンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

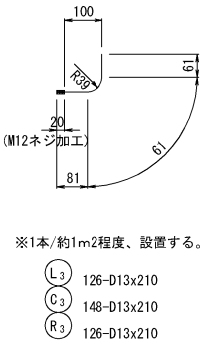
正面図



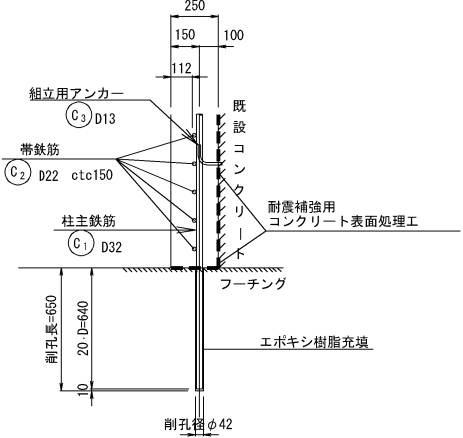
平面図



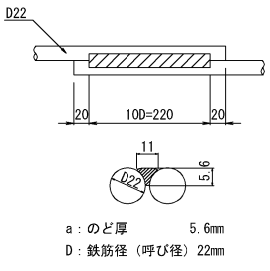
組立筋加工図(参考図) S=1:20



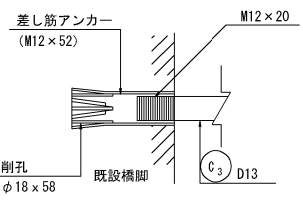
かぶり詳細図 S=1:40



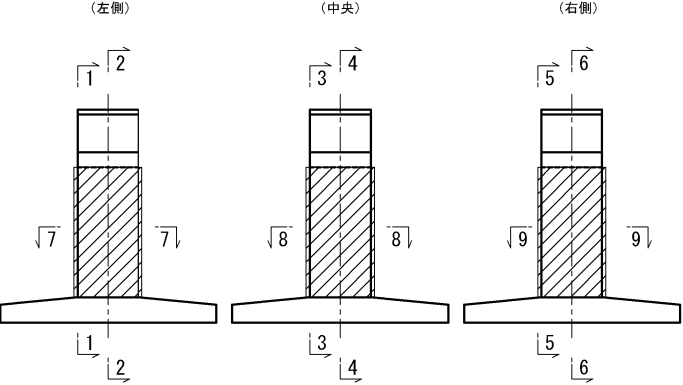
フレアー溶接詳細図 S=1:10



組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4



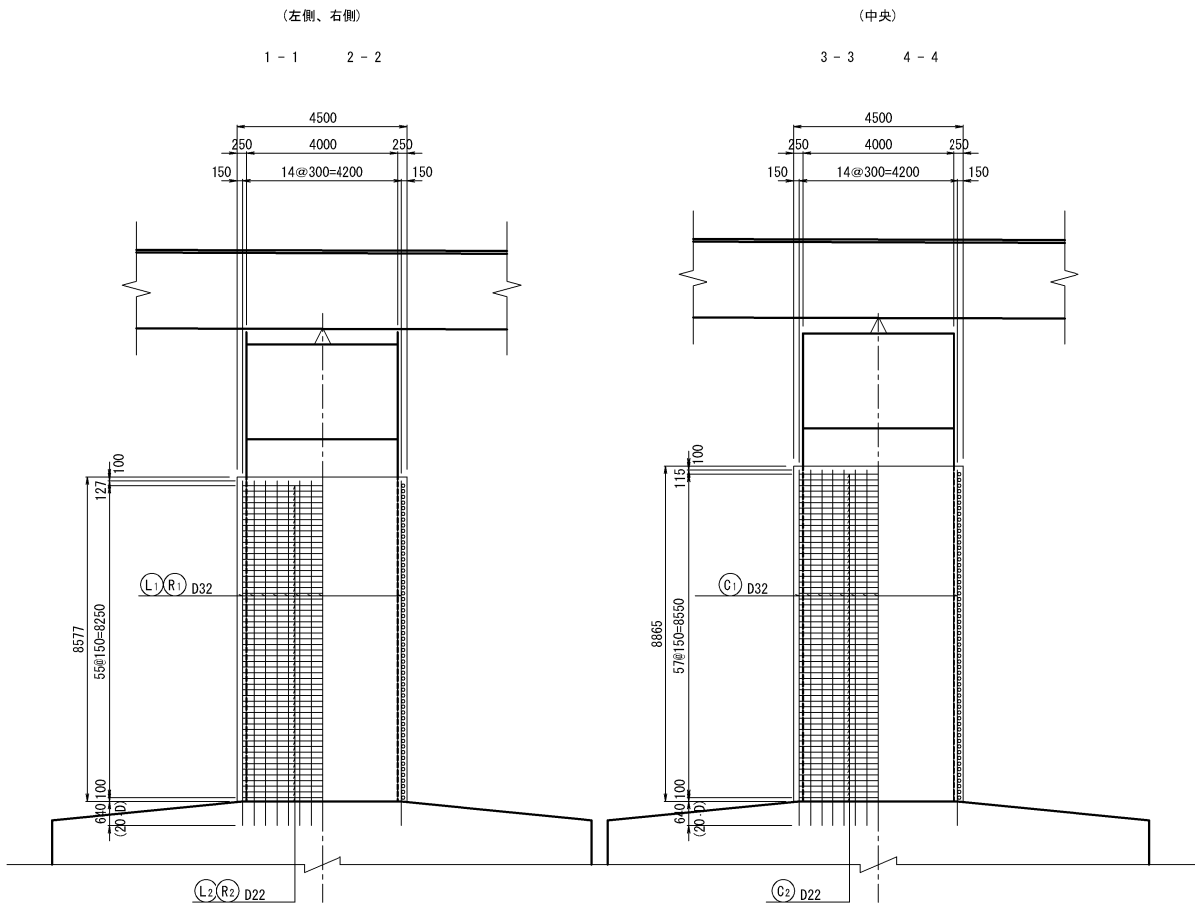
位置図



注) かぶり詳細図および組立て筋アンカー詳細図は、柱によらず同じであるため中柱を代表して示している。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図(RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て(その1)参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
左側							
L1	D32	9120	46	6.23	56.8	2613	└
2	D22	7220	112	3.04	25.5	2453	└
							5066 kg
T							
D32							2613 kg
D22							2453 kg
合計							5066 kg
フレアー溶接箇所 D22 112箇所							
中央							
C1	D32	9410	52	6.23	58.6	3047	└
2	D22	8120	116	3.04	28.2	2865	└
							5912 kg
T							
D32							3047 kg
D22							2865 kg
合計							5912 kg
フレアー溶接箇所 D22 116箇所							
右側							
R1	D32	9120	46	6.23	56.8	2613	└
2	D22	7220	112	3.04	25.5	2453	└
							5066 kg
T							
D32							2613 kg
D22							2453 kg
合計							5066 kg
フレアー溶接箇所 D22 112箇所							
合計							
T							
D32							8273 kg
D22							7771 kg
合計							16044 kg
フレアー溶接箇所 D22 340箇所							
注) 無印鉄筋は、T鉄筋(無溶接鉄筋)を示す。							
注) O印鉄筋は、T鉄筋(ガス圧接継手鉄筋)を示す。							
注) △印鉄筋は、T鉄筋(フレアー溶接鉄筋)を示す。							

参考
1. 軸方向鉄筋の固定のための組立アンカーは1.0本/m²程度配置する。
組立アンカー (D13) 400本

鉄筋集計表 (SD345)

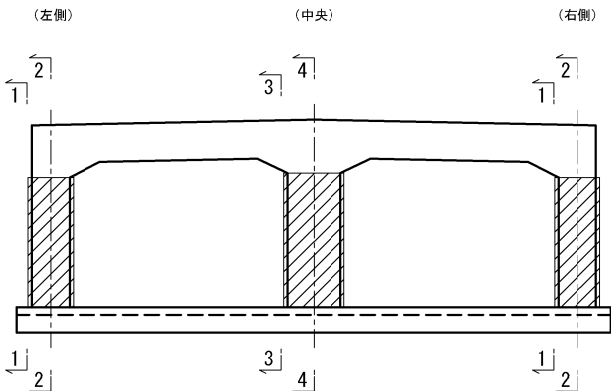
種別	径 (mm)	質量 (kg)		合計 (kg)
		H ≤ 25m	H > 25m	
A	D13	—	—	—
	D16 └ D25	D16	—	—
		D19	—	—
		D22	—	—
		D25	—	—
		計	—	—
	D29 └ D32	D29	—	—
		D32	—	—
		計	—	—
	D35	—	—	—
T	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合計	—	—	—
	D13	—	—	—
	D16 └ D25	D16	—	—
		D19	—	—
		D22	7771	7771
		D25	—	—
		計	7771	7771
	D29 └ D32	D29	—	—
		D32	8273	8273
		計	8273	8273
ガス圧接 継手箇所数	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合計	16044	—	16044
	D16 └ D25	D16	—	—
		D19	—	—
		D22	—	—
		D25	—	—
		計	—	—
	D29 └ D32	D29	—	—
		D32	—	—
		計	—	—
	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合計	—	—	—

鉄筋曲げ加工表

φ	主筋-スターラップ											
	θ ≤ 90° R=3φ	θ > 90° R=5.5φ	θ = 45° a	θ = 60° a	θ = 90° a	θ = 135° a	θ = 90° ΔL	θ = 135° a	θ = 90° ΔL	θ = 135° a	θ = 90° ΔL	θ = 135° a
	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
D 13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3		
D 16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4		
D 19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5		
D 22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5		
D 25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6		
D 29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7		
D 32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8		
D 35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8		
D 38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9		
D 41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10		
D 51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12		

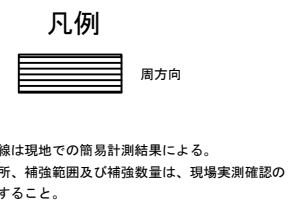
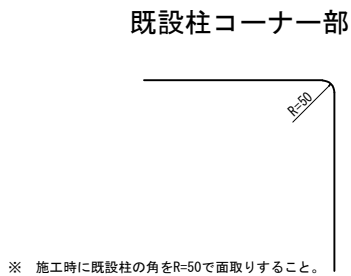
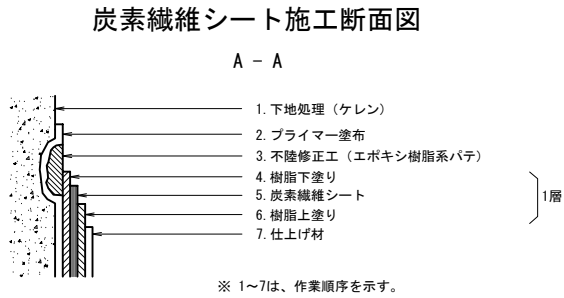
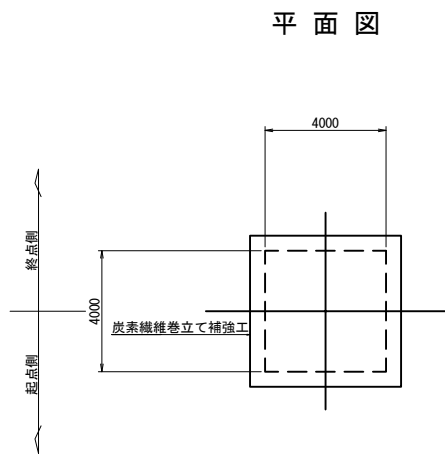
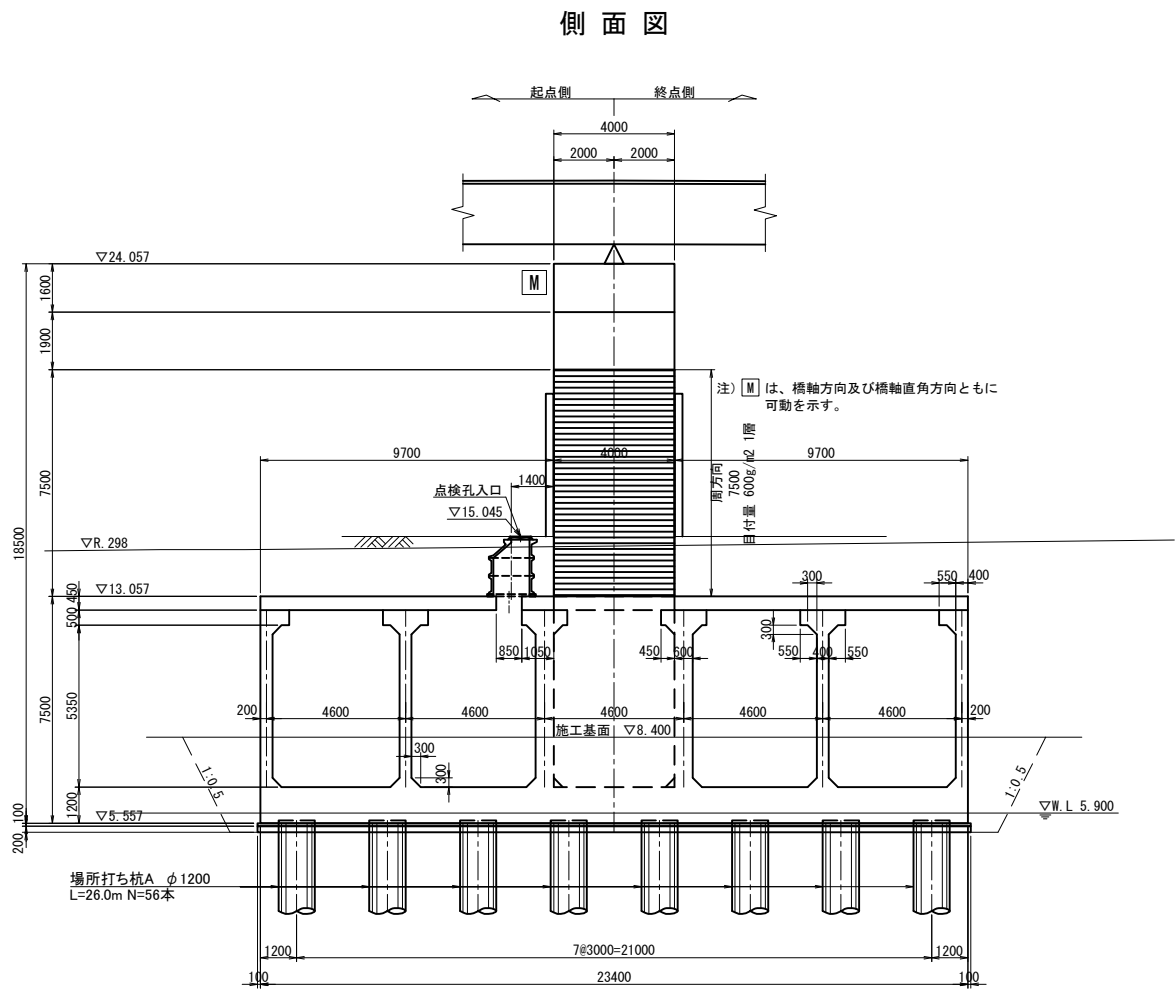
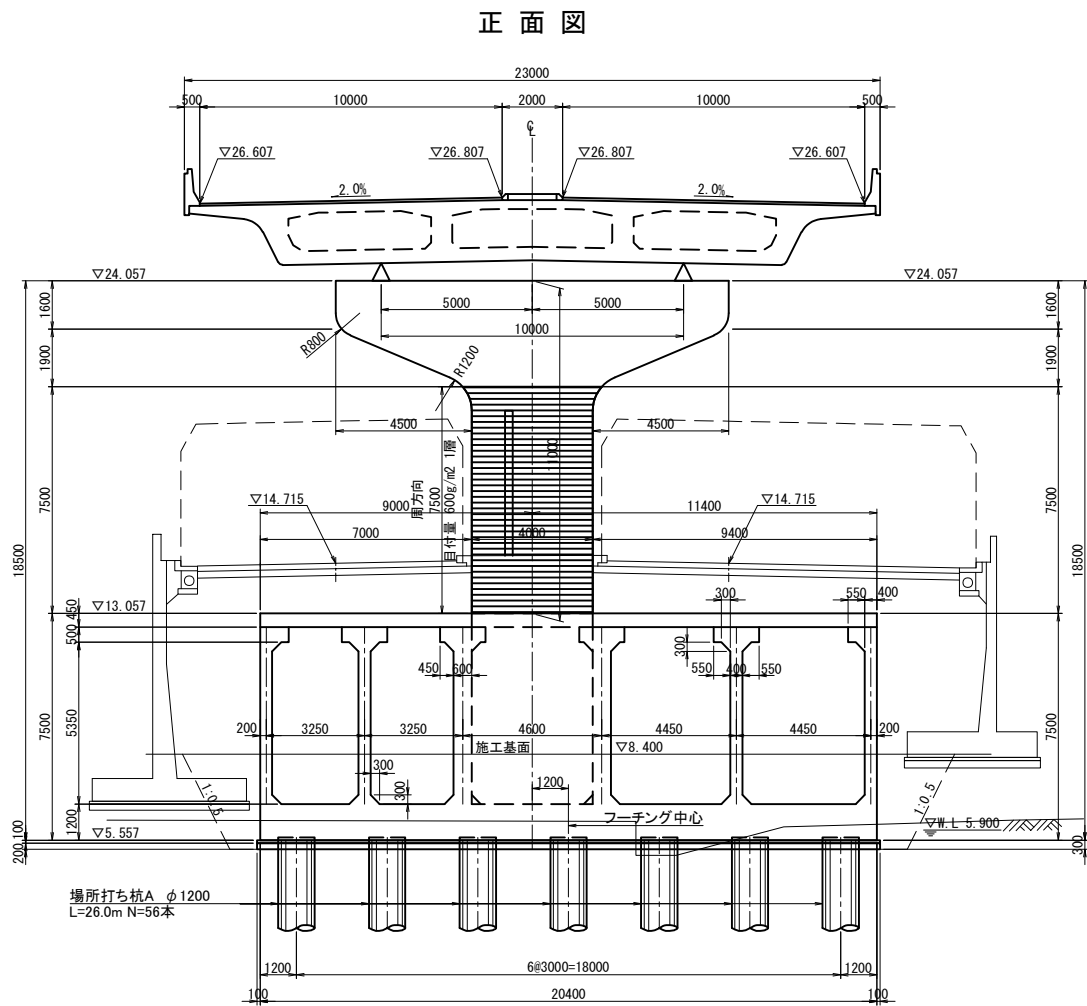
注) 1. ΔL=2L-a
2. θ (曲げ角度)

位置図



注) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の断孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造詳細図 (RC橋脚 ラーメン式) RC巻立て (その2) 参考図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



炭素繊維シート 性能表

繊維目付量 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性率 (kN/mm ²)	設計厚さ (mm)
600	3,400以上	2.45×10 ⁵	0.333

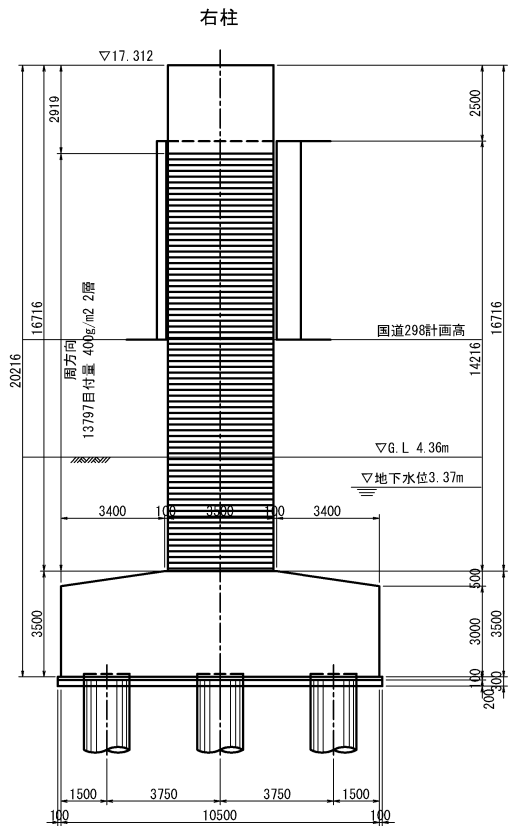
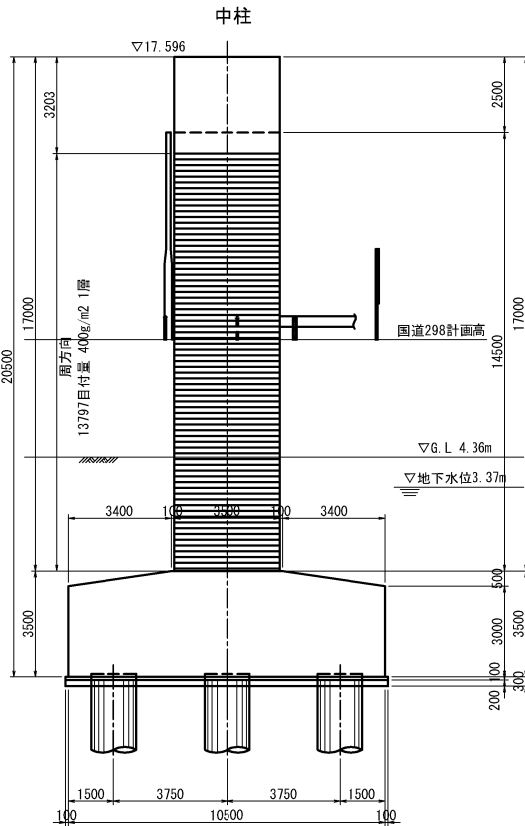
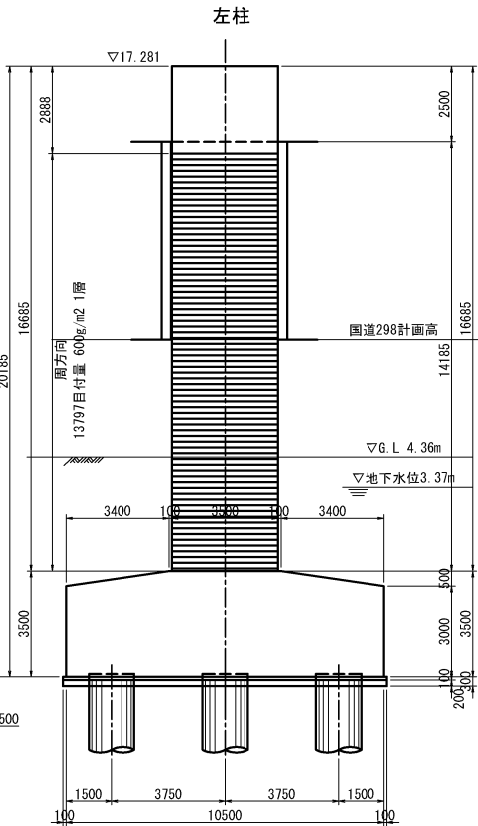
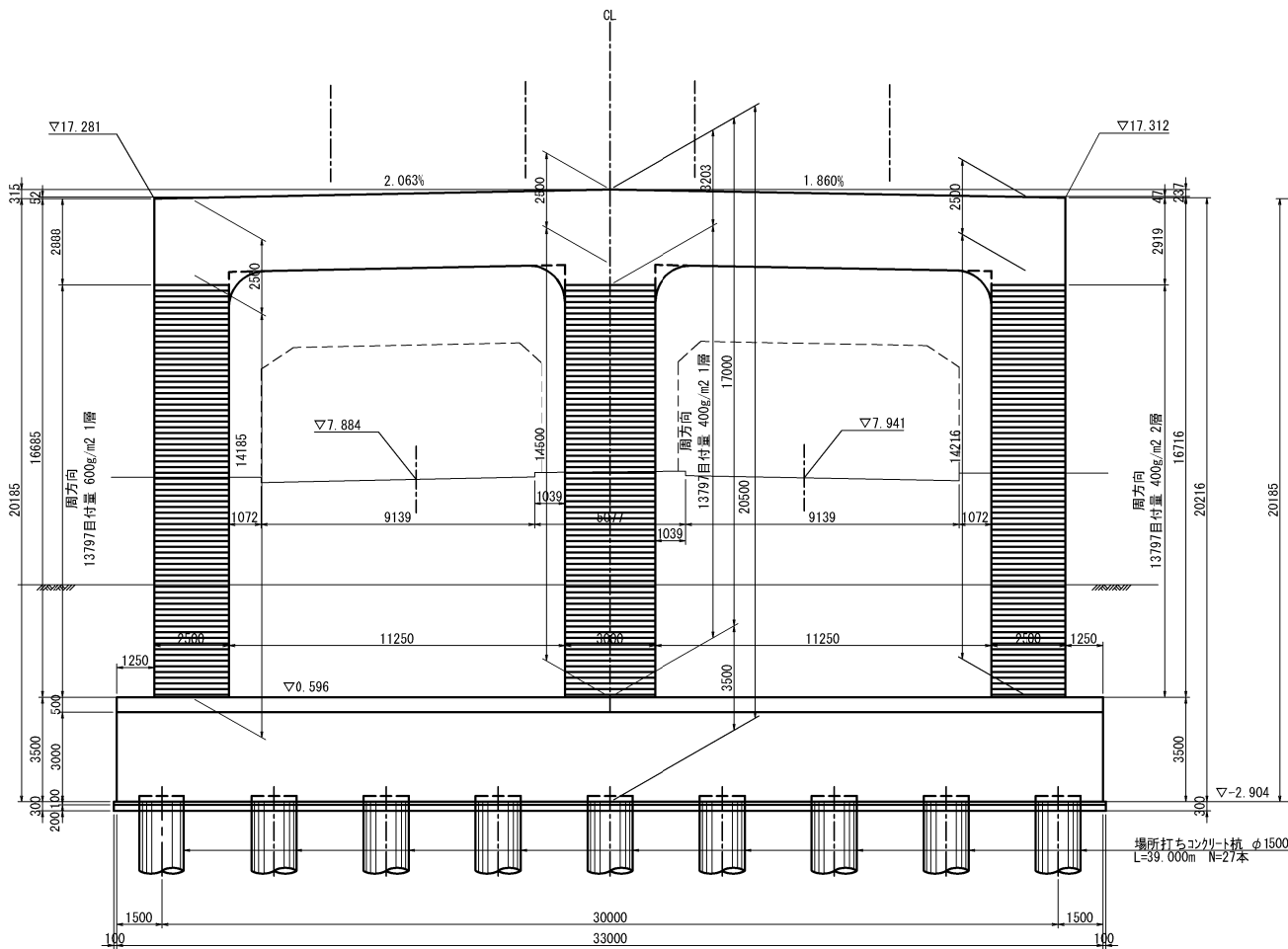
数 量 表

項 目	単位	数 量	備 考
下地面積	m ²	120.0	サンダーケレン
プライマー塗布面積	m ²	120.0	
パテ処理面積	m ²	120.0	
炭素繊維シート 周方向 目付量 600g/m ²	m ²	120.0	
仕上げ材	m ²	120.0	ポリマーセントモルタル t=10mm

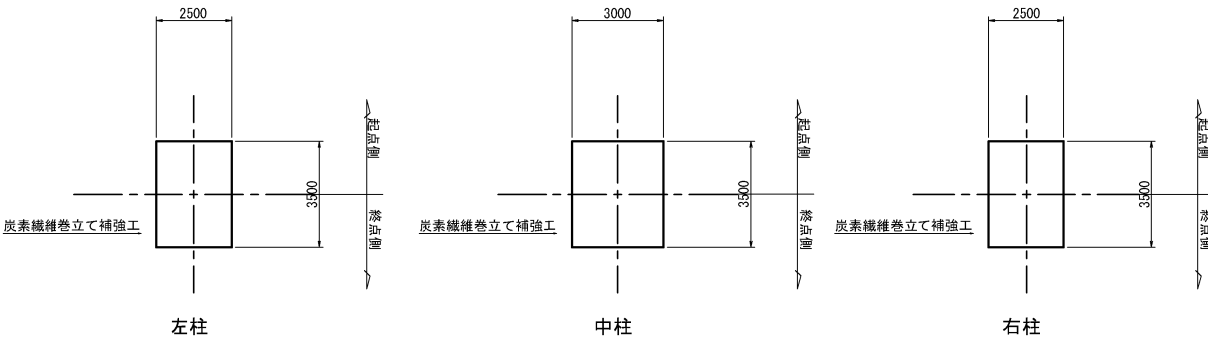
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (R C橋脚 単柱式) 炭素繊維シート 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

正面図

側面図

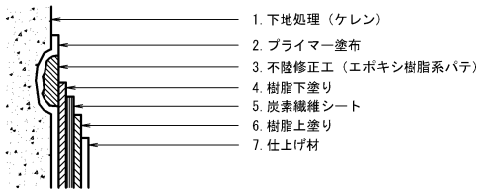


平面図

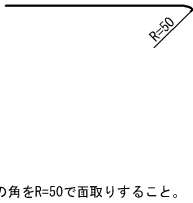


炭素繊維シート施工断面図

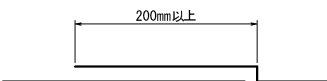
A - A



既設柱コーナー部



重ね継手詳細



凡例



注記)
1. 現地盤線は現地での簡易計測結果による。
2. 補強箇所、補強範囲及び補強数量は、現場実測確認の上決定すること。

炭素繊維シート 性能表

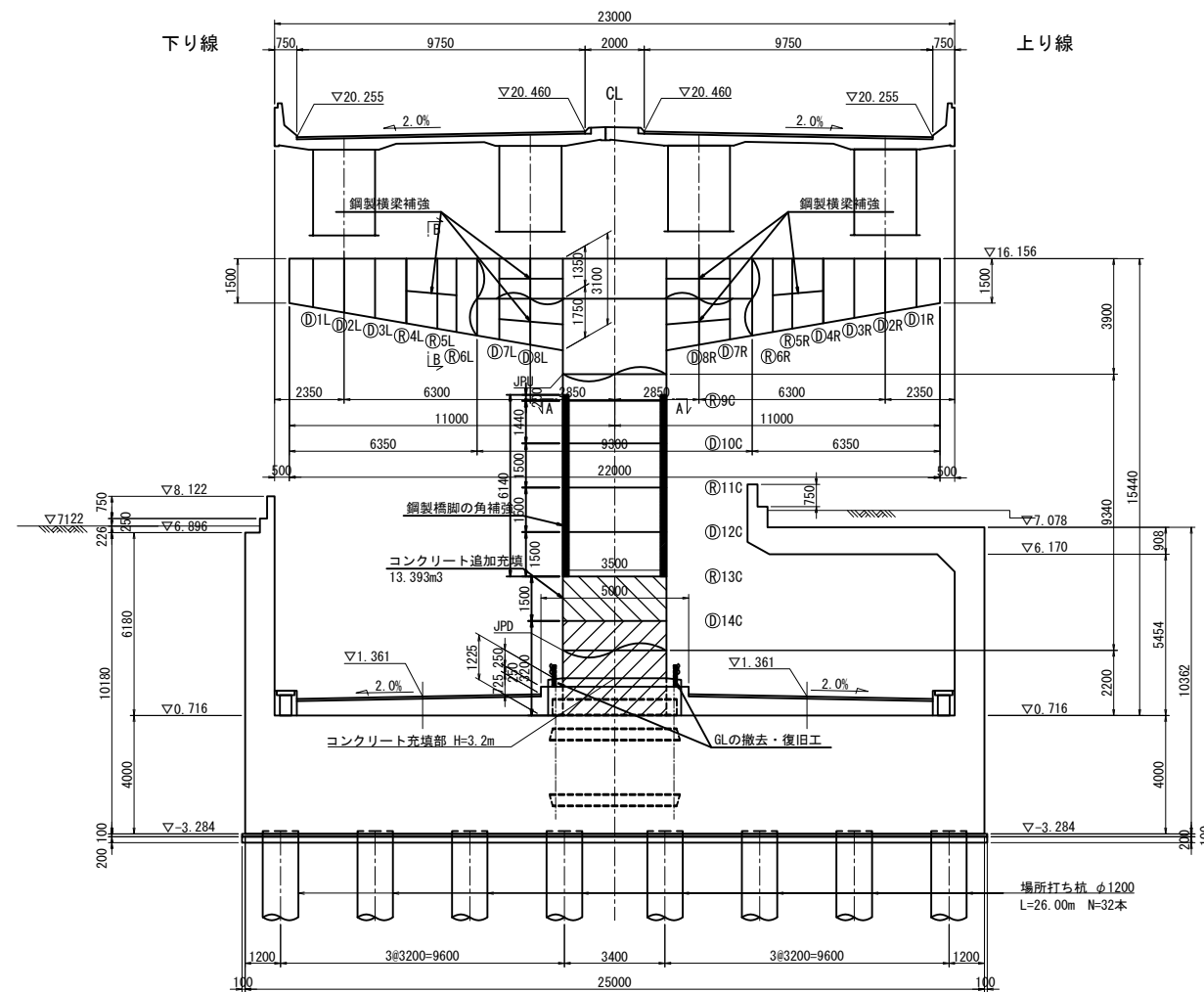
繊維目付量 (g/m ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性率 (kN/mm ²)	設計厚さ (mm)
400	3,400以上	2.45×10 ⁻⁵	0.222
600	3,400以上	2.45×10 ⁻⁵	0.333

数 量 表

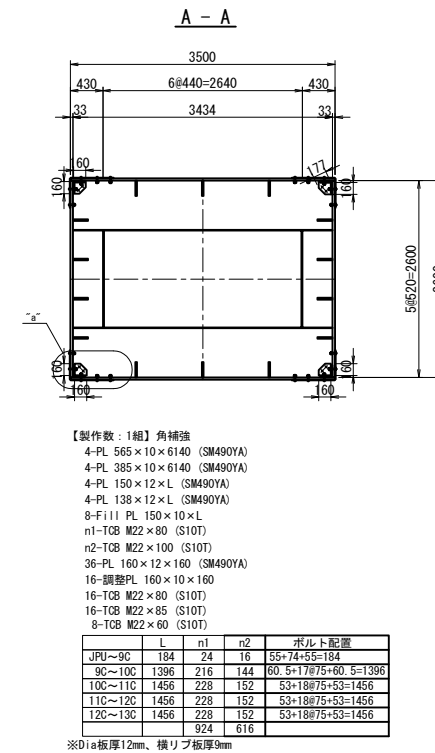
項 目	単位	数 量	備 考
炭素繊維巻立下地処理工	m ²	510.5	サンダーケレン
炭素繊維巻立工 (目付量400g/m ²) 1層	m ²	179.4	
炭素繊維巻立工 (目付量400g/m ²) 2層	m ²	331.1	
炭素繊維巻立工 (目付量600g/m ²) 1層	m ²	165.6	
炭素繊維巻立表面仕上げ工	m ²	331.1	ポリマーセントモルタル t=1mm
炭素繊維巻立表面仕上げ工	m ²	179.4	ポリマーセントモルタル t=10mm

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (RC橋脚 ラーメン式) 炭素繊維シート 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

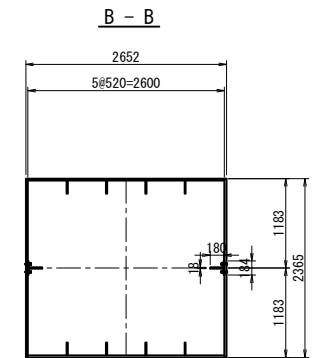
正面図



角補強断面図 S=1:100



縦リブ増設断面図 S=1:100

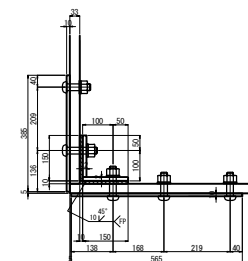


【製作例：2組】 縦り付増設

- 2-PL 180×18×905 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×905 (SM490YA)
- 2-PL TCB M22×75 (S10T)
- 2-PL 180×18×503 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×503 (SM490YA)
- 27-TCB M22×75 (S10T)
- 2-PL 180×18×1050 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×1050 (SM490YA)
- 56-TCB M22×75 (S10T)
- 2-PL 180×18×1054 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×1054 (SM490YA)
- 57-TCB M22×75 (S10T)
- 2-PL 180×18×1100 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×1100 (SM490YA)
- 59-TCB M22×75 (S10T)
- 2-PL 180×18×1104 (SM490YA)
- 2-PL 184×10×1104 (SM490YA)
- 59-TCB M22×75 (S10T)

コーナーアングル断面詳細図 S=1:25

"a"部詳細

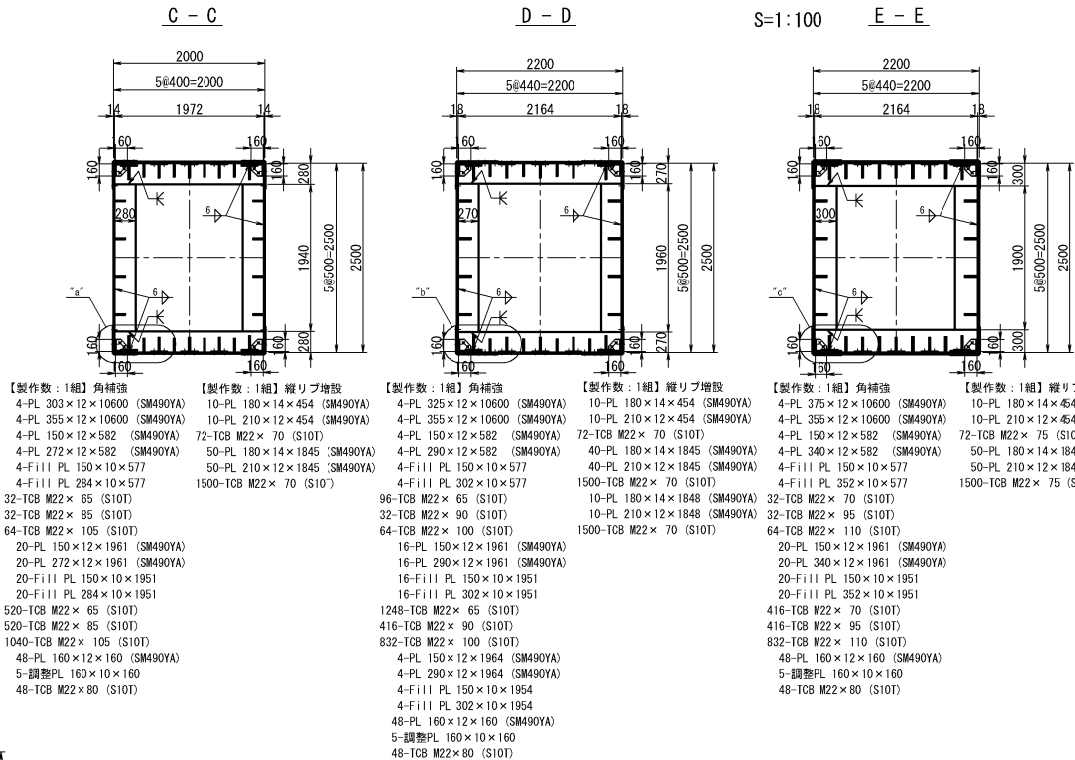


数量表

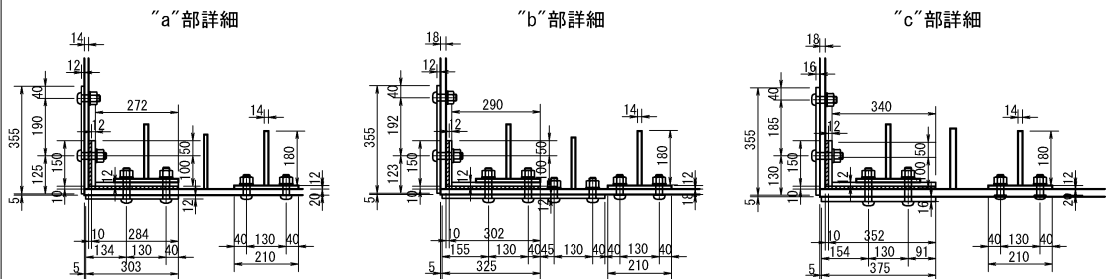
		単位	数 量	適 用
コンクリート C2-1 (夜)		m3	13.9	コンクリート追加充填
角補強鋼材質量	PL150×12 PL138×12	kg	4085	
縦リブ増設鋼材質量	PL180×18 PL184×10	kg	1274	

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (鋼製橋脚 単柱式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

角補強・縦リブ増設断面図

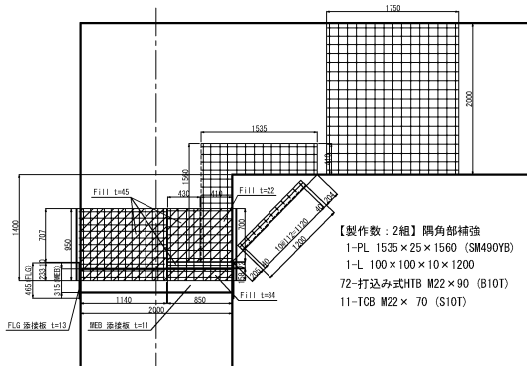


コーナーアングル断面詳細図 S=1:25

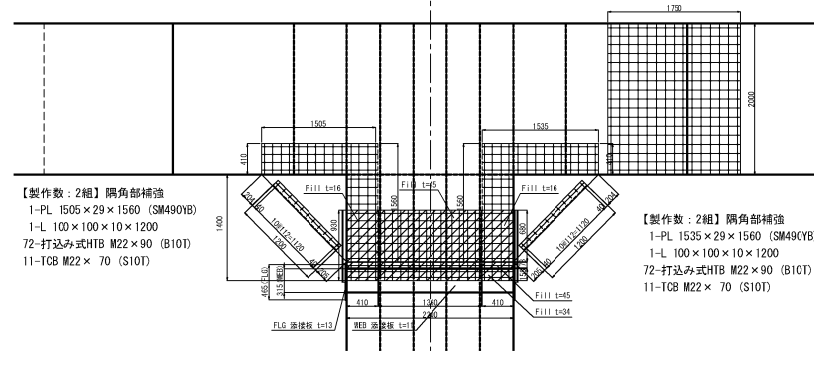


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強補造一般図 (鋼製橋脚 ラーメン式) (その1) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

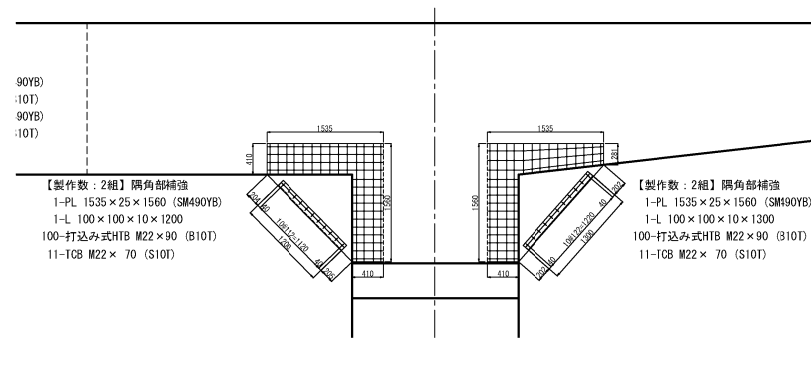
隅角部補強側面図 S=1:100



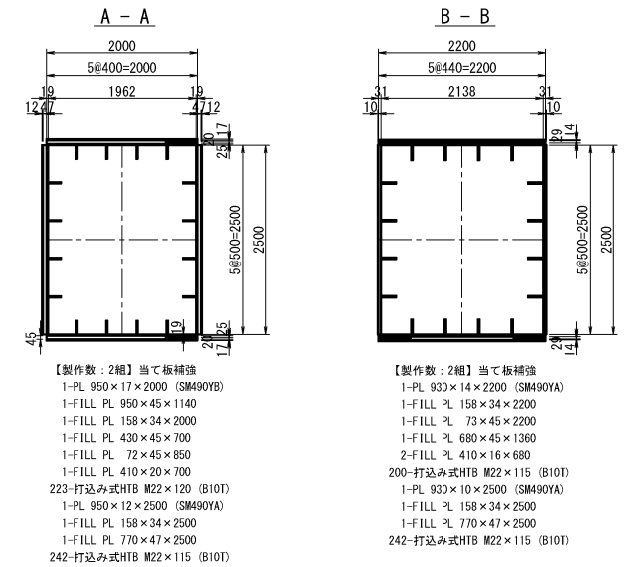
隅角部補強側面図 S=1:100



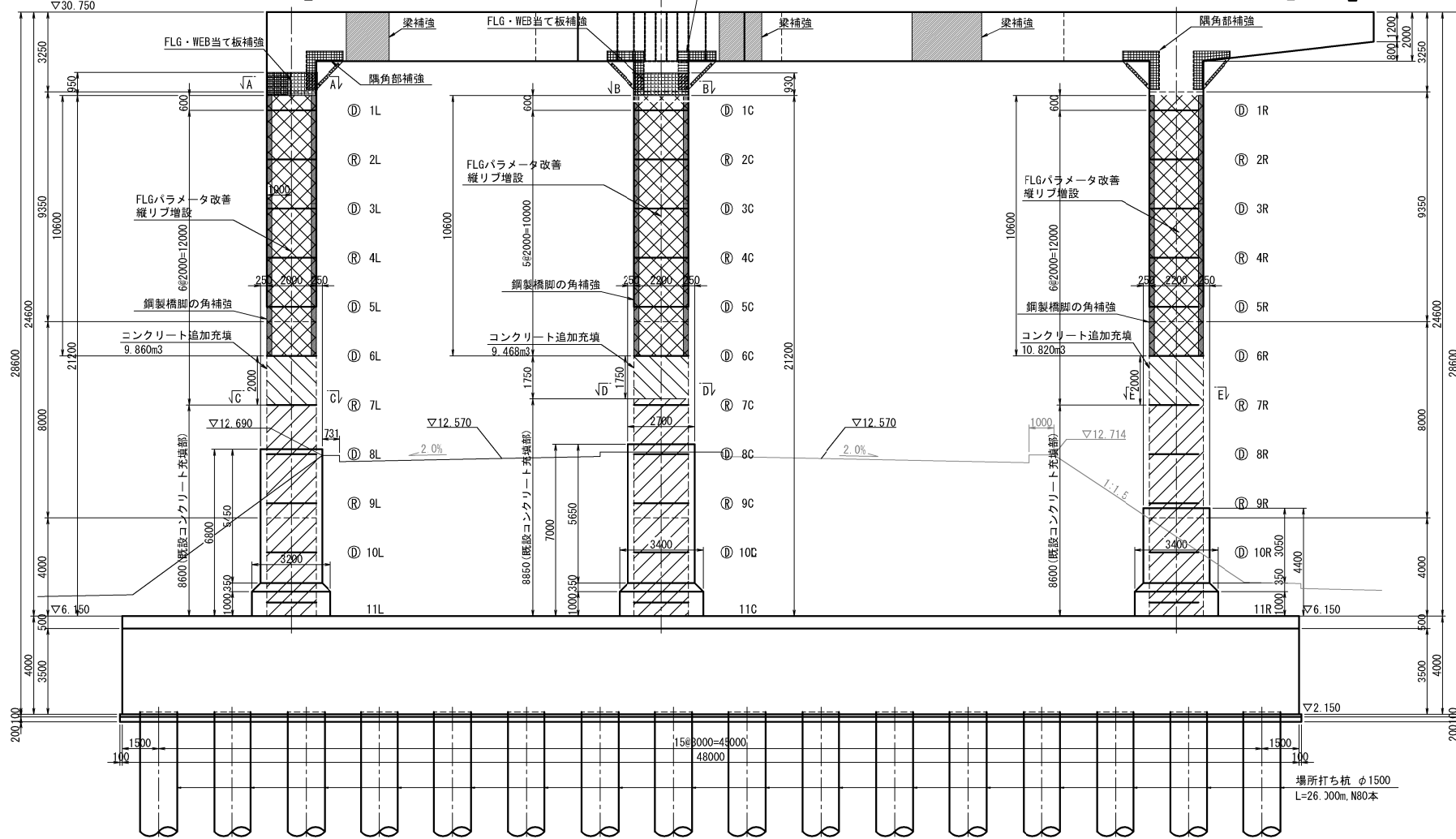
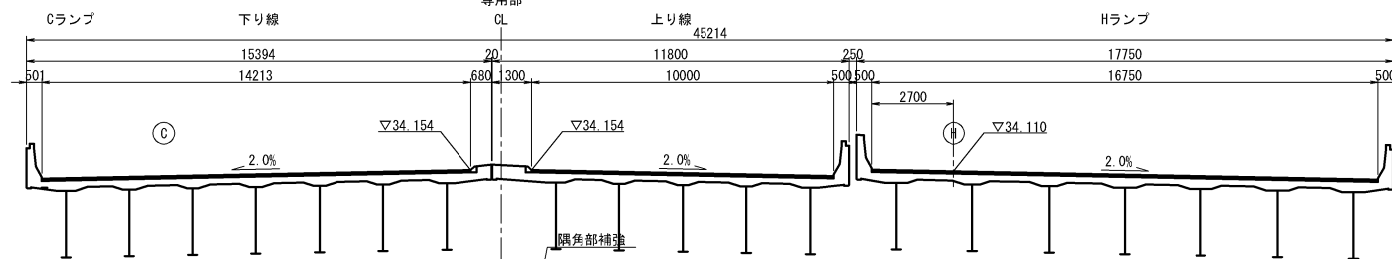
隅角部補強側面図 S=1:100



当て板補強断面図 S=1:100

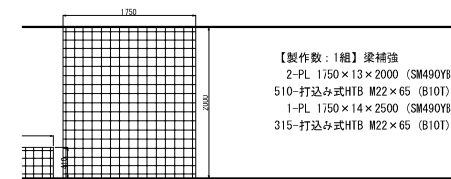


正面图

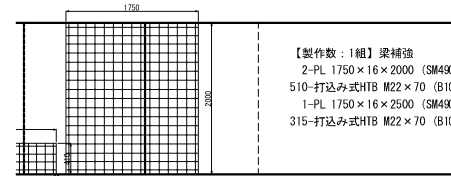


梁補強側面図 S=1:100

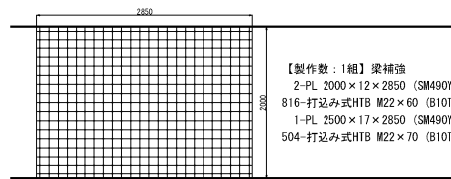
左梁左端



中梁左端

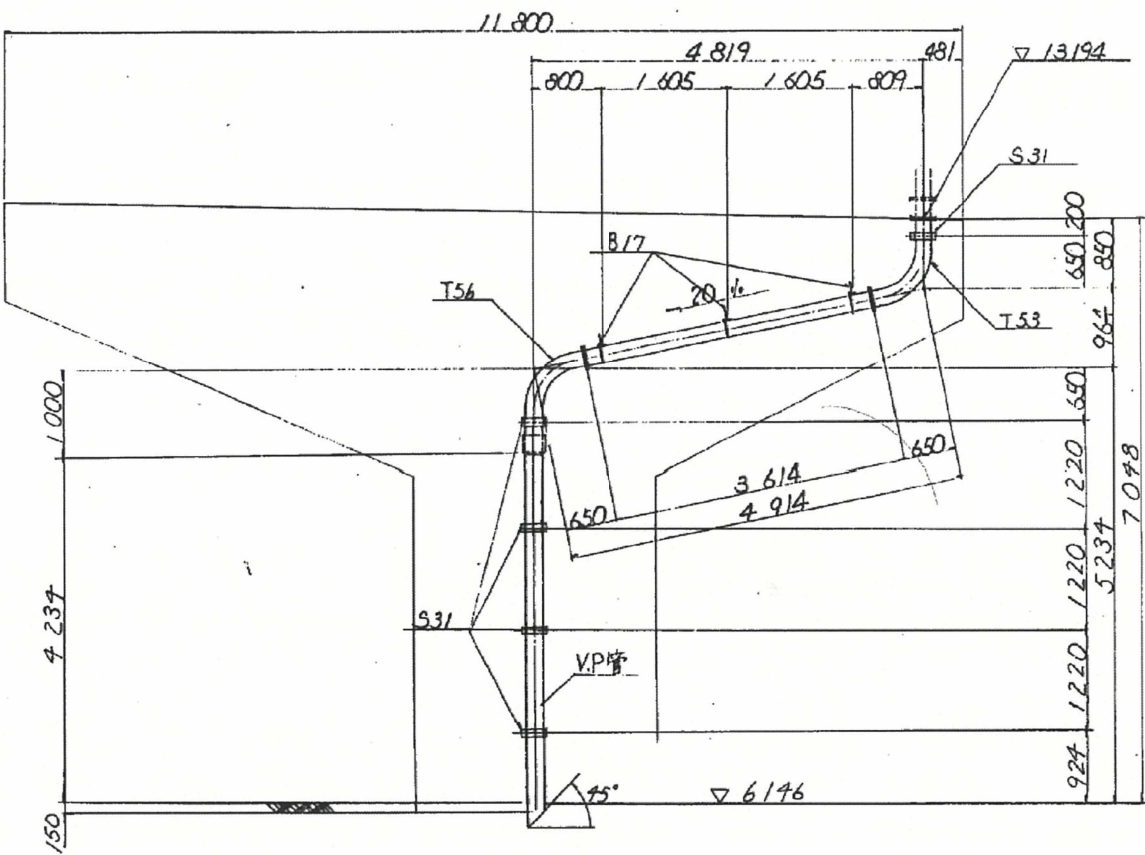


中梁中央

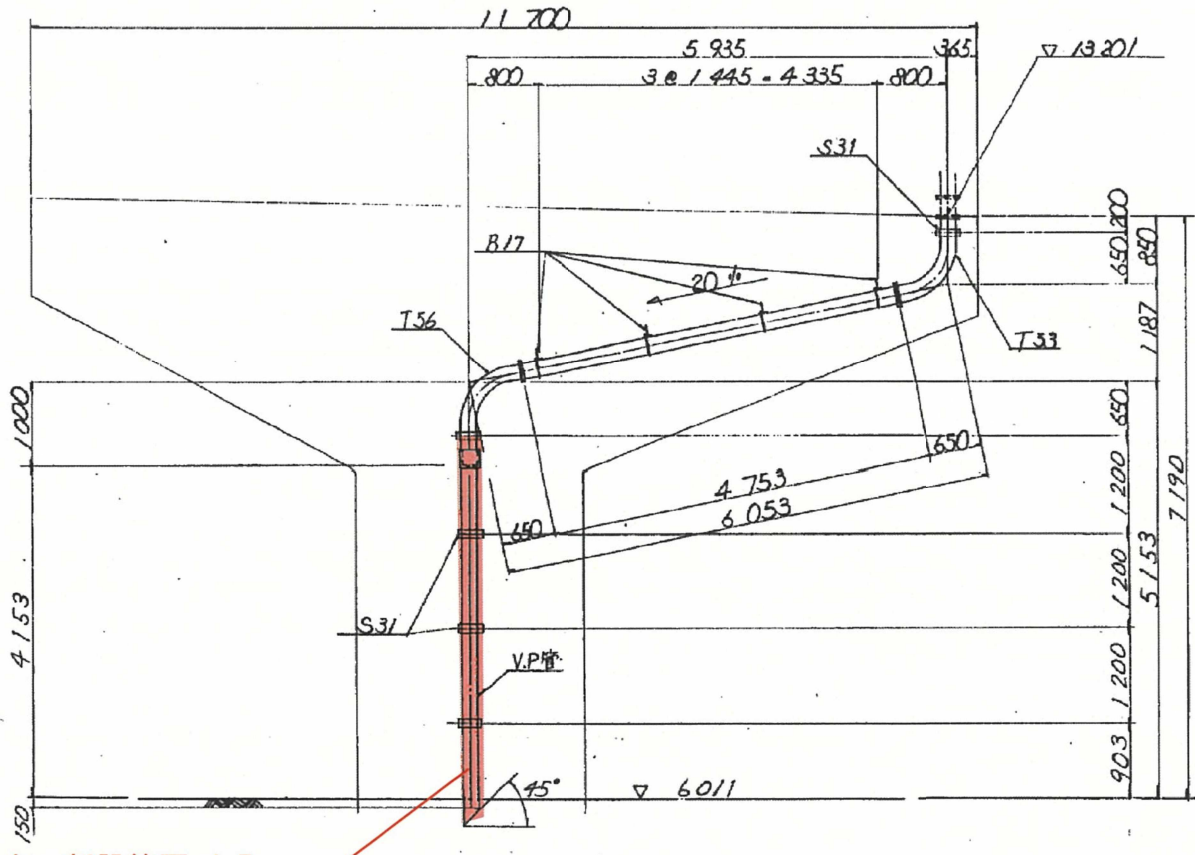


数量表		単位	数 量	適 用
コンクリート C2-1 (夜)		m3	30.1	コンクリート追加充填
角補強鋼材質量	PL150×12 PL355×12	kg	22306	
縦リブ増設鋼材質量	PL180×14 PL210×12	kg	14030	
隅角部補強鋼材質量	PL1535×25 PL1505×29	kg	5180	
断面当て板補強鋼材質量	PL950×17 PL930×14	kg	8444	
梁補強鋼材質量	PL1750×14 PL1750×16	kg	6364	

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準耐震補強構造一般図 (鋼製橋脚 ラーメン) (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



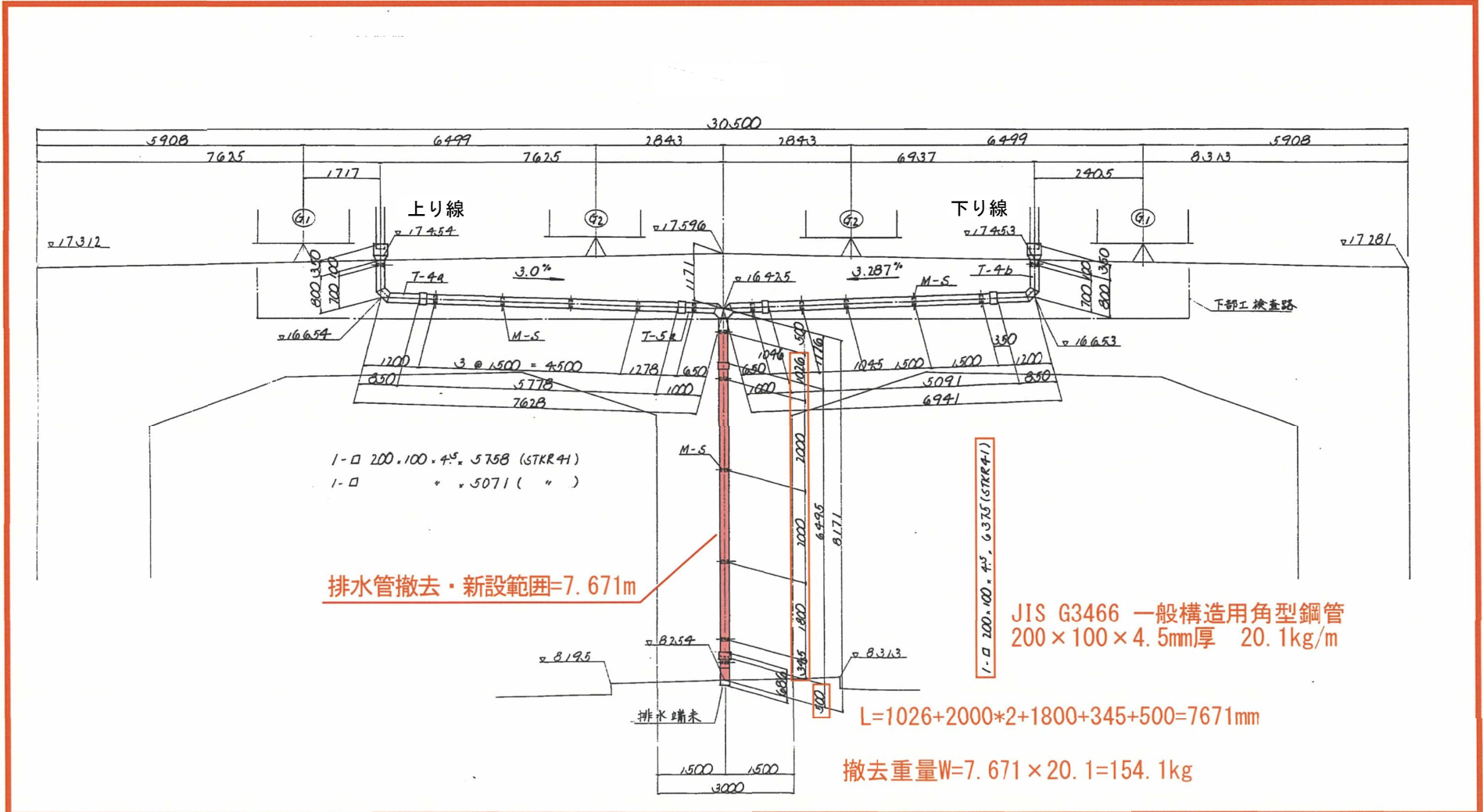
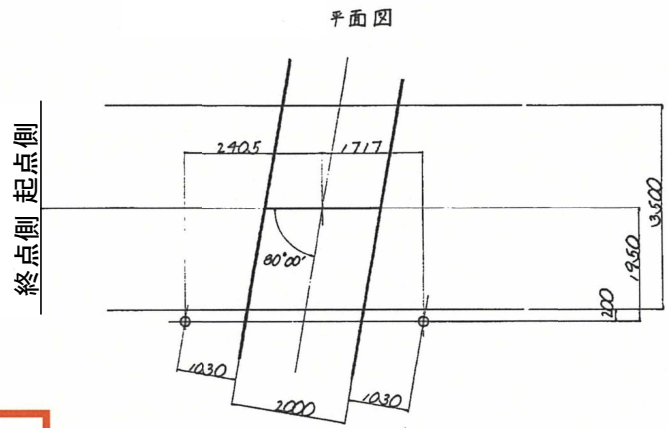
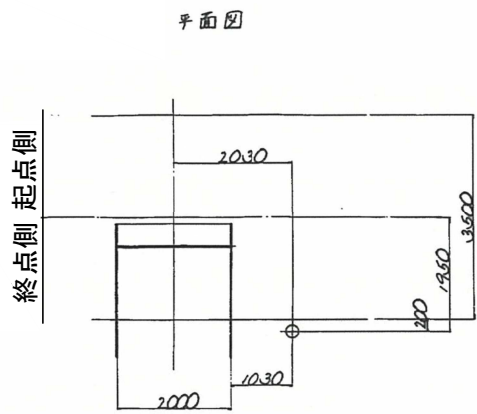
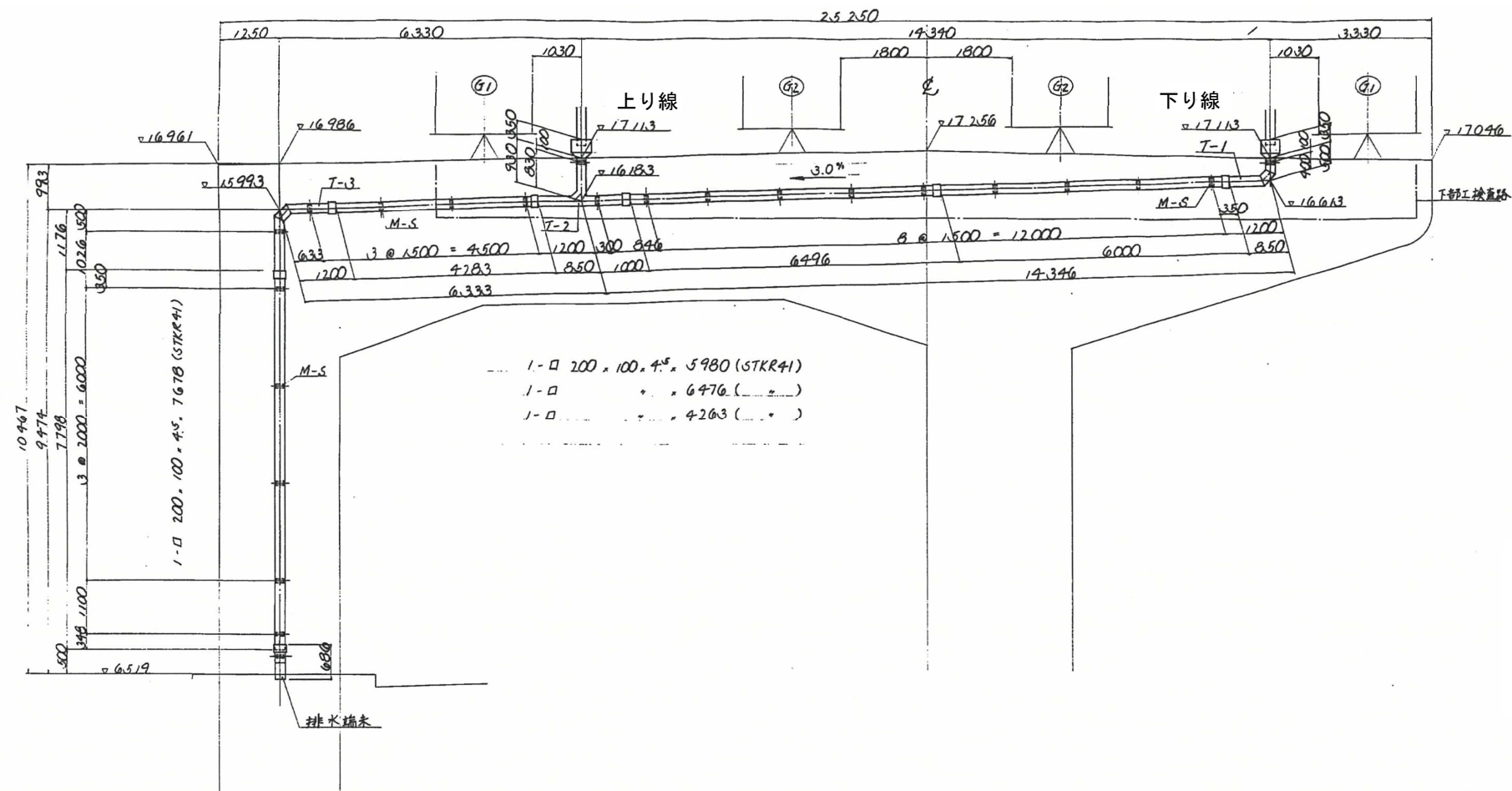
1 - Pipe 216.3φ × 4.5 × 3.594 (STK41)
1 - V.P 200A × 4.820



排水管撤去・新設範囲=4.7m

1 - Pipe 216.3φ × 4.5 × 4.733 (STK41)
1 - V.P 200A × 4.740

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (R C橋脚 単柱式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



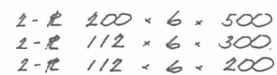
注記
1. 特記がなければ全てJIS41とする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキとする。
鋼材はHDZ55とするがボルト、ナットはHDZ35とする。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (RC橋脚 ラーメン式) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

取付要領図 5-10



受耕 $5 \frac{1}{10}$

[illegible]

P84～P87における下部工排水装置総延長は44.7m
P86橋脚における下部工排水装置撤去延長は22.4mであるため
排水装置撤去・新設工における数量
 $M=1407 \div 44.7 \times 22.4 = 705.1 \text{ kg}$

Hand-drawn floor plan of a room. The overall dimensions are 20' x 50'. The plan includes a door on the left wall, a window on the right wall, and a fireplace on the left wall. The room is divided into two main sections by a wall. The top section is labeled 'CONCRETE ANCHOR' and '4' x 12' - 50'. The bottom section is labeled '1 - Base R 200 - 3, 225'. The dimensions for the sections are 20' x 50' and 20' x 50'. The overall dimensions are 20' x 50'.

STKR41)
")
V(STKR41)
1)
1)

注)

1. 特記な木材質は全て SSチ1とする。
2. 釘材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。
3. 各管、取付金具等の詳細は (10)(11) 橋脚下部工排水装置 (其の2) 図を参照のこと。
4. ※取付金具は脚と取付ピース (コンクリ) 取付後取付のこと。(MS-2)
5. ☆印す法 (橋脚と土管とのパイプ間) 等現場実測を用いた。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 単柱式) 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

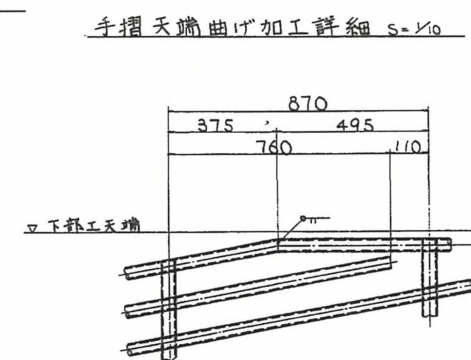
下り線



起点側	終点側
<p>1. 左側</p> <p>2. 右側</p>	<p>1. 右側</p> <p>2. 左側</p>

注)
1. ※印の支持金具の脚付ヒースは新規に取付することとし、製作乾固とする。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準排水管 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 ラーメン式) 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			



注記

1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 木口以外の鋼材は溶融亜鉛メッキ処理とし、付着量は JIS-H8641-2種 HDB55に準ず。

3. 図中 TW, Wは下記の通りである。

TW : テーパーワッシャー
W : ワッシャー

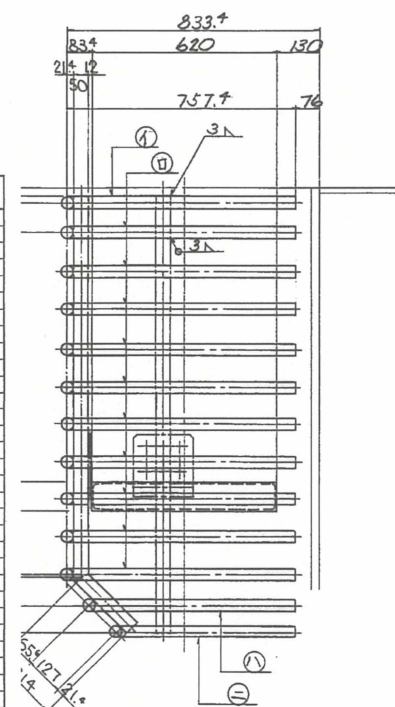
[illegible]

Technical drawing of a bridge cross-section. The drawing shows a symmetrical structure with a central span and side spans. Key dimensions and labels include:

- Top horizontal dimension: 22 000
- Top horizontal dimension (left side): 21 618
- Top horizontal dimension (right side): 21 618
- Horizontal dimension (left side): 5 325
- Horizontal dimension (center): 11 350
- Horizontal dimension (right side): 5 325
- Vertical dimension (left side): 191
- Vertical dimension (right side): 191
- Reinforcement details: 100, 1029
- Bottom horizontal dimension (left side): 9 250
- Bottom horizontal dimension (center): 3 500
- Bottom horizontal dimension (right side): 9 250
- Bottom horizontal dimension (left side): 791
- Bottom horizontal dimension (left side): 3 150
- Bottom horizontal dimension (left side): 3 150
- Bottom horizontal dimension (center): 2 150
- Bottom horizontal dimension (center): 3 150
- Bottom horizontal dimension (right side): 3 150
- Bottom horizontal dimension (right side): 791

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準検査路 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 単柱式) (その1) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

端部断面图 $S = 1/10$

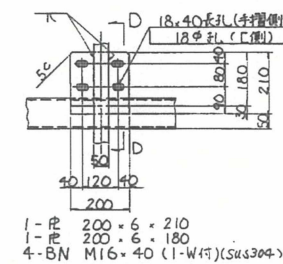


步廊詳細 S = 1/10

[illegible]

D - D

66

[illegible]

Technical drawing of a wall section. The drawing shows a cross-section of a wall with a hatched pattern indicating a specific material. Dimensions are provided in feet and inches (ft. in.). The total width is 6'20". The top section is 1'30" wide. The main section is 3'43.7" wide, with a sub-section of 1'50.110" wide. The bottom section is 2'40" wide. The wall is 4'73.12" high. The drawing includes a horizontal line representing the ground level and a vertical line representing the wall edge.

The diagram shows a 90-degree elbow with dimensions L_1 , L_2 , and R . The table below provides values for different radii R .

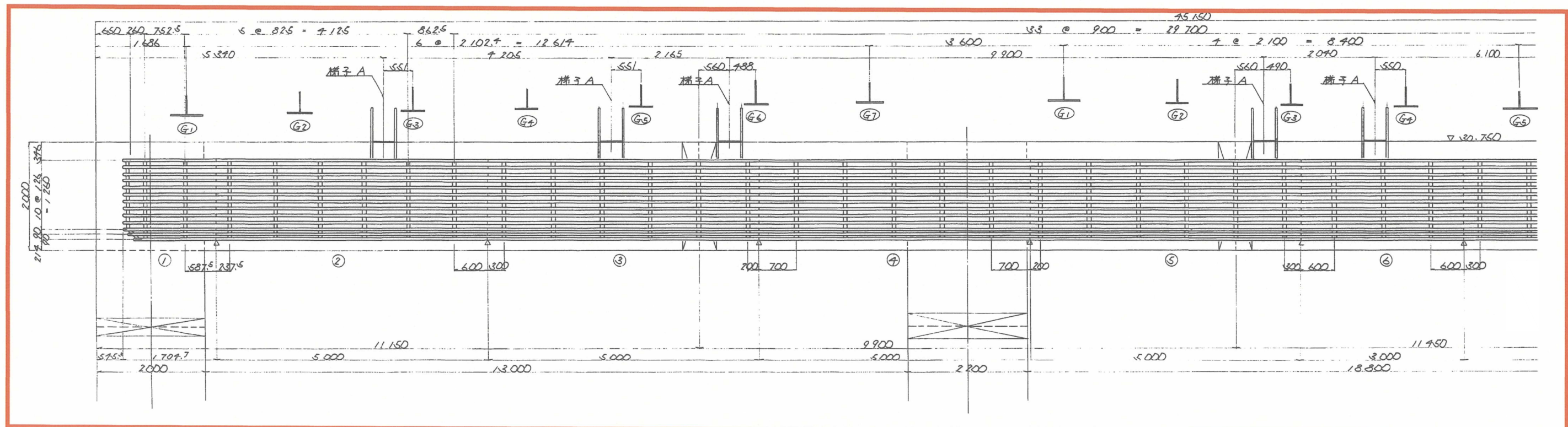
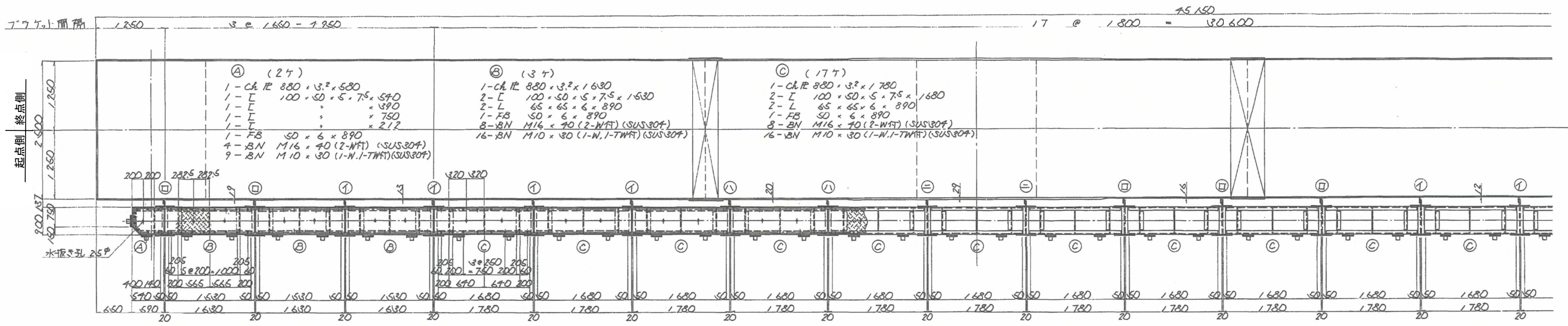
	L_1	L_2	R
①	757	1 717	200
②	757	813	200
③	697	753	140
④	607	663	50

Technical drawing of a mechanical part showing a cross-section with dimensions: 100, 30, 10, 60, 3, and 42.7φ.

[illegible]

2-FB 65 × 6 × 386
5-RB 22Φ × 405
2-R 100 × 9 × 150
4-R 100 × 9 × 283
10-BN M16 × 45 (2-Wt) (SUS304)
※ 2-Conn R 100 × 9 × 130
※ 4-Conn R 100 × 9 × 180

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準検査路 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 単柱式) (その2) 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			



① (1ヶ)
3-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
3-□ 238()
11-Pipe 42.7φ×2.3×2616(STK41)
1-Pipe 2506()
1-Pipe 2365()
13-Pipe 34φ×2.3×100()
6-IR 200×6×220
12-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

③ (2ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
6-□ 238()
13-Pipe 42.7φ×2.3×4990(STK41)
13-Pipe 34φ×2.3×100()
12-IR 200×6×220
24-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

⑤ (1ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
6-□ 238()
13-Pipe 42.7φ×2.3×4990(STK41)
13-Pipe 34φ×2.3×100()
12-IR 200×6×220
24-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

② (1ヶ)
6-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
6-□ 238()
13-Pipe 42.7φ×2.3×4990(STK41)
13-Pipe 34φ×2.3×100()
12-IR 200×6×220
24-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

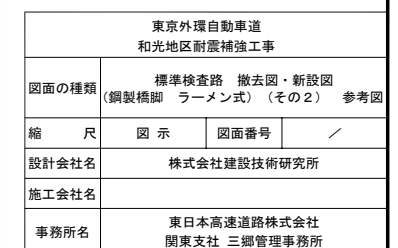
④ (2ヶ)
5-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
5-□ 238()
13-Pipe 42.7φ×2.3×4990(STK41)
13-Pipe 34φ×2.3×100()
10-IR 200×6×220
20-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

⑥ (1ヶ)
3-□ 50×50×3.2×1292(STKR41)
3-□ 238()
13-Pipe 42.7φ×2.3×2990(STK41)
13-Pipe 34φ×2.3×100()
6-IR 200×6×220
12-BN M16×45(2-WFT)(SUS304)

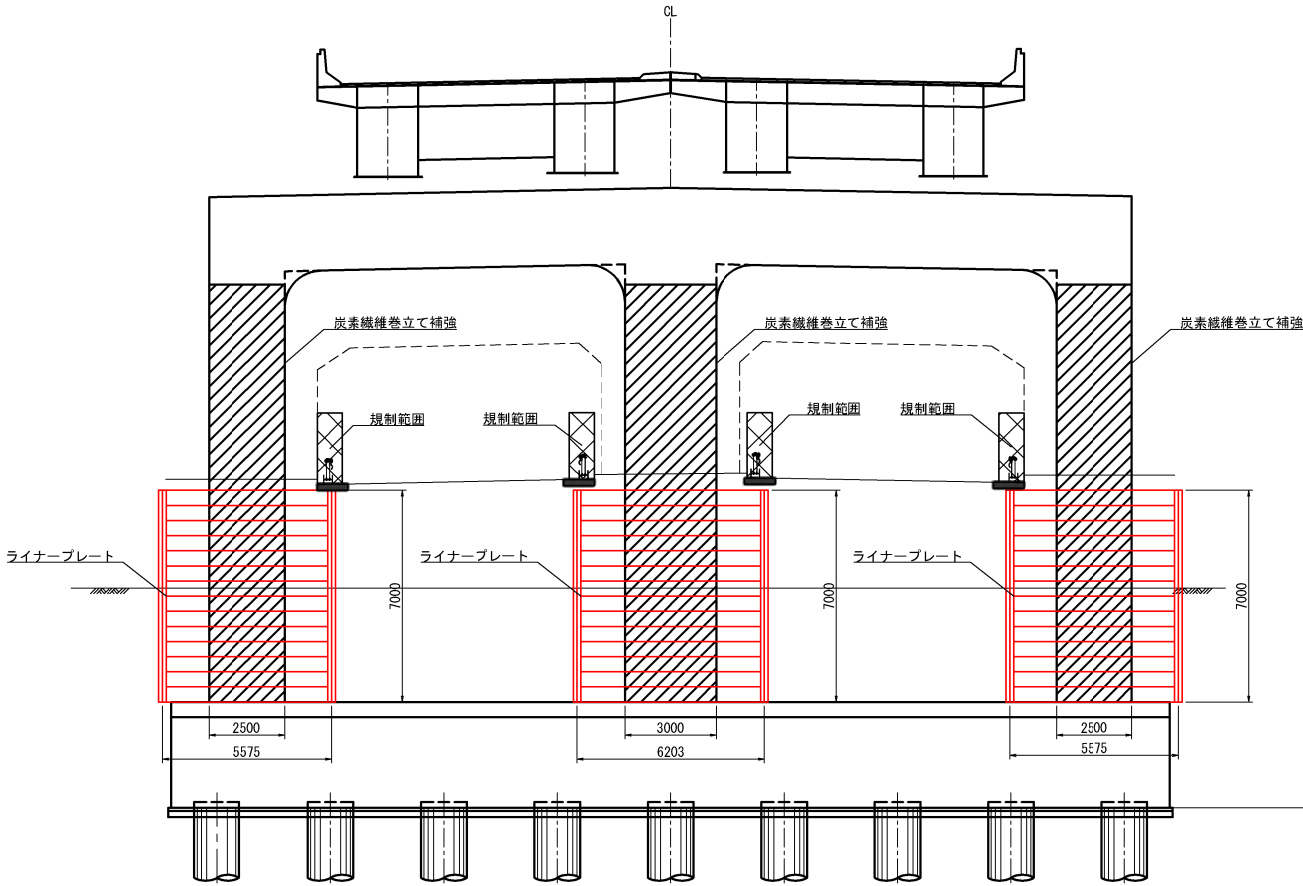
検査路撤去・新設範囲=45.2m

- 注)
- 特記なき材質は、全てSS41とする。
 - ボルト以外の鋼材は、溶融亜鉛メッキ処理とし、付着量はJIS H8641-2種M25SSとする。
 - フラット等は下部工検査路(その1、15)を参照とする。
 - △印は、継ぎ位置を示す。

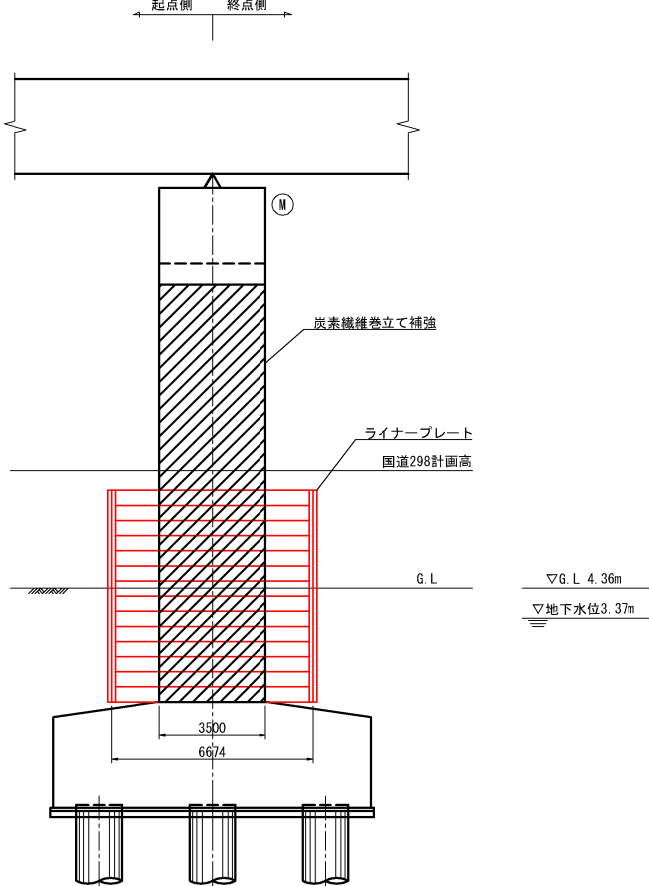
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準検査路 撤去図・新設図 (鋼製橋脚 ラーメン式) (その1) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



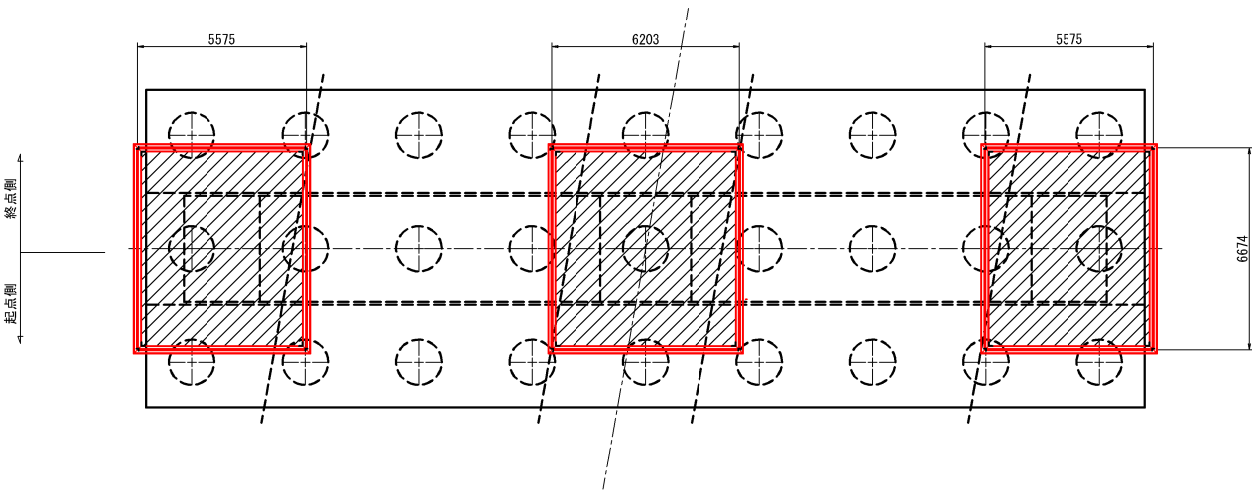
正面図



側面図

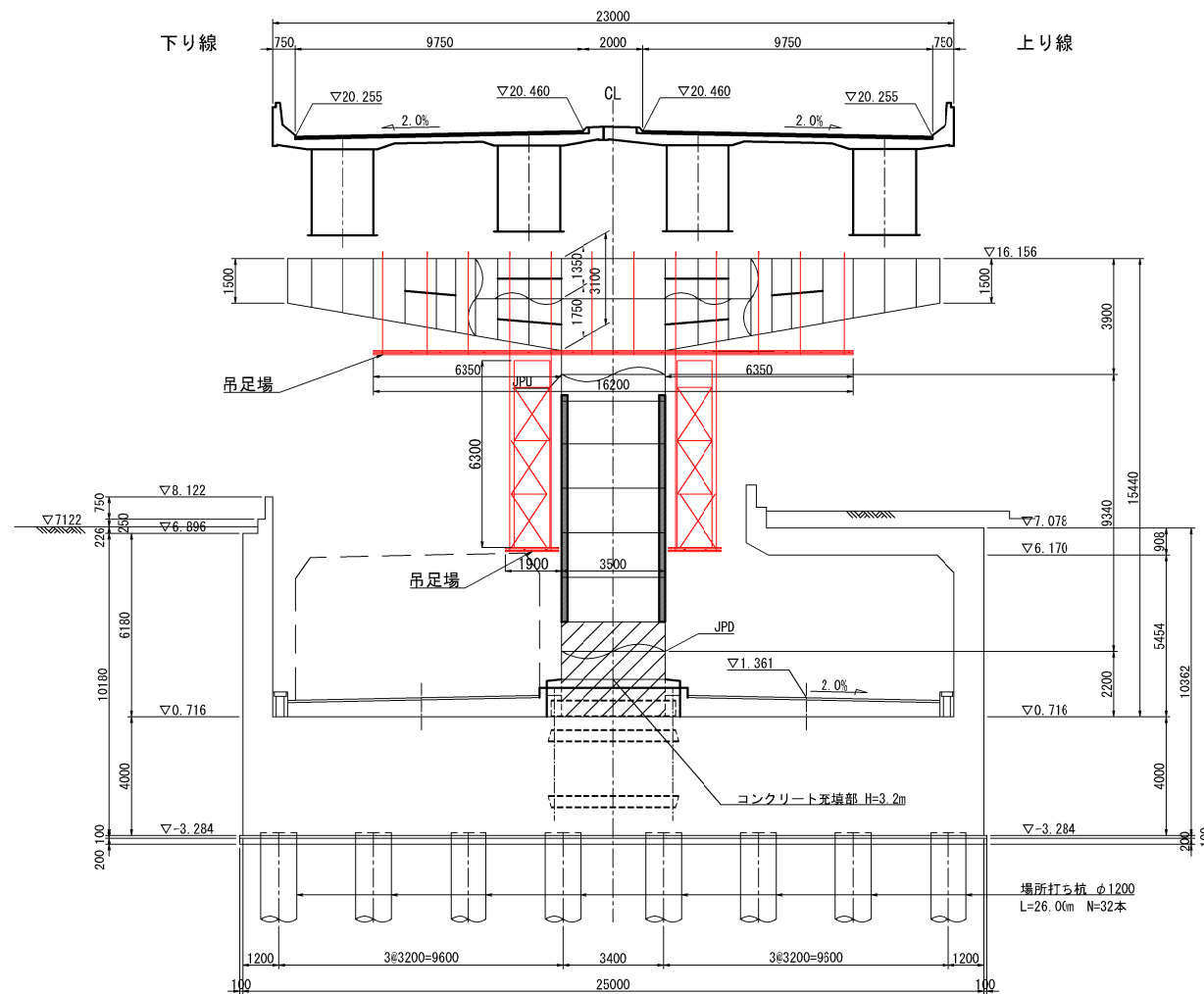


平面図

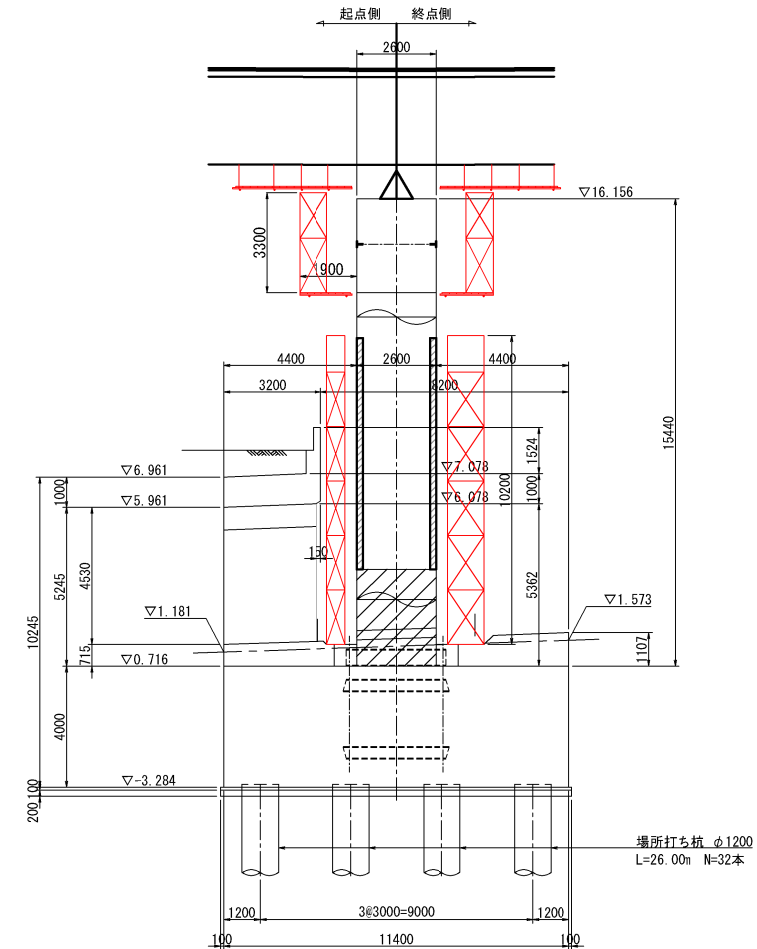


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（構造物掘削）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

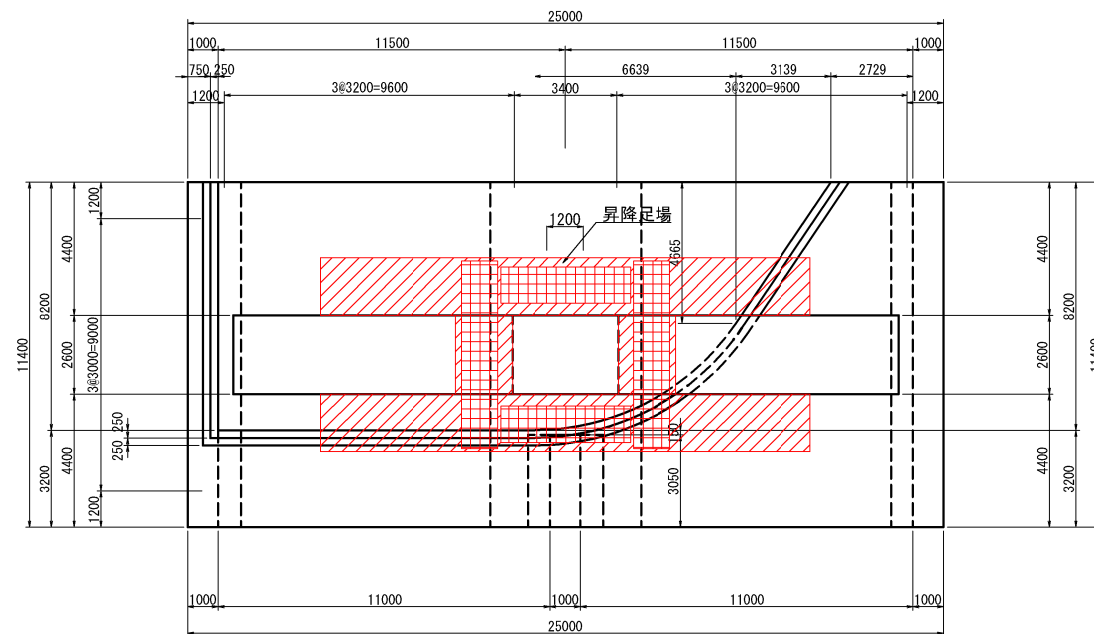
正面图



側面図




平面图



施工方法一覽

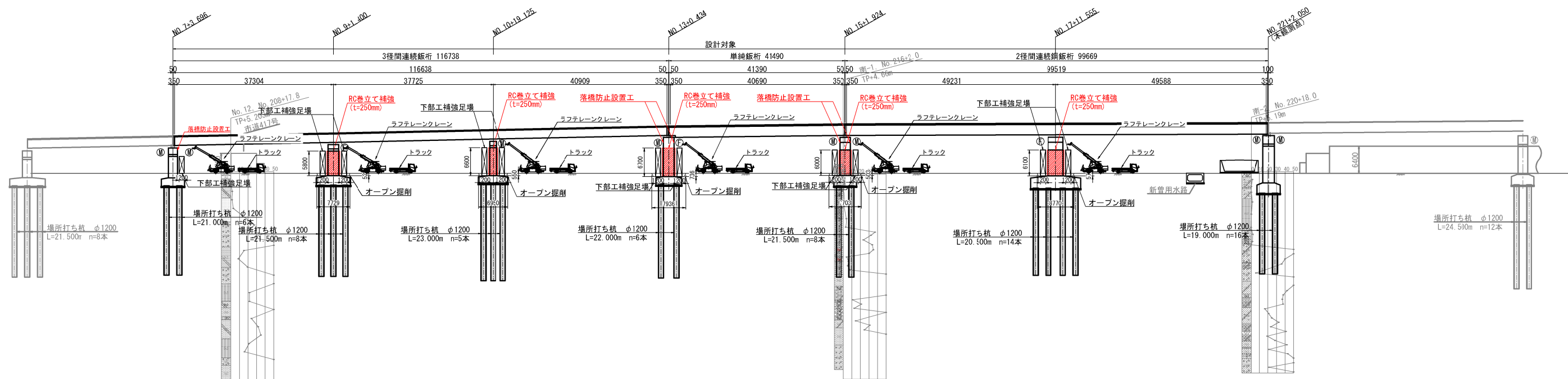
施工部位	施工方法
パラメータ補強	重量物対応吊り足場
角補強	重量物対応吊り足場 高所作業車（建築限界範囲内）

凡例

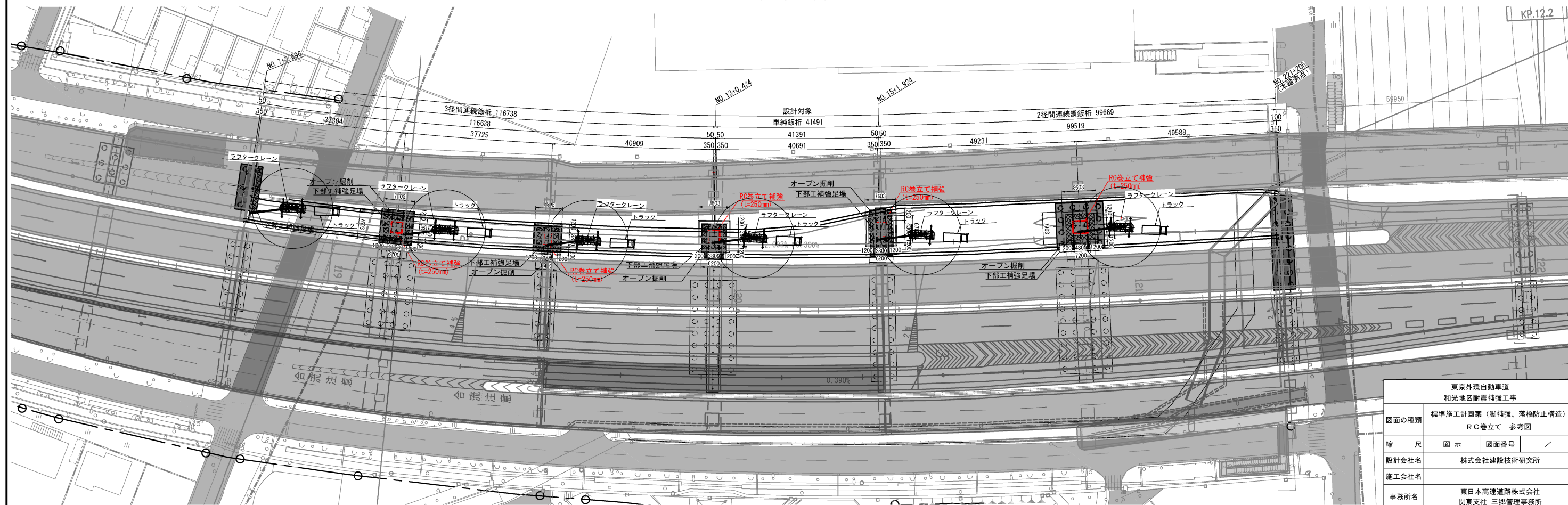
 吊足場
 枠組足場

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準施工計画案（足場工）参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

側面図

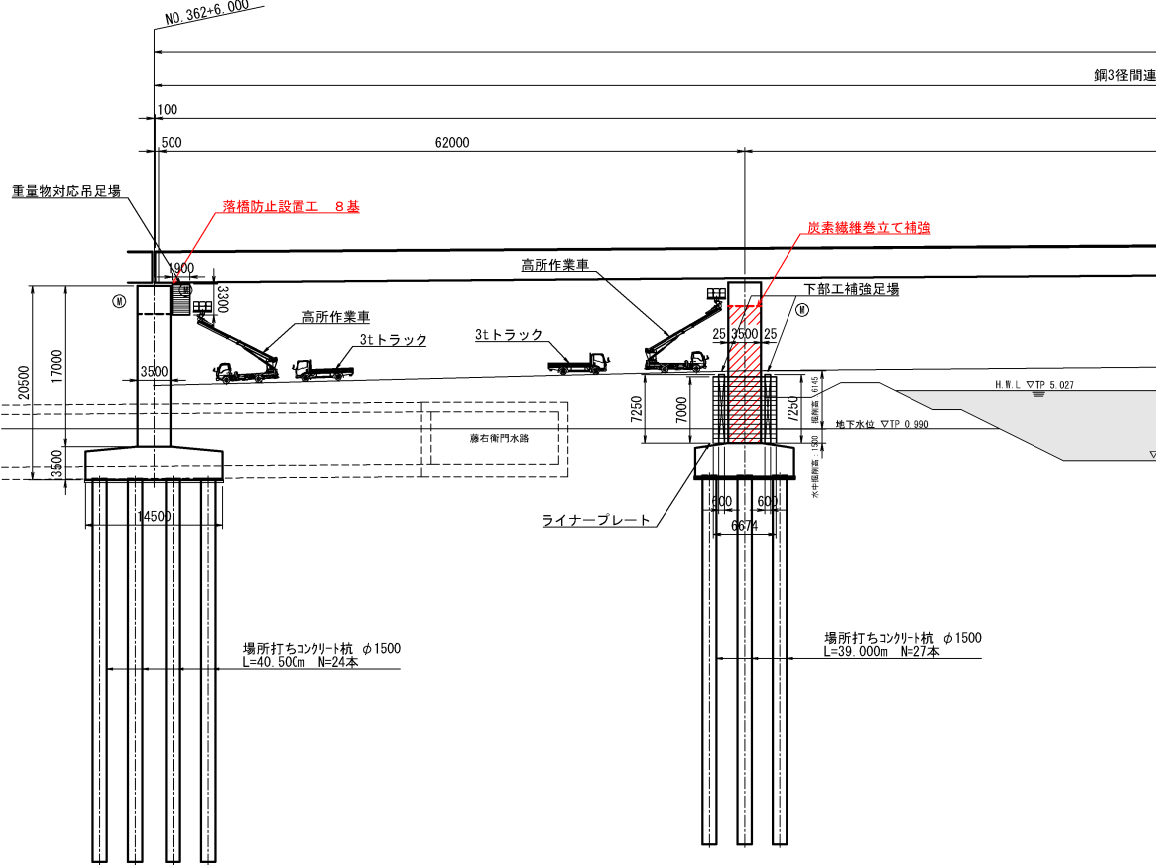


平面図

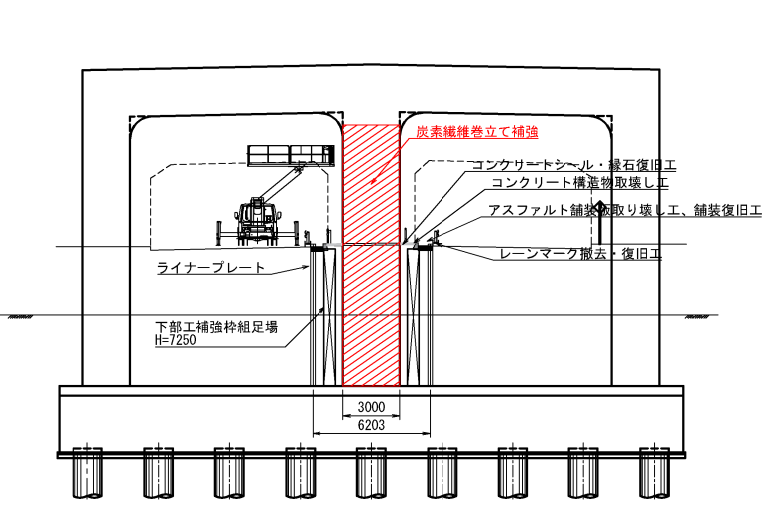


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） RC巻立て 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		
事務所名			

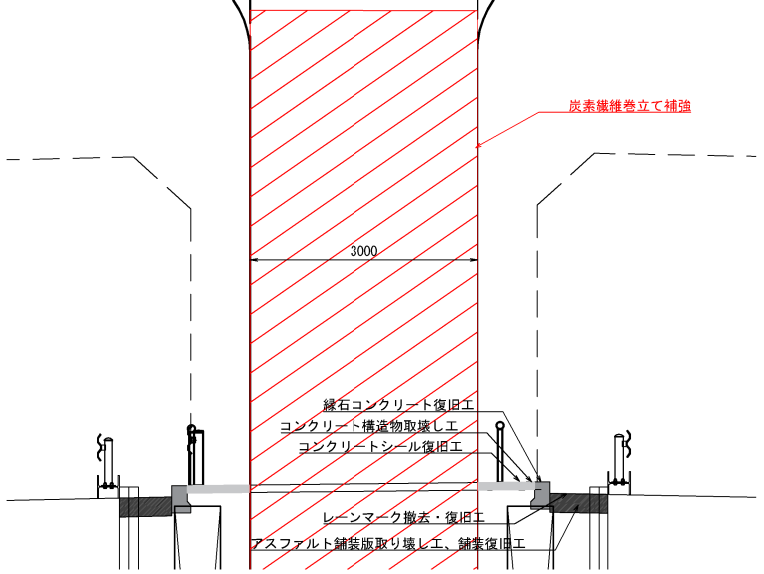
側面図



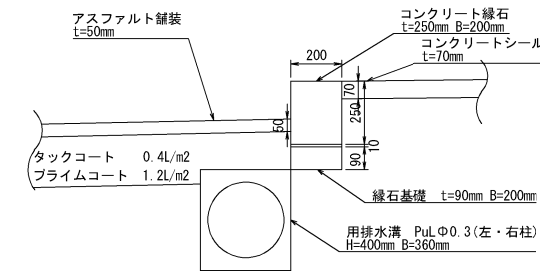
正面図 S=1:400



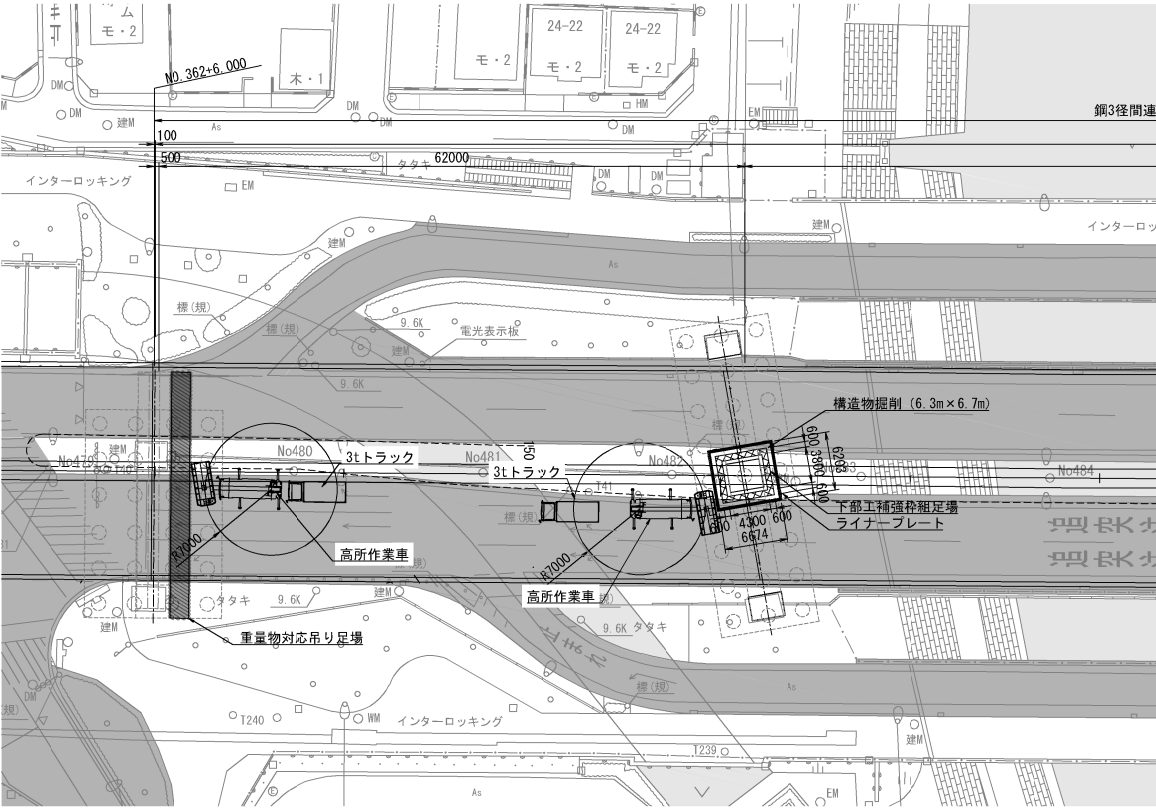
施工ヤード詳細図 S=1:100



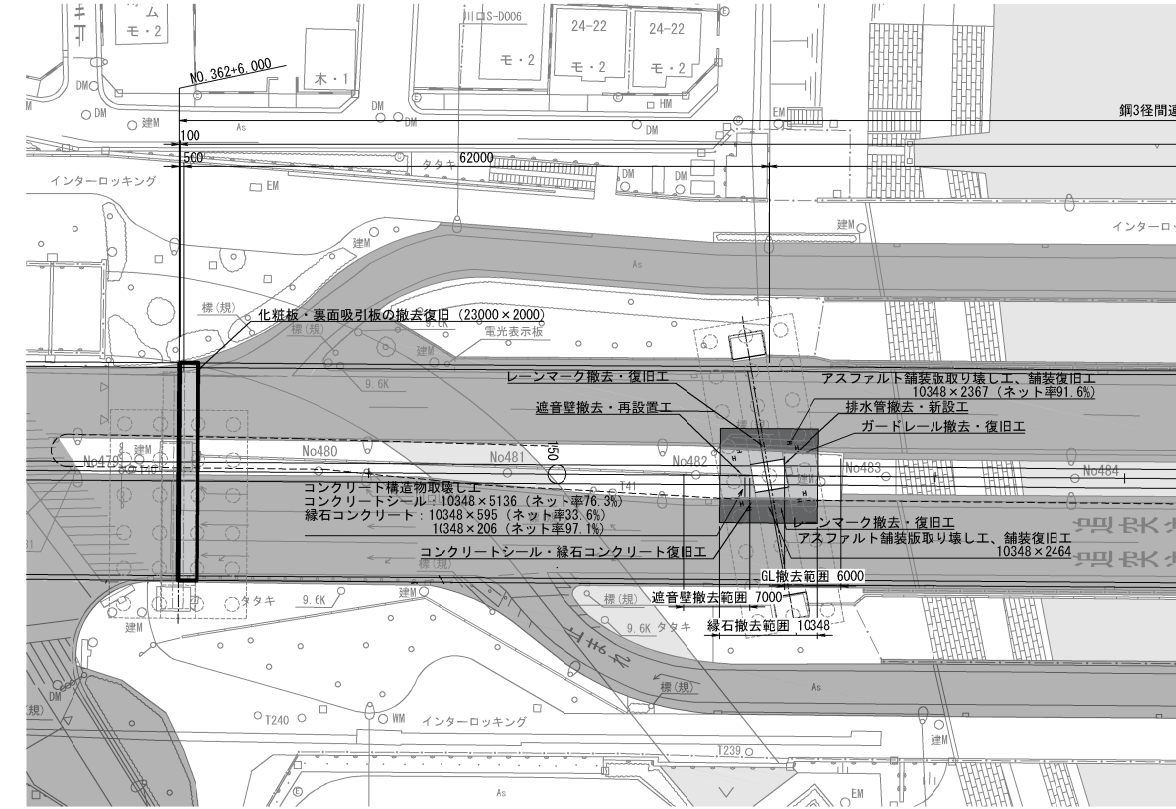
中央分離帯構造図(想定) S=1:30



平面図



平面図



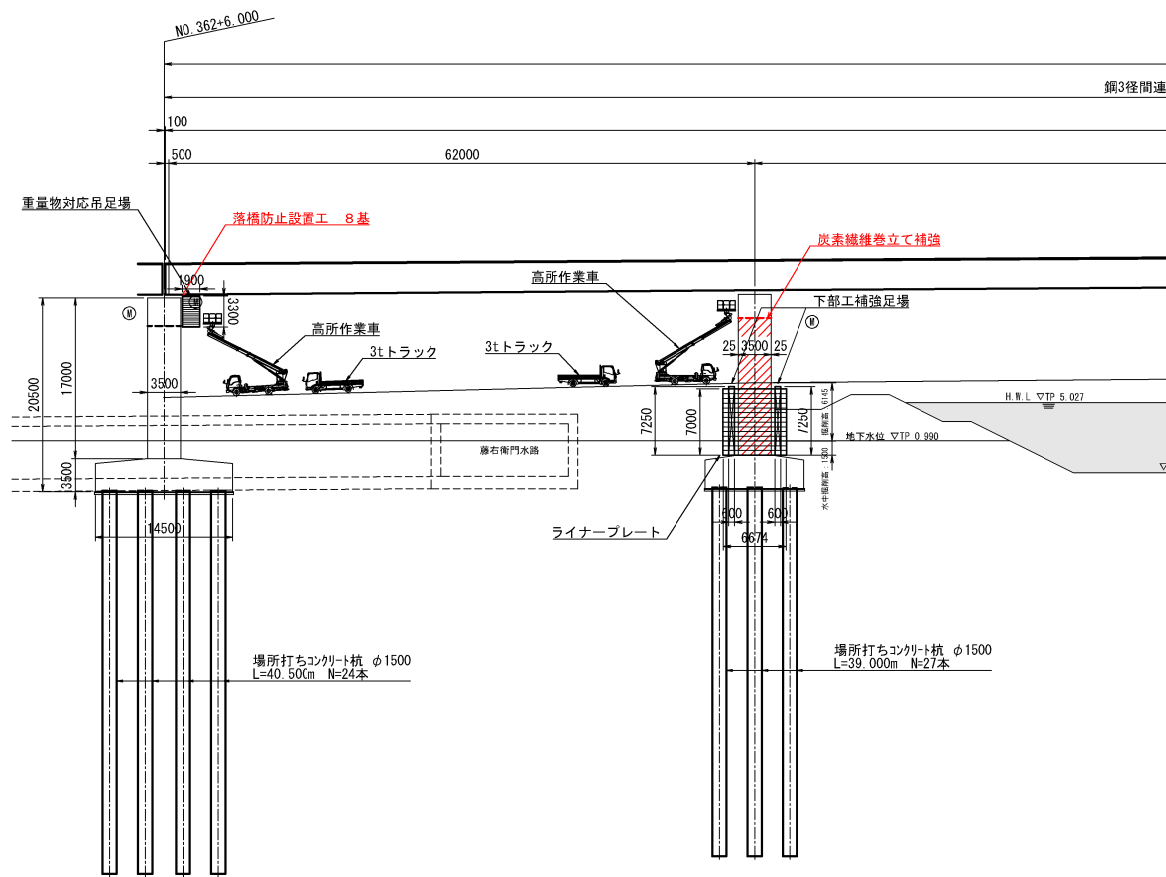
施工凡例	
■	現況道路(国道)
■	現況道路(側道・交差道路)
■	河川・水路
—	工事用重機

施工時

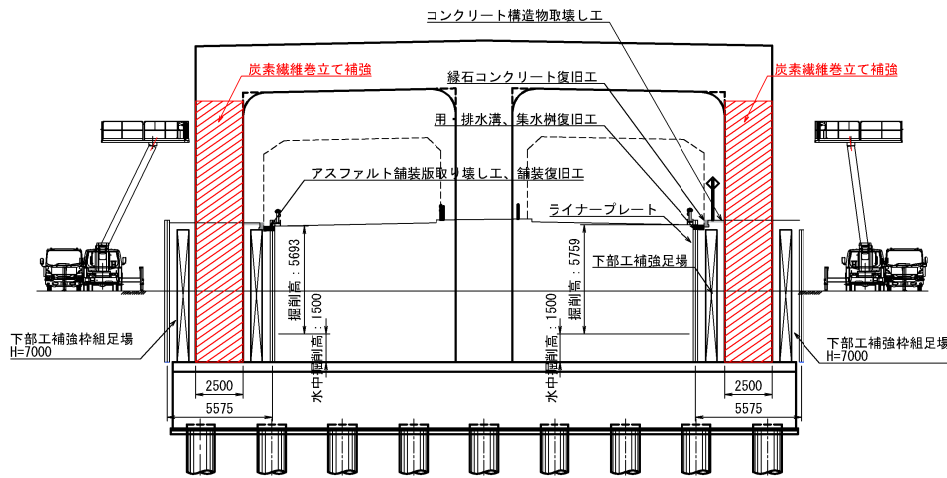
撤去・復旧時

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 炭素繊維巻立て（その1）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

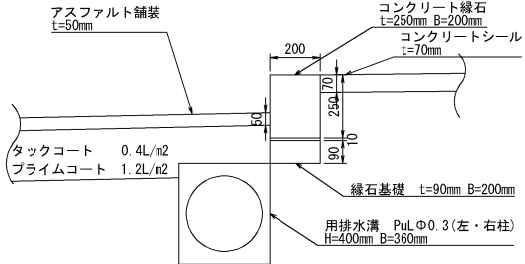
側面図



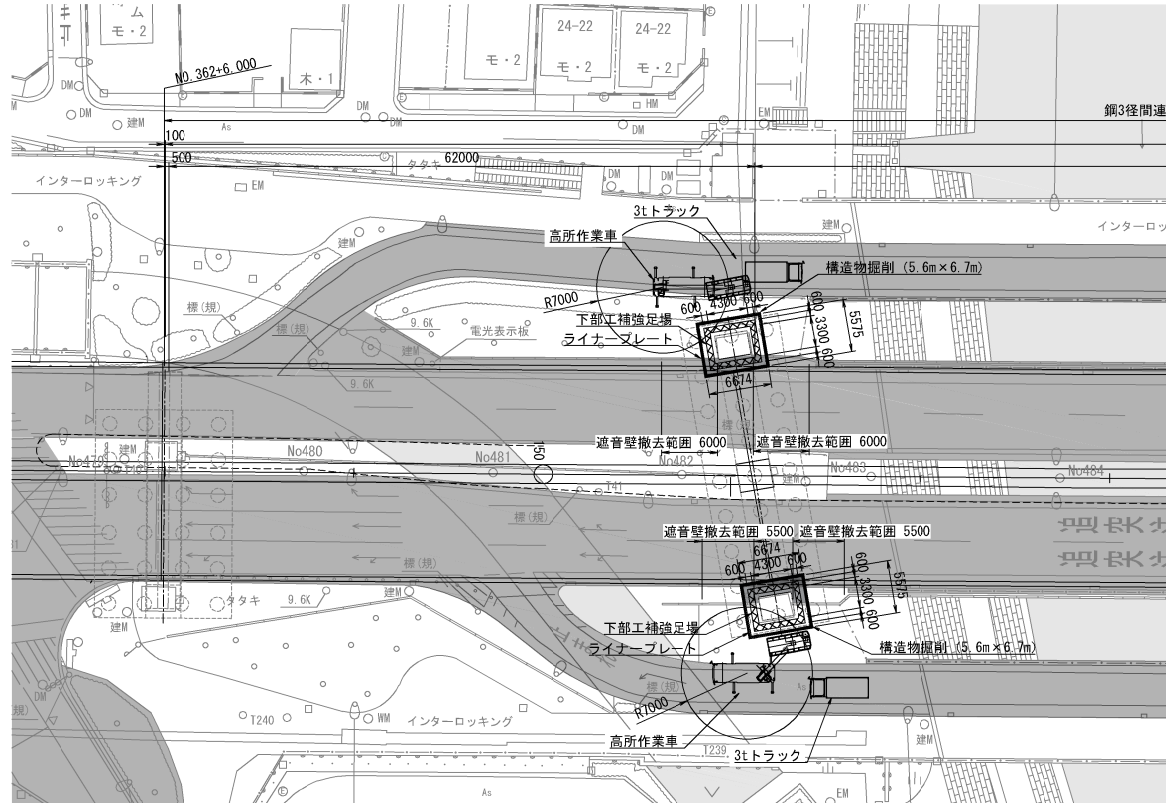
正面図 S=1:400



中央分離帯構造図(想定) S=1:30

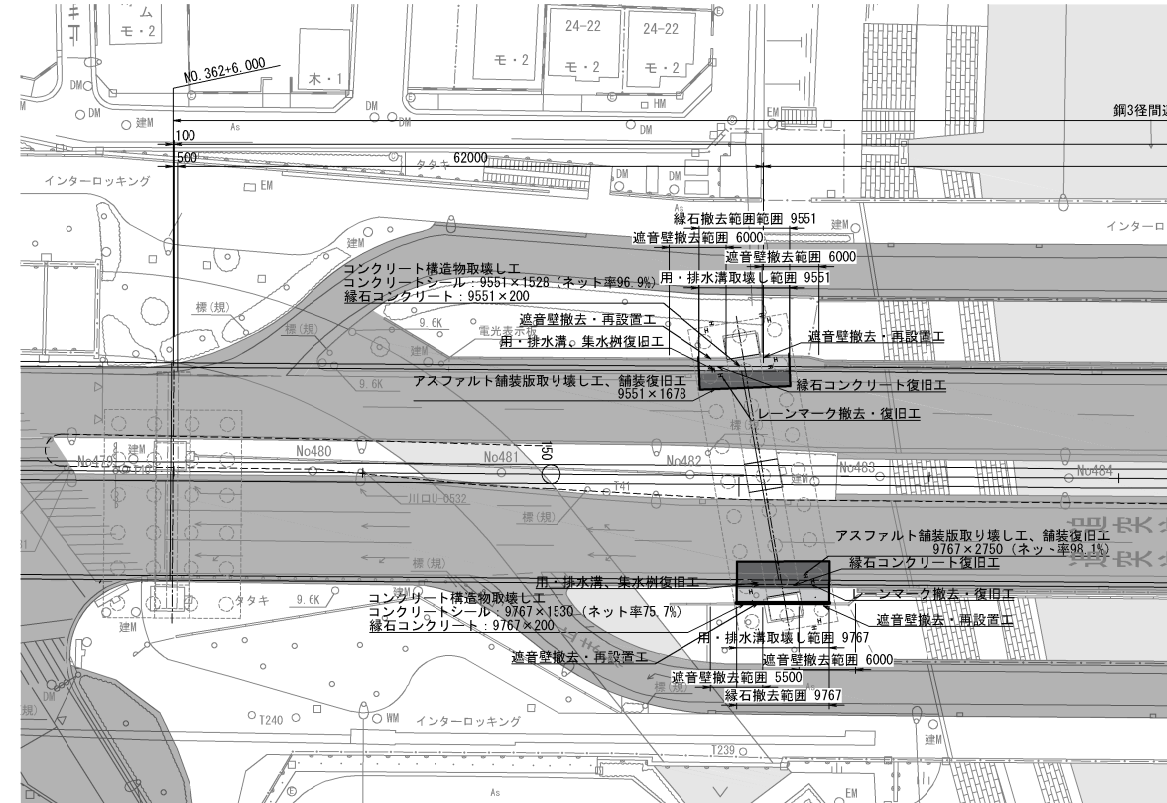


平面図



施工時

平面図

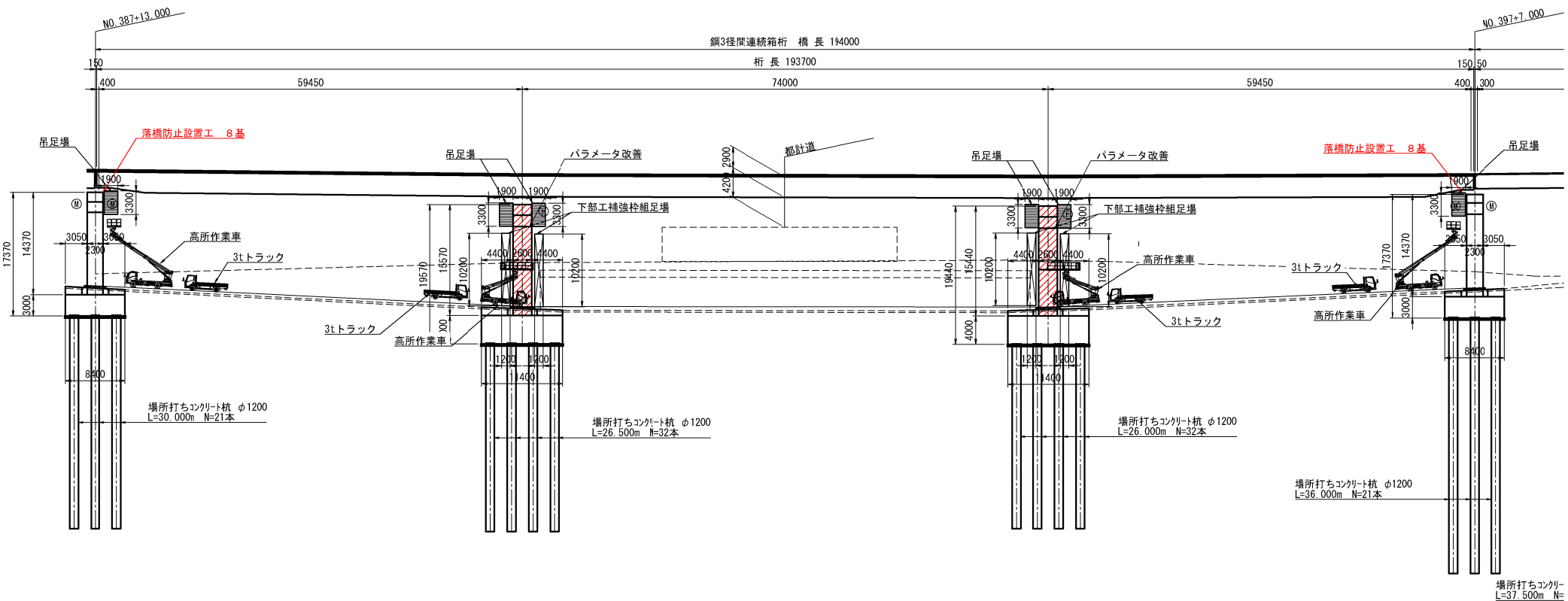


撤去・復旧時

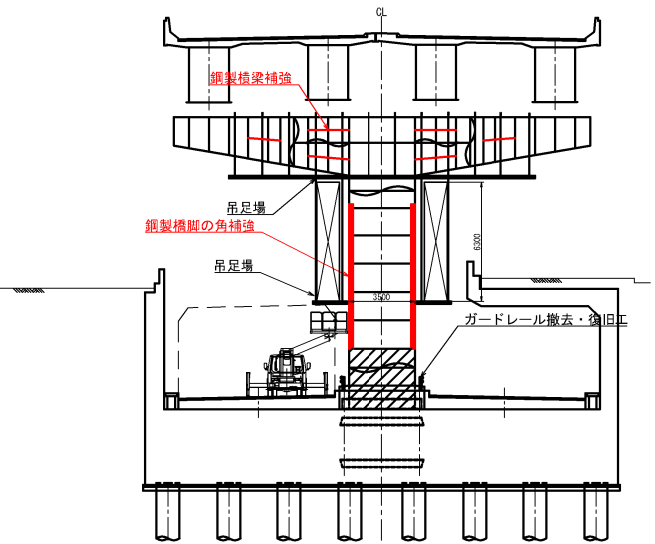
施工凡例	
■	現況道路(国道)
■	現況道路(側道・交差道路)
■	河川・水路
—	工事用重機

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 炭素繊維巻立て（その2）参考図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

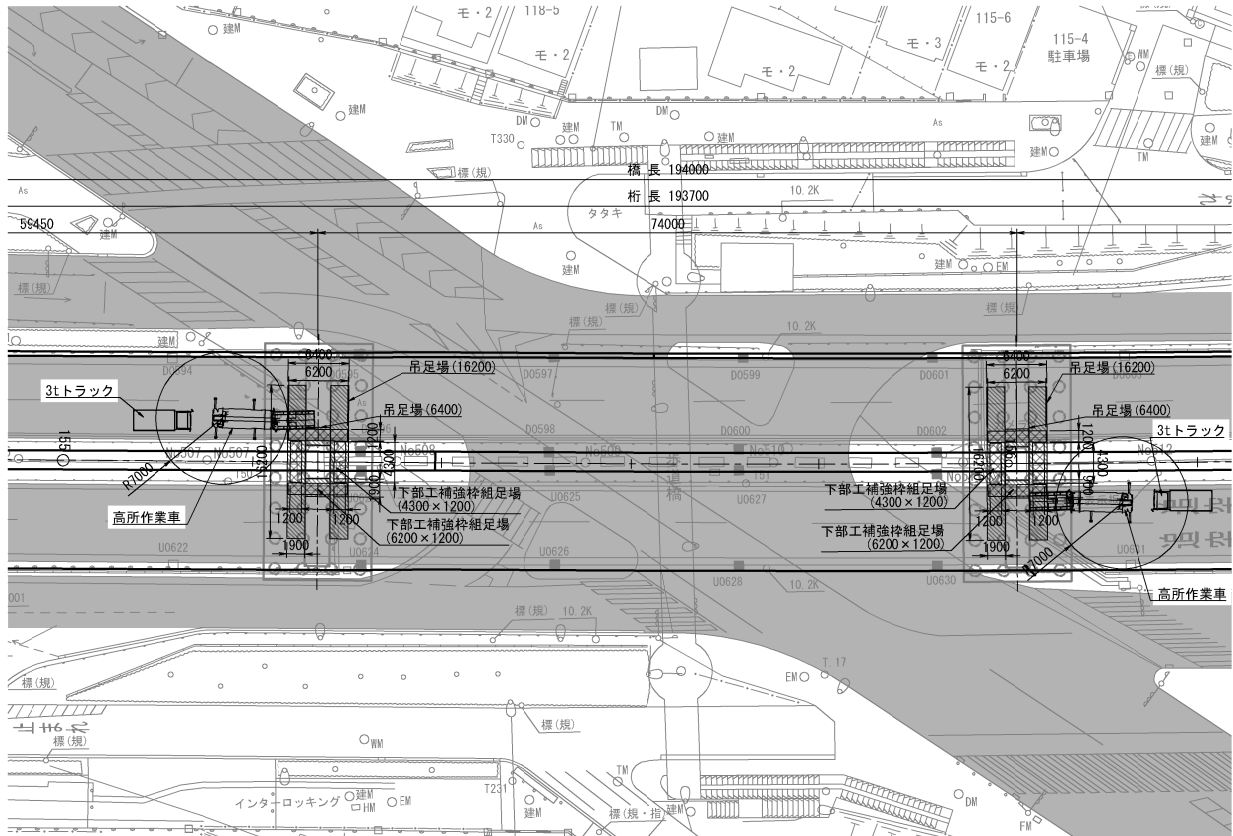
側面図



正面図 S=1:400

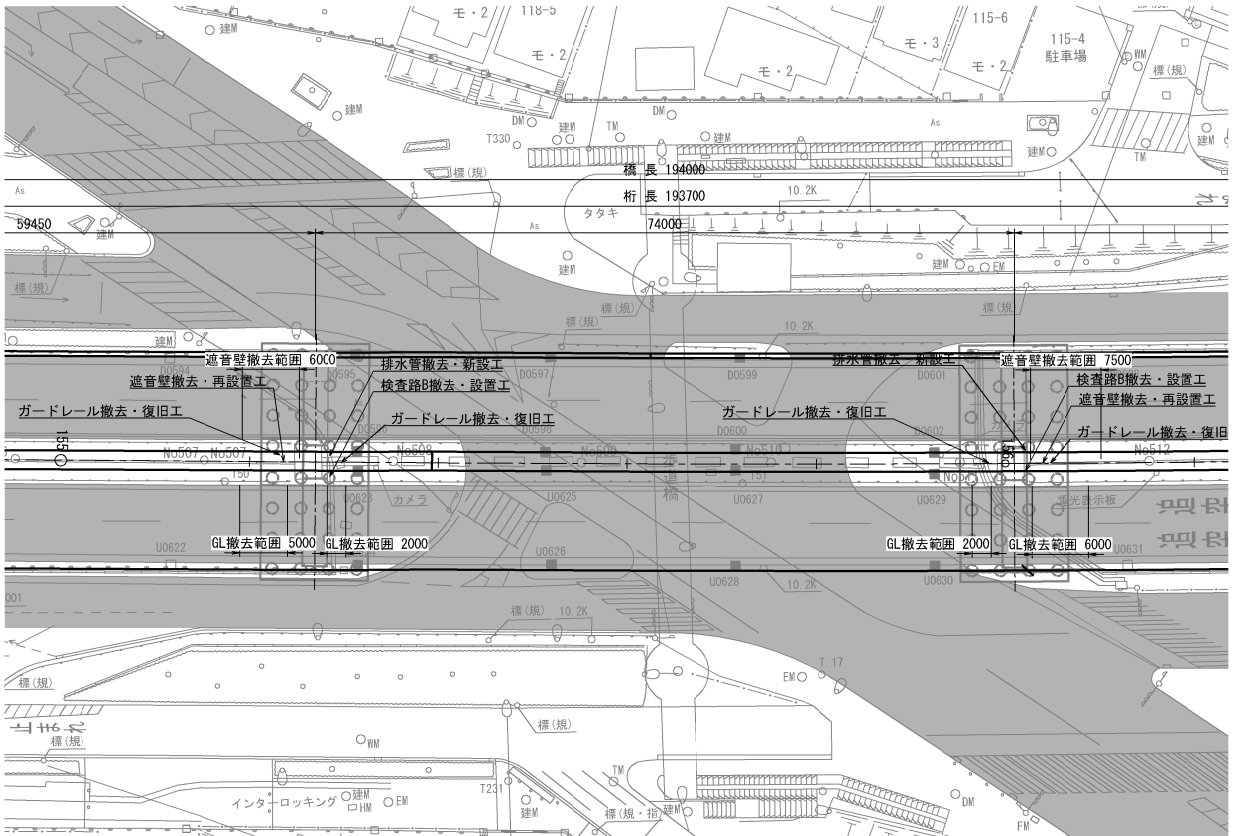


平面図



施工時

平面図

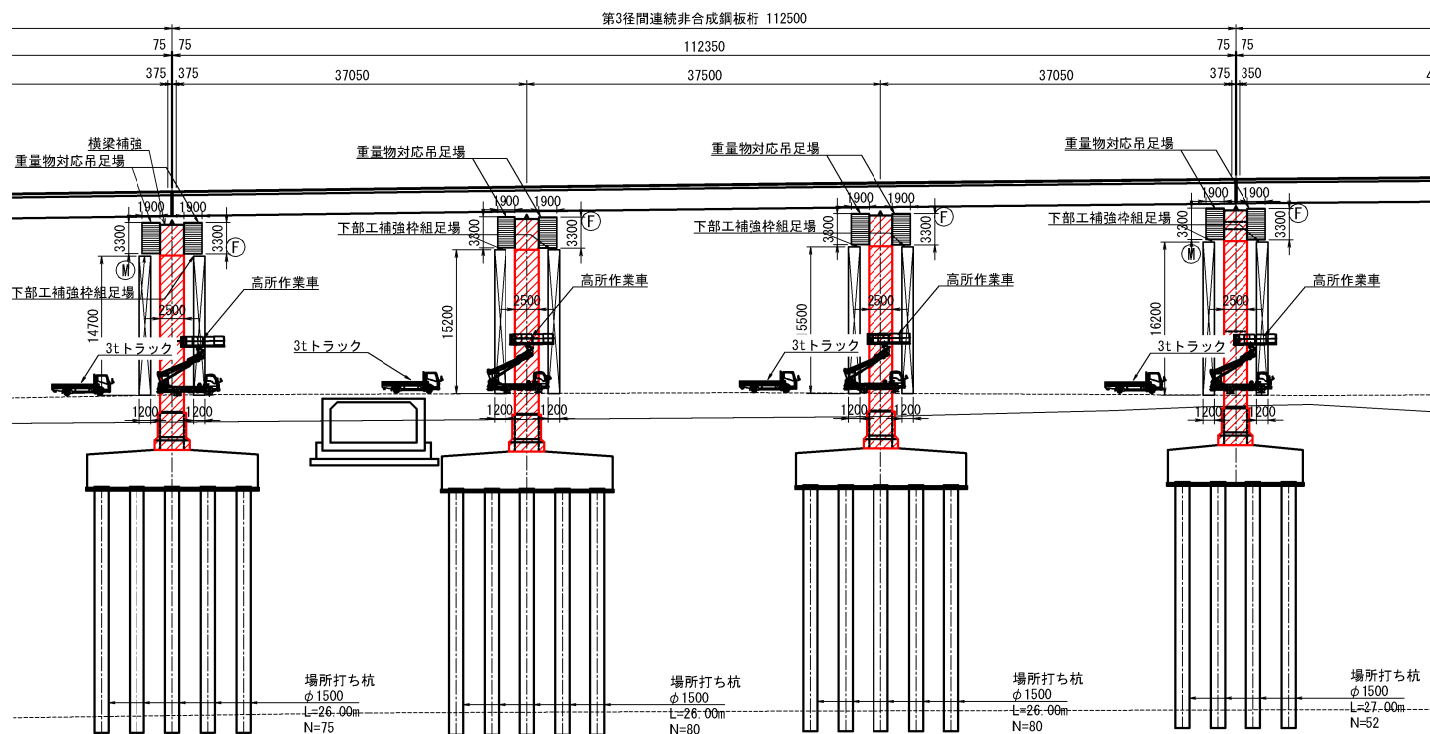


撤去・復旧時

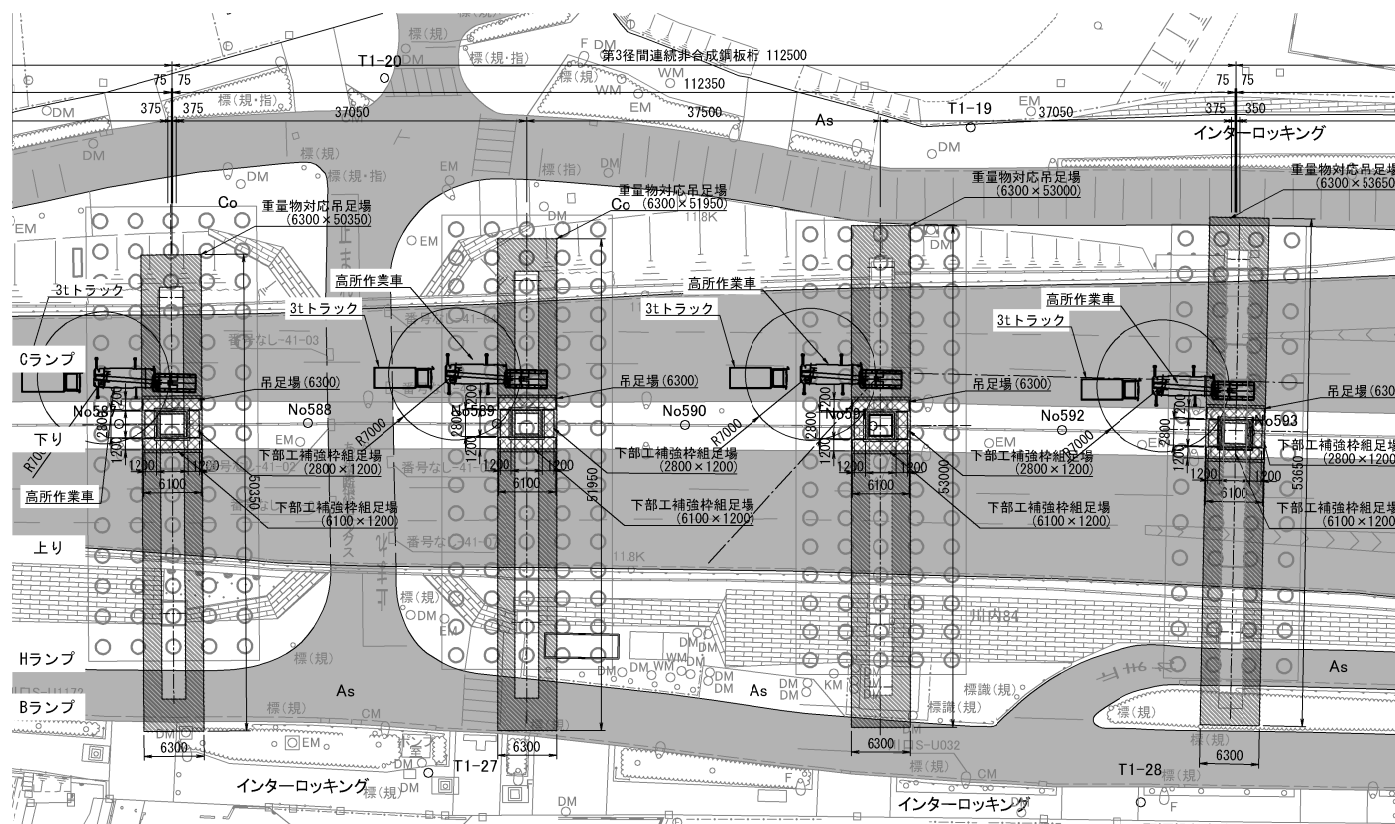
- 施工凡例
- 現況道路(国道)
 - 現況道路(側道・交差道路)
 - 河川・水路
 - 工事用重機

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案（脚補強、落橋防止構造） 鋼製橋脚（その1）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		
事務所名			

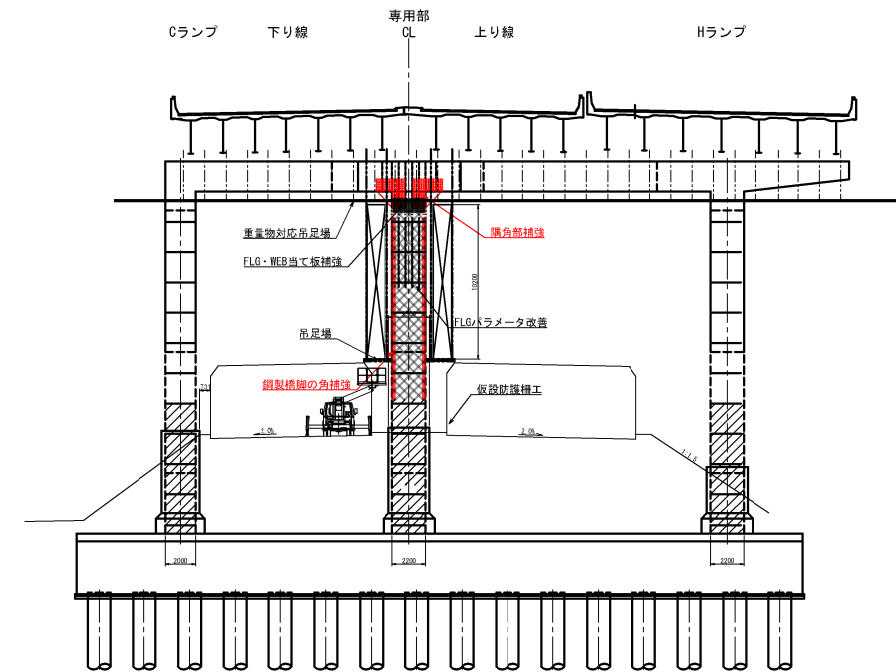
側面図



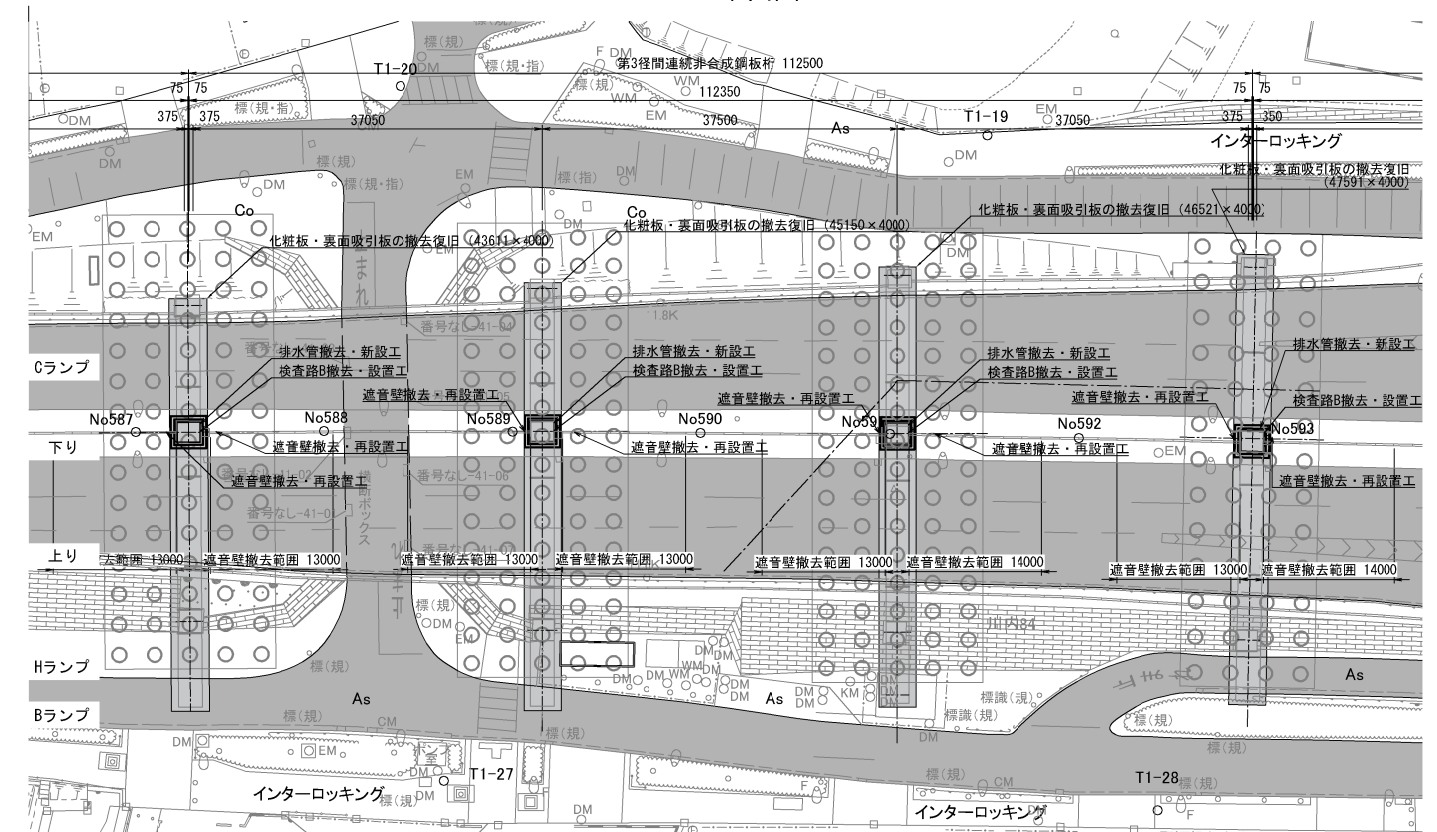
平面图



正面图 S=1:500



平面图



施工凡例

現況道路（国道）

現況道路（側道・交差道路）

工事用重機

東京外環自動車道
和光地区耐震補強工事

図面の種類

標準施工計画案（即脚強、落橋防止構造）
鋼製模脚（その２） 参考図

縮尺

図示

図面番号

／

設計会社名

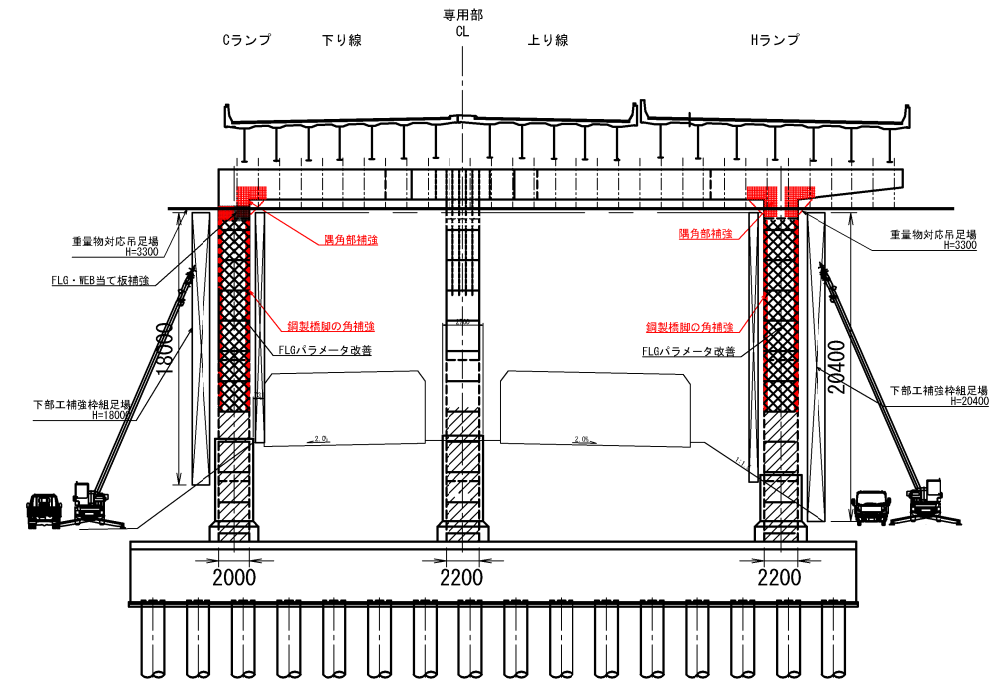
株式会社建設技術研究所

施工会社名

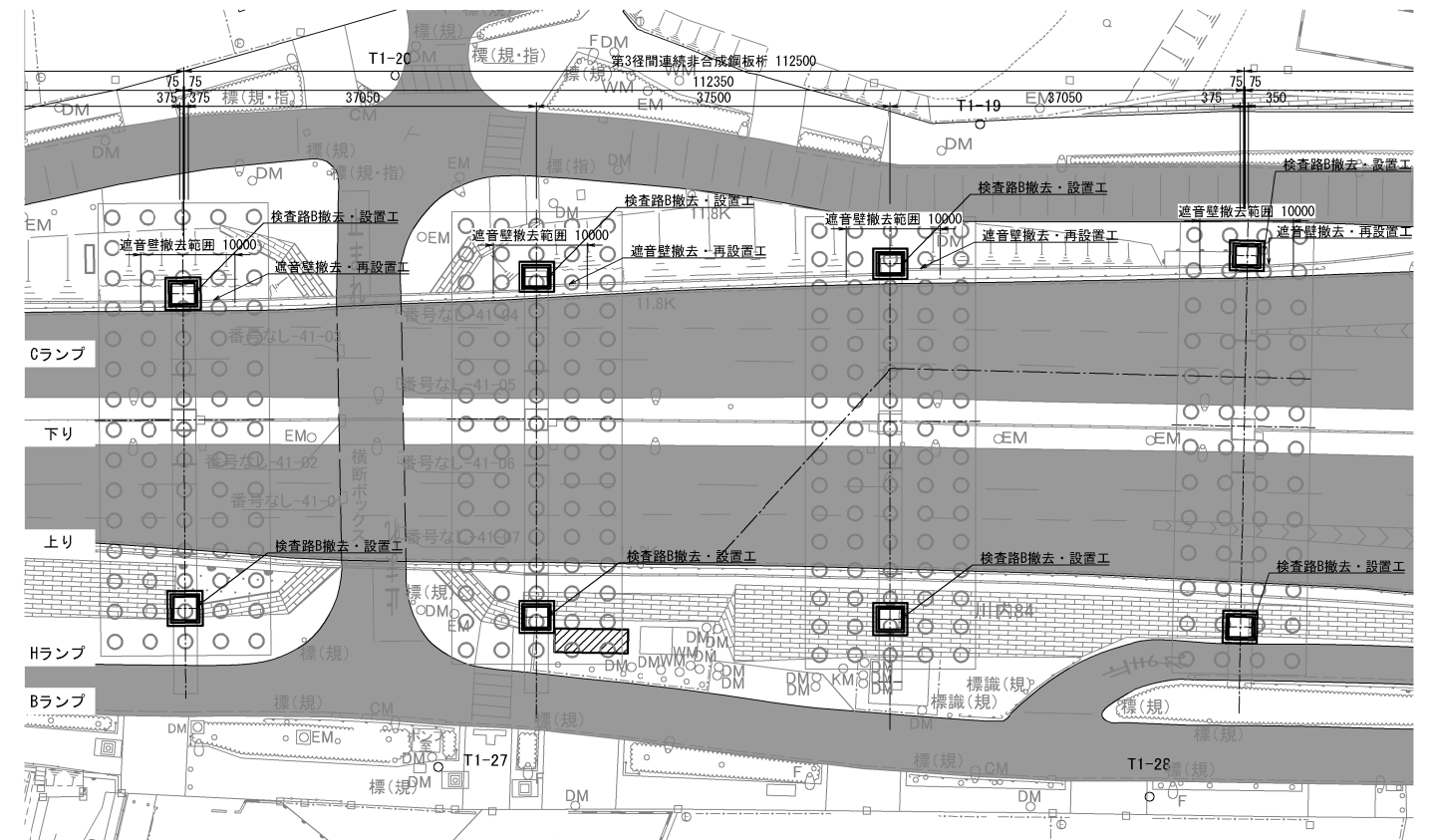
事務所名

東日本高速道路株式会社
関東支社 三郷管理事務所

正面图 S=1:500



平面图

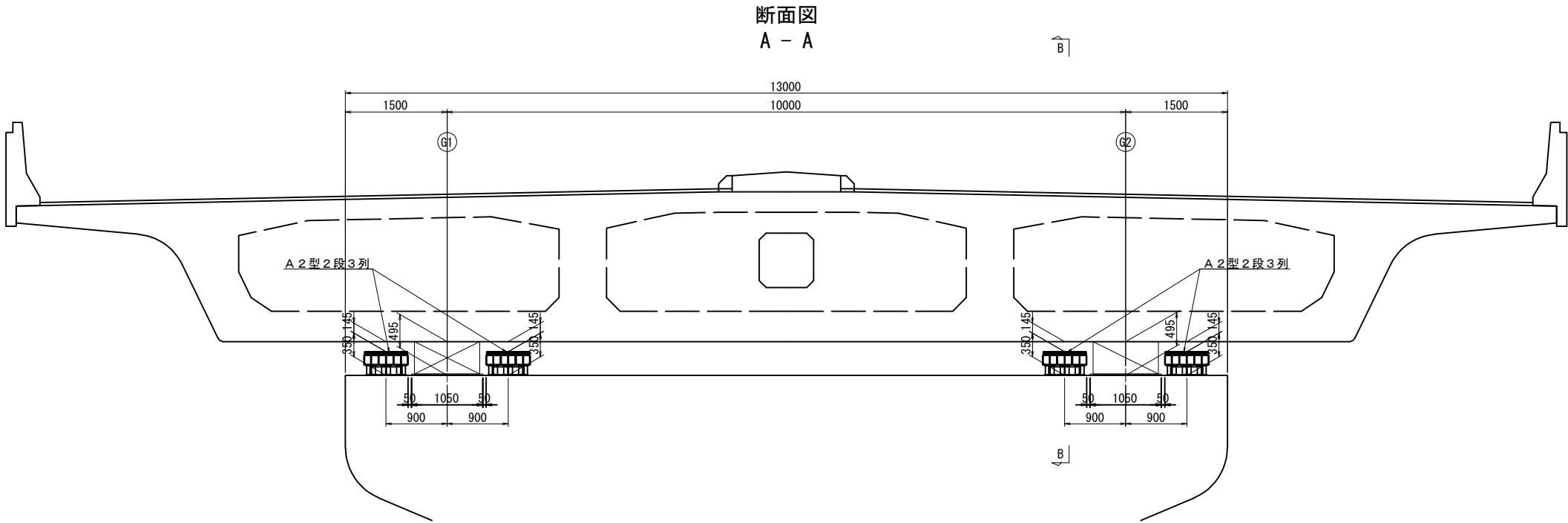
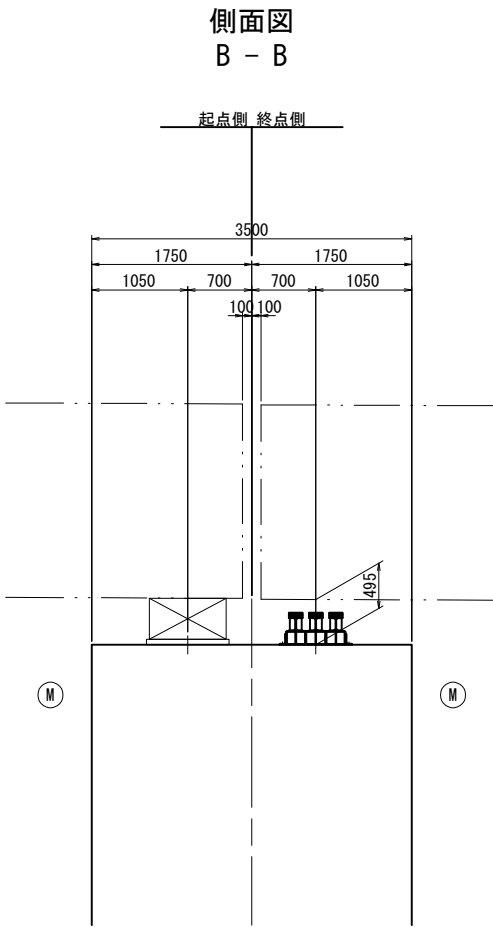
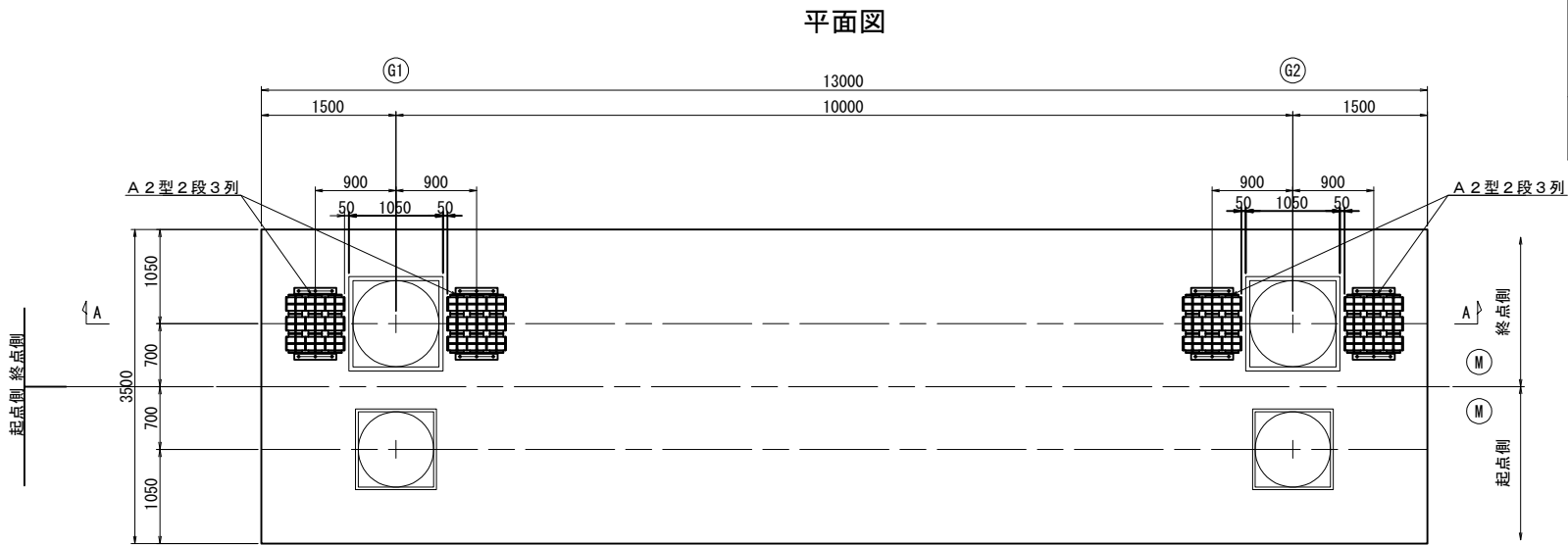


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準施工計画案（即脚橋、落橋防止構造） 鋼製橋脚（その３）参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

標準段差防止構造D1配置図（R C橋脚） 参考図 S=1/40

数量表

			G1		G2	
支 承 部 高			495		495	
段差防止 構造D1	位置		左側	右側	左側	右側
	サンドル 2段目	型	A 2 型	A 2 型	A 2 型	A 2 型
		個数	3	3	3	3
	サンドル 1段目	型	A 2 型	A 2 型	A 2 型	A 2 型
個数		3	3	3	3	
緩衝材（硬度55° ±5° ） クロロブレンゴム相当		サイズ	150×50×650			
		個数	3	3	3	3

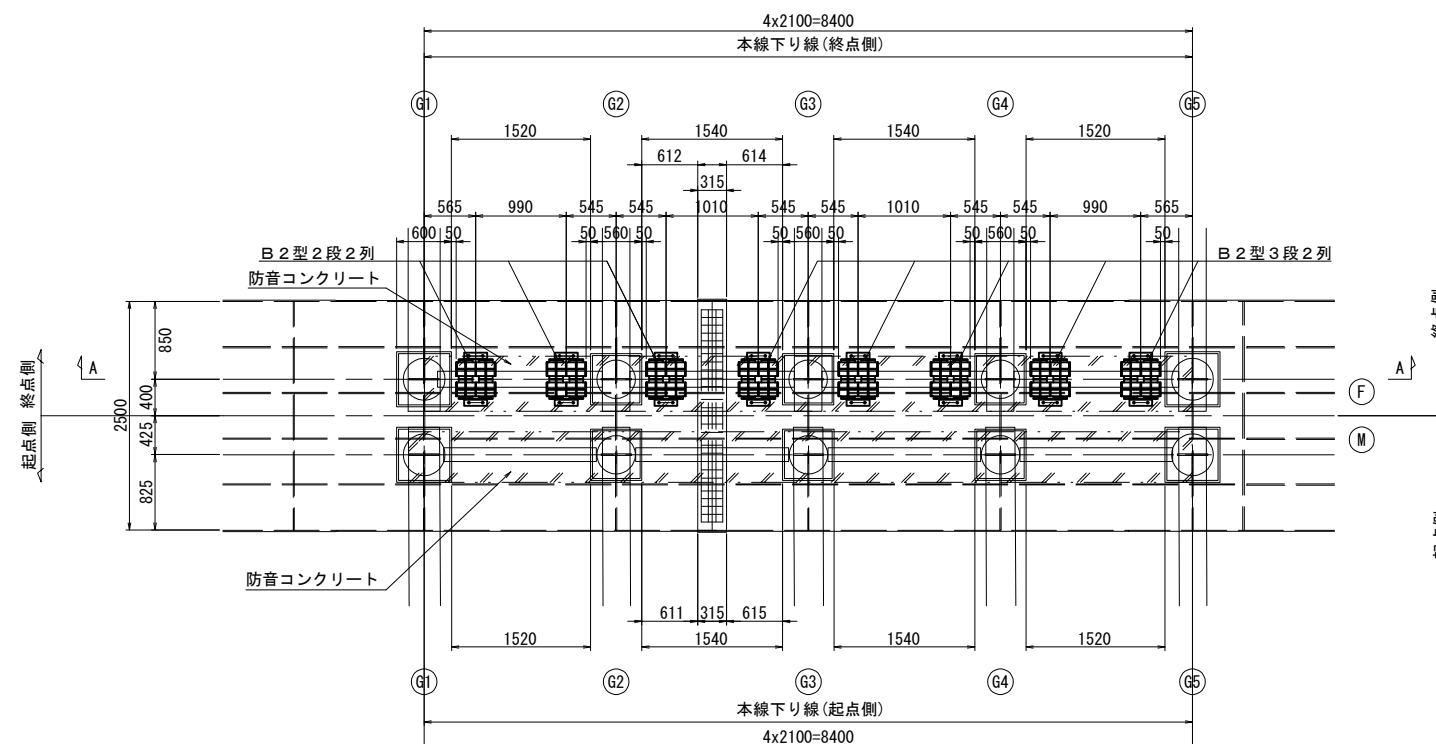


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D1配置図 (R C橋脚) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

A

数量表								
				G1		G2		
支分部高		1014		866				
段差防止 構造D1	位置	左側	右側	左側	右側			
	サンドル 6段目	型	B 2 型	B 2 型	-	-		
		個数	2	2	-	-		
	サンドル 5段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型		
		個数	2	2	2	2		
	サンドル 4段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型		
		個数	2	2	2	2		
	サンドル 3段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型		
		個数	2	2	2	2		
	サンドル 2段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型		
		個数	2	2	2	2		
	サンドル 1段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型		
個数		2	2	2	2			
緩衝材（硬度55° ±5°） クロブレンゴム相当		サイズ	150×50×430					
		個数	2	2	2	2	2	

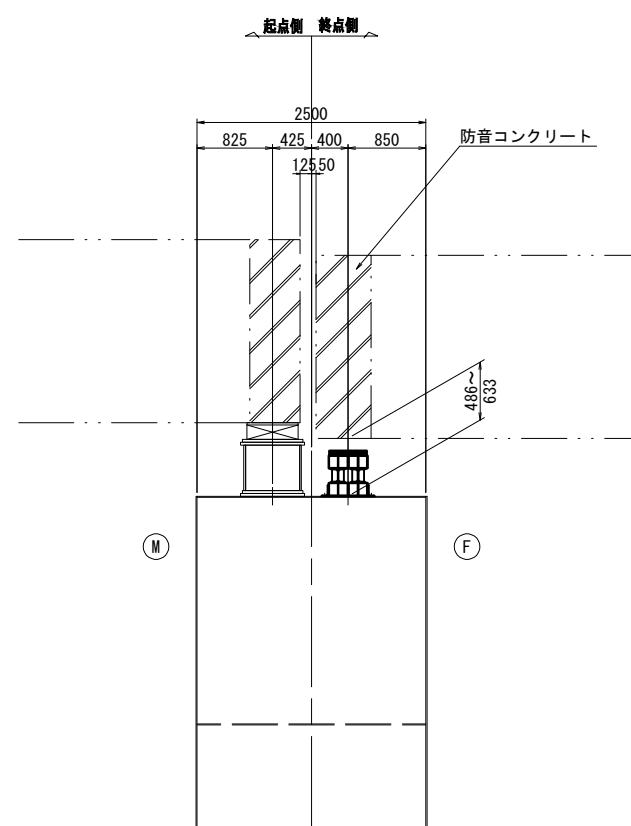
平面图



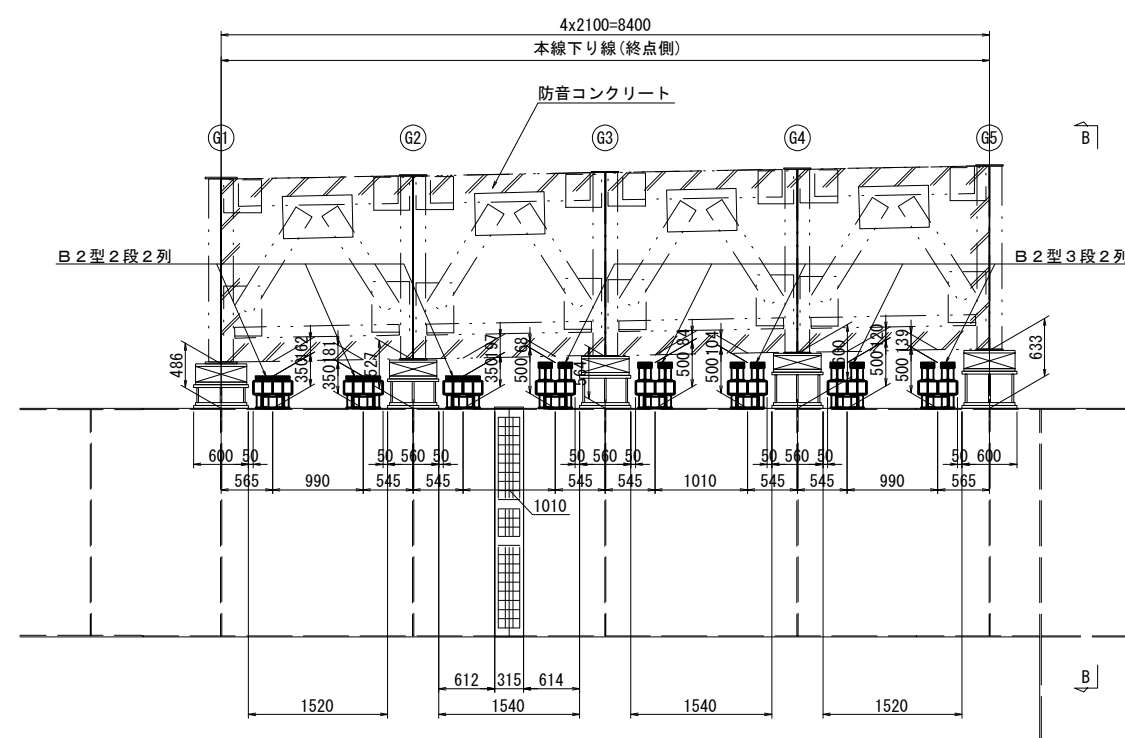
数量表

			終点側							
			G1	G2		G3		G4		G5
支那部高			486	527		564		600		639
段差防止 構造D1	位置		右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側
	サンドル 3段目	型	-	-	-	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
		個数	-	-	-	2	2	2	2	2
	サンドル 2段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
		個数	2	2	2	2	2	2	2	2
	サンドル 1段目	型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型	B 2 型
		個数	2	2	2	2	2	2	2	2
	緩衝材（硬度55° ±5°） クロロレンゴム相当		サイズ	150×50×430						
個数			2	2	2	2	2	2	2	2

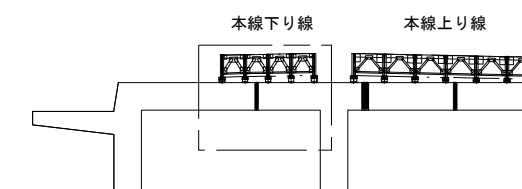
側面図
B - B



終点側 断面図
A - A

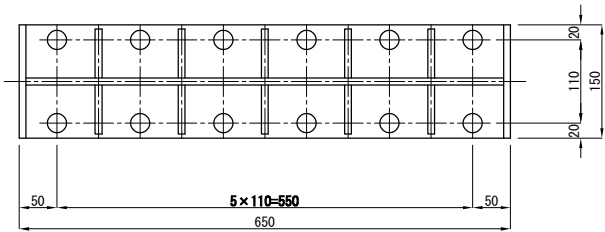
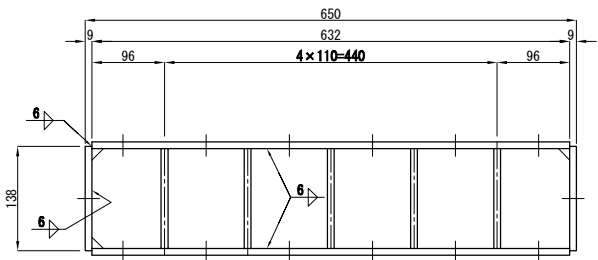


配置図



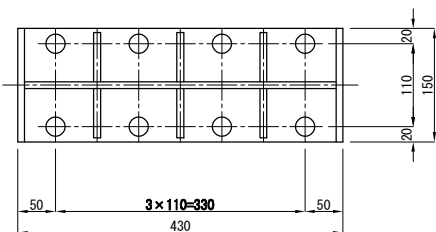
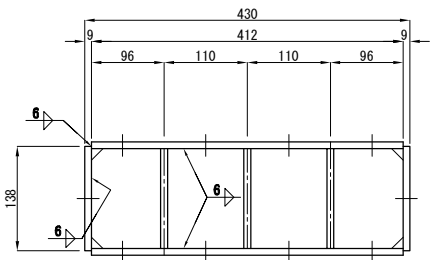
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D1配置図 (鋼製橋脚) 第 2 参 考 図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

サンドル (A2型)

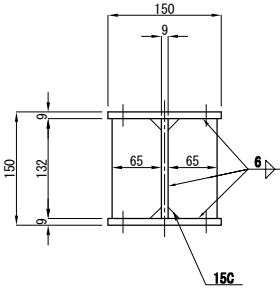


2-PL 150×9×632 (SM490Y)
1-PL 132×9×632 (SM490Y)
10-PL 65×9×132 (SM490Y)
2-PL 138×9×150 (SM490Y)
Σ = 28 kg/個

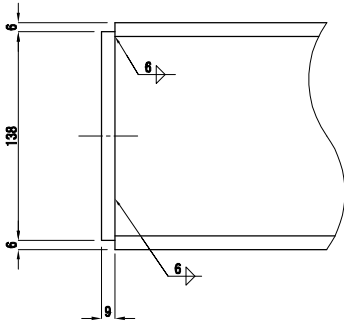
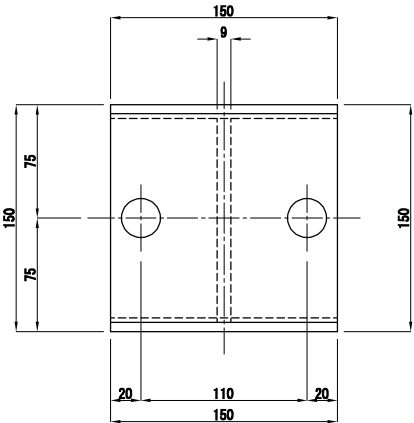
サンドル (B2型)



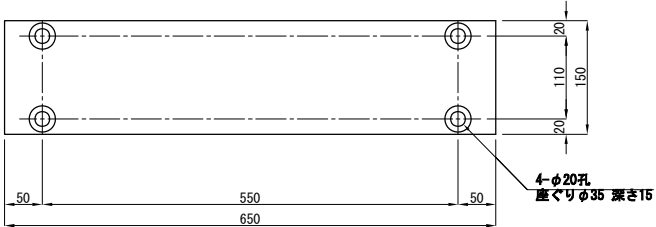
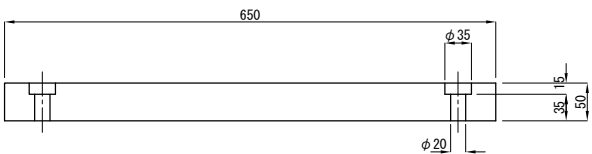
2-PL 150×9×412 (SM490Y)
1-PL 132×9×412 (SM490Y)
6-PL 65×9×132 (SM490Y)
2-PL 138×9×150 (SM490Y)
Σ = 20 kg/個



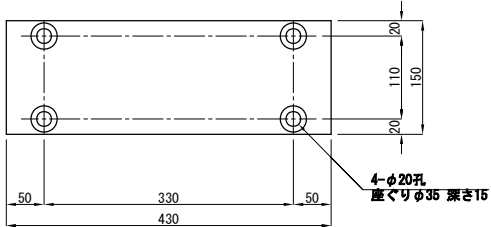
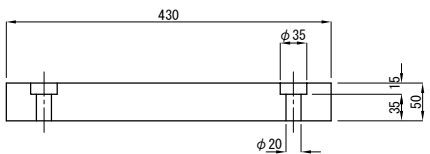
端部プレート詳細 S=1:5



緩衝材 S=1:10

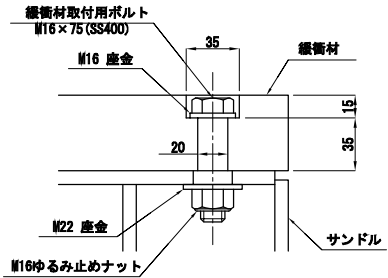


1-ゴム板 150×50×650
(クロロブレンゴム相当)〈硬度55° ±5° 〉



1-ゴム板 150×50×430
(クロロブレンゴム相当)〈硬度55° ±5° 〉

座ぐり部詳細 S=1:5



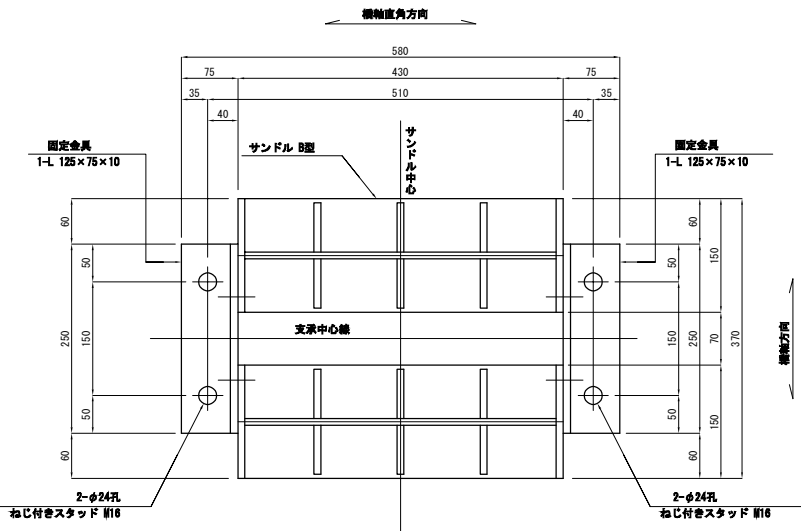
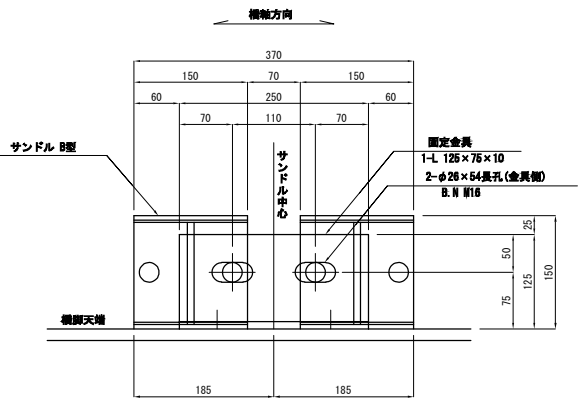
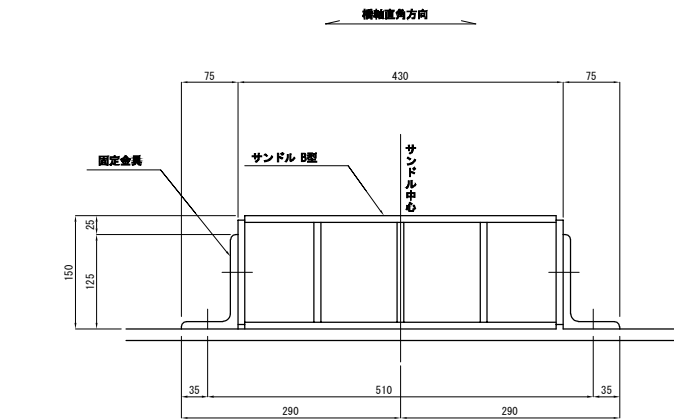
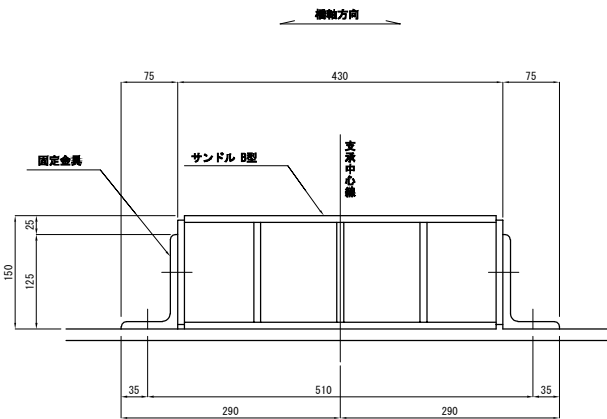
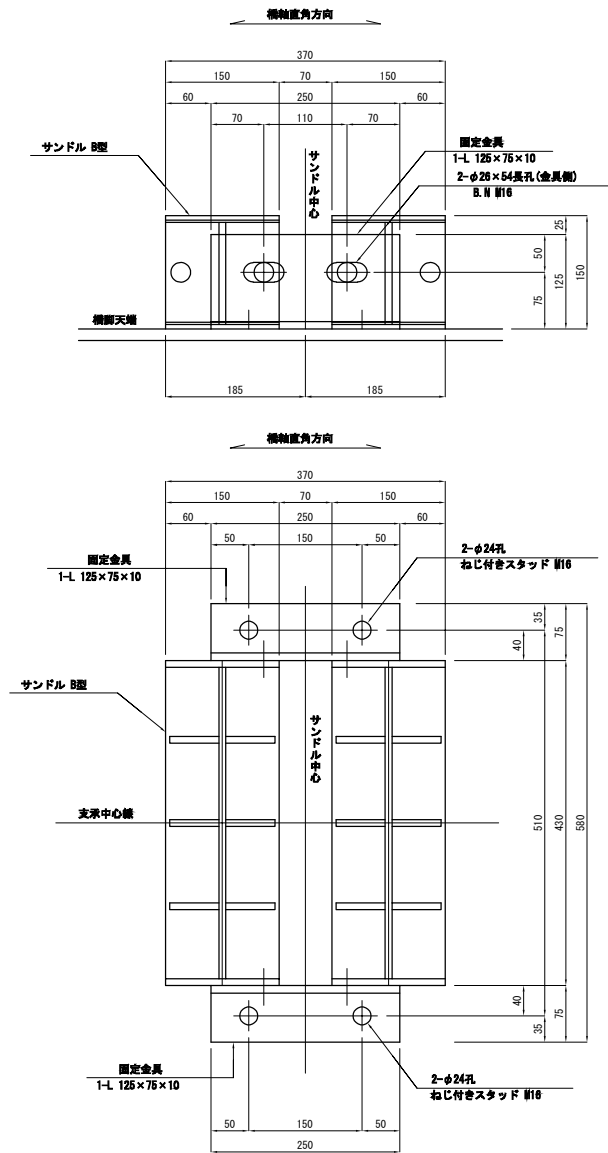
注記)
1. 特記なきボルト孔は、φ26キリ孔とする。
2. サンドルの平面図は、上下フランジ同仕様とする。
3. 部材は清融重船メッキとし、JIS H 8641 (清融重船メッキ)のHDZT77とする。ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
4. 特記なきスカーラップは150とする。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準段差防止構造 サンドル詳細図 参考図			
	縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社富貴沢建設コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

サンドルB2型 橋脚固定金具詳細（鋼製橋脚用）

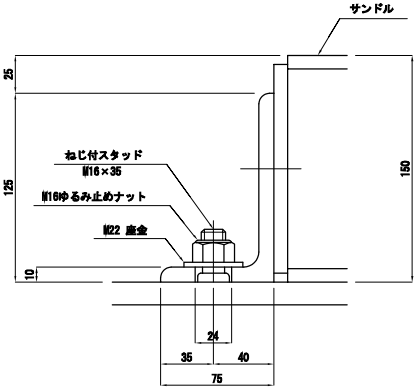
TYPE-1

TYPE-2



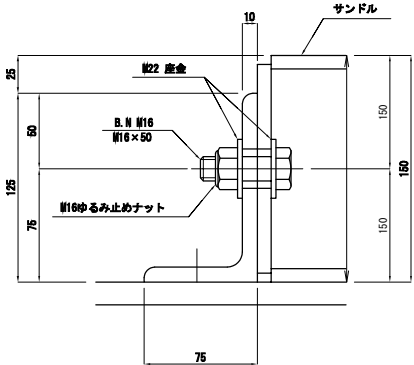
スタッド取付部詳細

S=1:5



サンドル取付部詳細

S=1:5

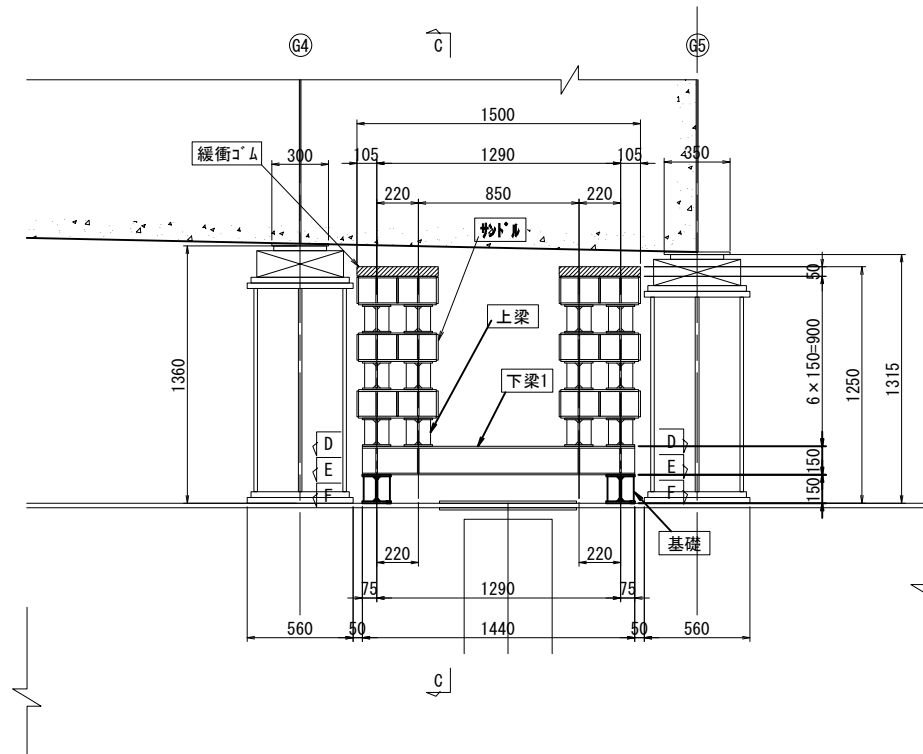


- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は、全て防錆亜鉛メッキとする。
(亜鉛の膜厚は JIS H8041のHDZ777とする。
ボルト、ナットはHDZ740とする。)
 - ナットは、全てゆるみ止めナットを使用すること。
 - 部材の製作、取付けは、現地実測図面の上、実施すること。
 - スタッドボルトの溶接部は、亜鉛メッキが付着しないように不メッキ処理を行うこと。
 - 特記なきスカーップは150とする。

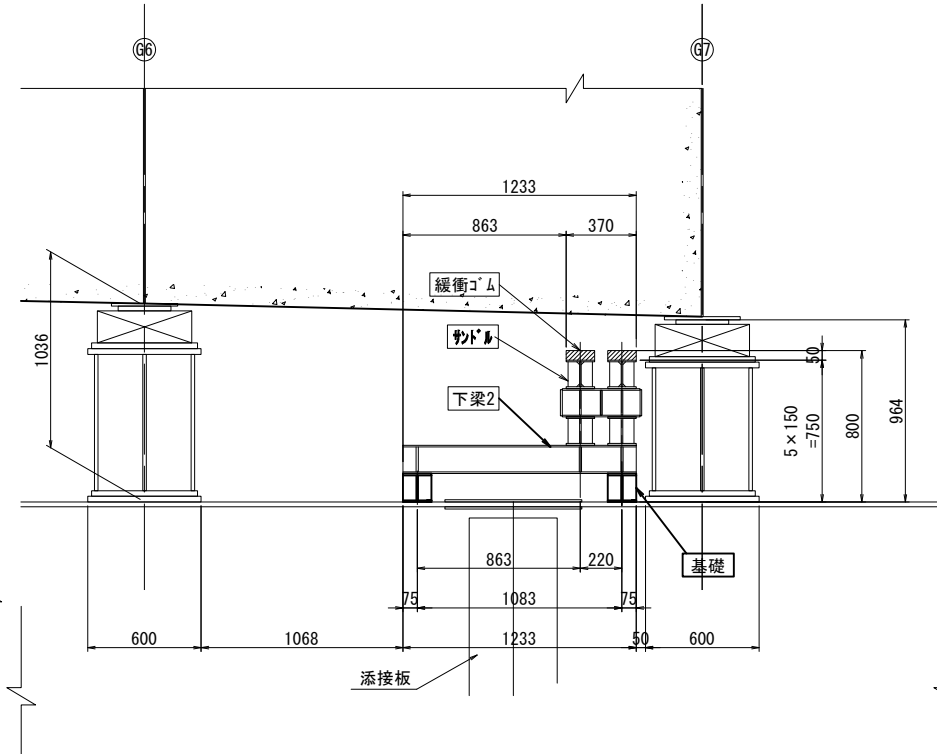
固定金具 1組当り材料
2-L 125×75×10×250
4-B.N M16×50 (2-M22座金付)
4-ねじ付きスタッド M16×35 (強度区分4.0) (1-ボルト、1-M22座金付)

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	標準段差防止構造 サンドル固定金具詳細図（その2） 参考図			
	縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社富貴沢建設コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

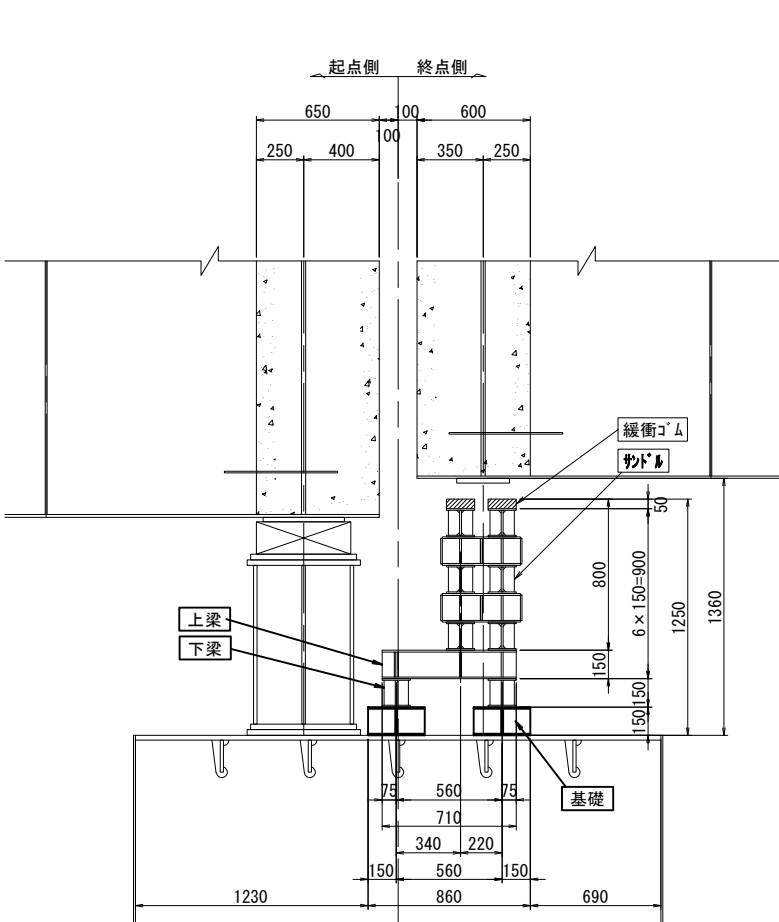
正面図 A - A



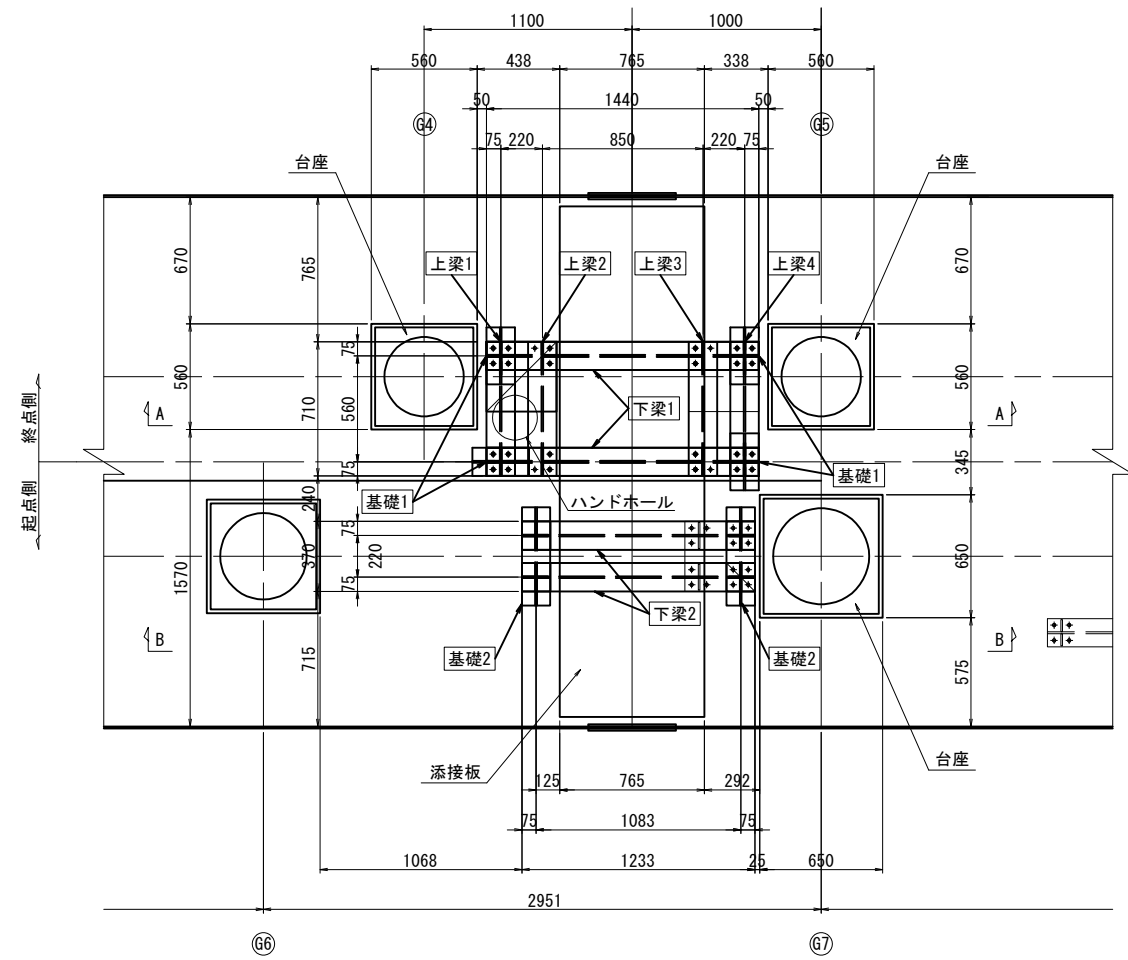
正面図 B - B



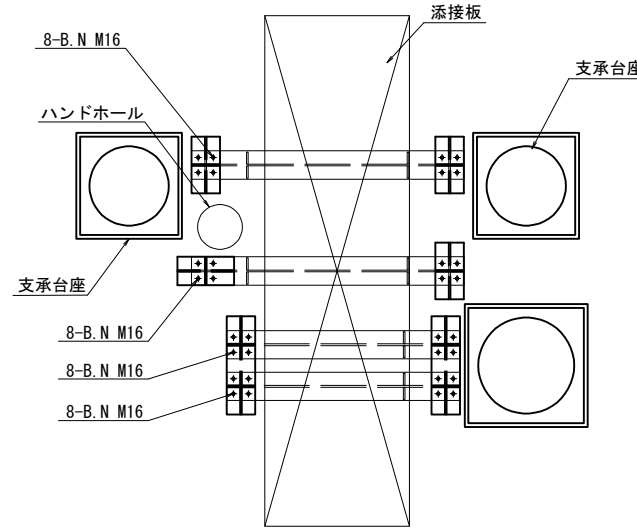
側面図 C - C



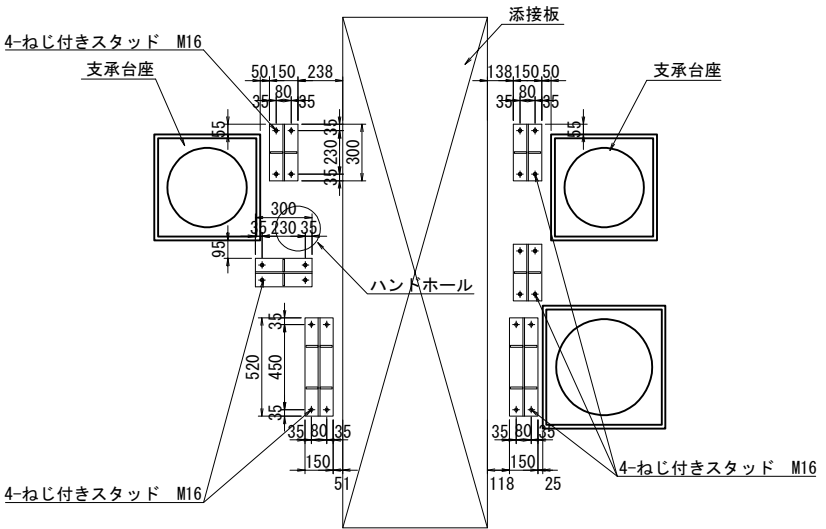
平面図 D - D



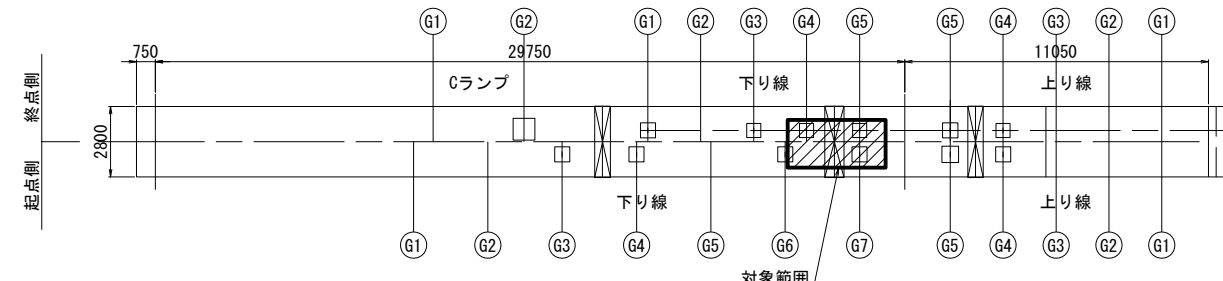
E - E



F - F



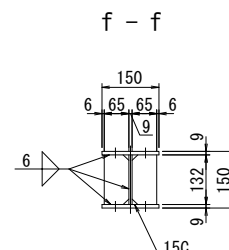
配置平面図



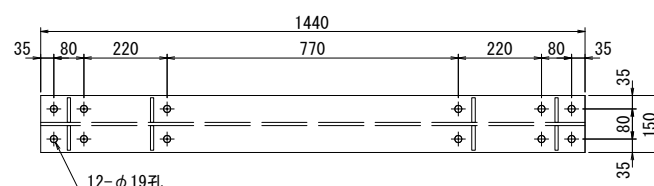
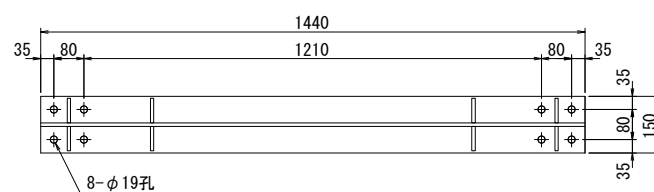
注記:
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D2 (鋼製橋脚) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

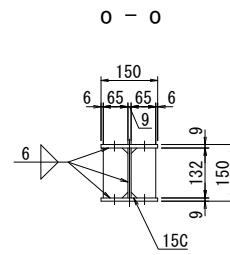
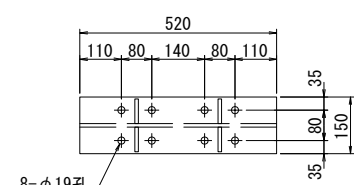
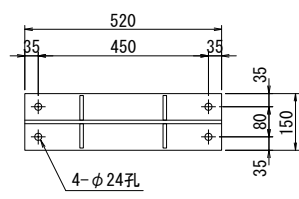
下梁1



d - d


$$e - e$$


基礎2

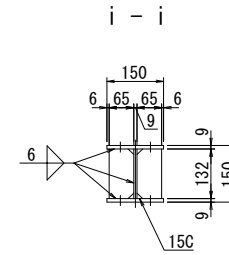

$$m - m$$

$$n - n$$


基礎2

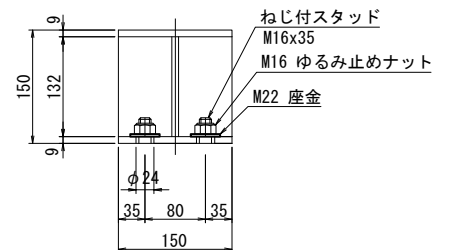
1組あたり数量 【製作数：2】

2	-	FLG PL 150 x 9 x 520
1	-	WEB PL 132 x 9 x 520
4	-	RIB PL 132 x 9 x 65
4	-	ねじ付きスタッド M16 x 35(強度区分4.8)(1-UN, 1-M22W付)

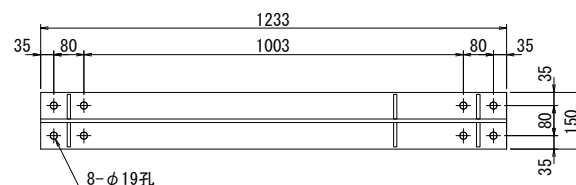
下梁2



i - i



h - h



- ## 注記
1. 特記なき材質は、全てSM490Yとする。
 2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
(亜鉛の膜厚は JIS H8641のHDZT77とする。
ボルト、ナット類はHDZT49とする。)
 3. ナットは、全てゆるみ止めナットを使用する。
 4. 部材の製作、取付けは、現地実測確認の上、実施すること。
 5. スタッドボルトの接部材は、亜鉛メッキが付着しないように不メッキ処理を行うこと。

下梁2
1組あたり数量 【製作数：2】
2 - FLG PL 150 x 9 x 1233
1 - WEB PL 132 x 9 x 1233
6 - RIB PL 132 x 9 x 65
6 - B.N M16 x 45 (1-M16, 1-M22W付) (上面)
8 - B.N M16 x 45 (2-W付) (下面)

材 料 表 (起点側)						
種別	品 名	規格・寸法		単位	数量	備 考
段差防止構造 D 1	サンドル	B 2 型	430×150×150	個	6	溶融亜鉛めっき
				t	0.120	
	緩衝材	クッション材	150×50×430	個	2	硬度55° ±5°
	普通ボルト	SS400	M16	本	20	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	20	溶融亜鉛めっき
段差防止構造 D 2	座金	SS400	M16	個	32	溶融亜鉛めっき
			M22	個	8	溶融亜鉛めっき
	鋼材	SM490Y	6 < t ≤ 25	個	1	溶融亜鉛めっき
				t	0.120	
	スタッドボルト	SS400	M16	本	8	溶融亜鉛めっき
	普通ボルト	SS400	M16	本	28	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	36	溶融亜鉛めっき
	座金	SS400	M16	個	44	溶融亜鉛めっき
			M22	個	20	溶融亜鉛めっき

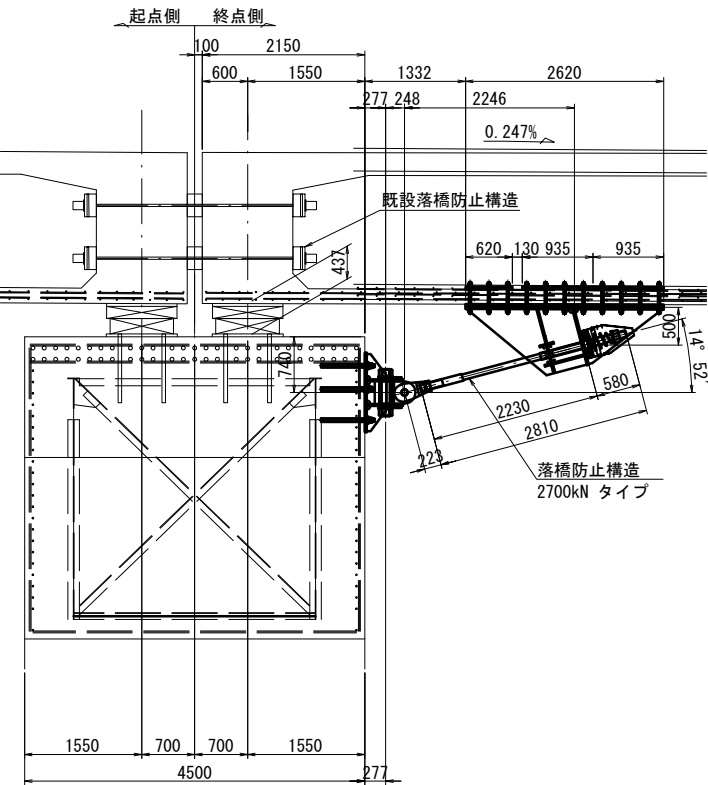
種別	品 名	規格・寸法		単位	数量	備 考
段差防止構造D1	サンドル	B 2 型	430×150×150	個	20	溶融亜鉛めっき
				t	0.400	
	緩衝材	クローレンゴム	150×50×430	個	4	硬度55° ±5°
	普通ボルト	SS400	M16	本	112	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	112	溶融亜鉛めっき
段差防止構造D2	座金	SS400	M16	個	16	溶融亜鉛めっき
			M22	個	208	溶融亜鉛めっき
	鋼材	SM490Y	6 < t ≤ 25	個	1	溶融亜鉛めっき
				t	0.242	
	スタッドボルト	SS400	M16	本	16	溶融亜鉛めっき
	普通ボルト	SS400	M16	本	68	溶融亜鉛めっき
	ゆるみ止めナット	SS400	M16	個	84	溶融亜鉛めっき
	座金	SS400	M16	個	112	溶融亜鉛めっき
			M22	個	40	溶融亜鉛めっき

スタッド取付部詳細図 S=1:5

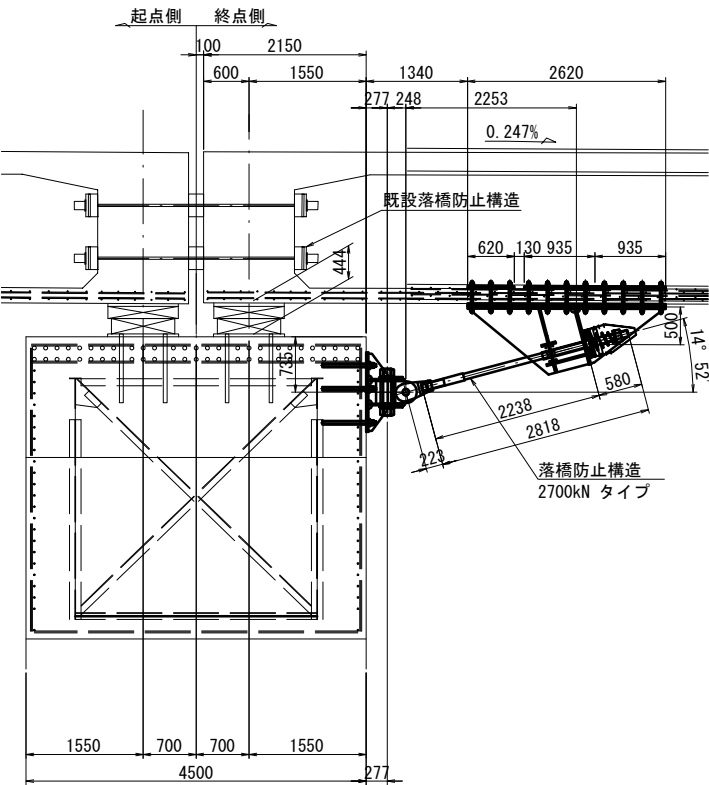
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準段差防止構造D2 (鋼製橋脚) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図

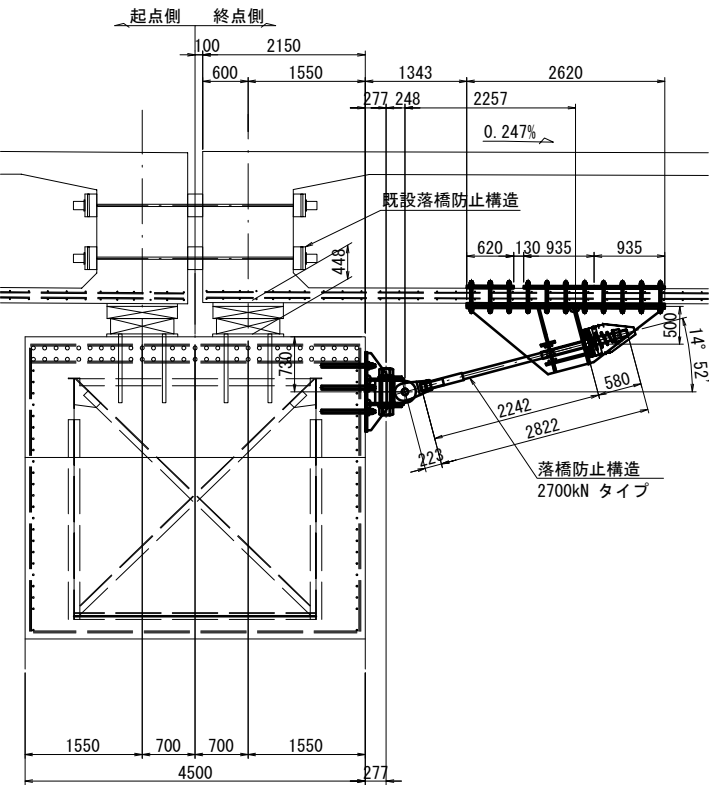
TYPE-1



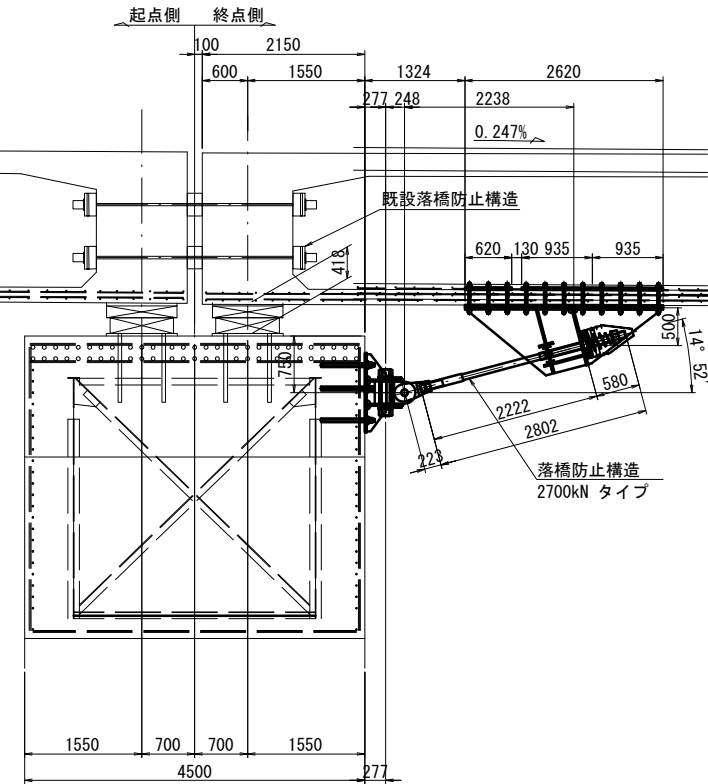
TYPE-2



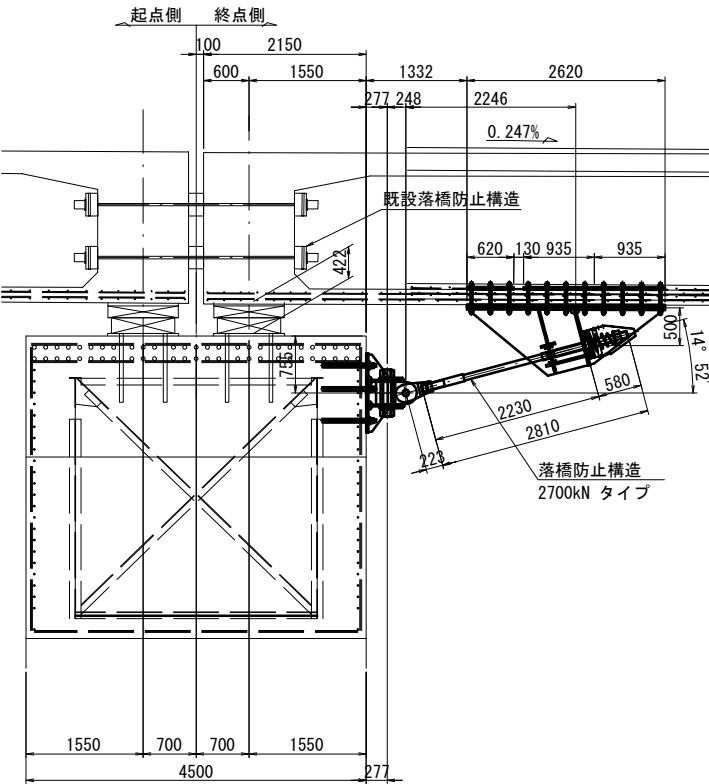
TYPE-3



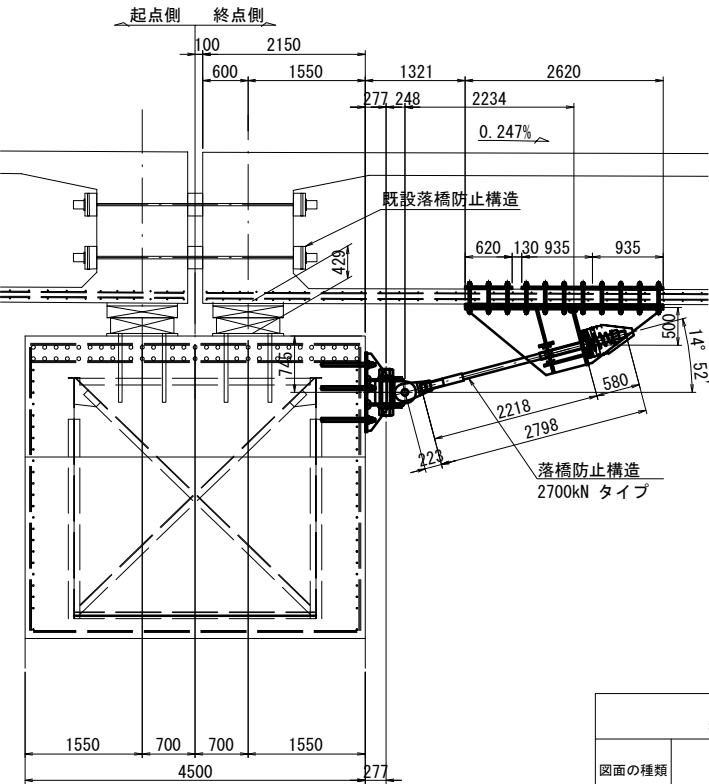
TYPE-4



TYPE-5



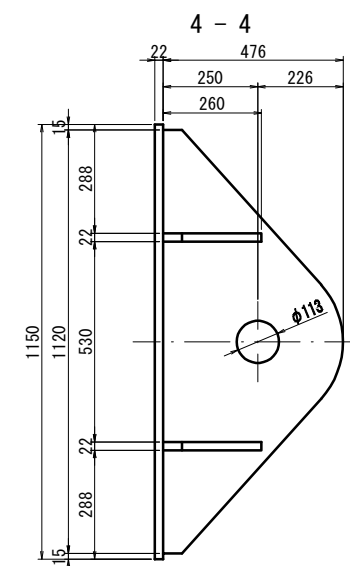
TYPE-6



東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (P C 桁) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

Technical drawing of a rectangular plate with dimensions and labels. The overall dimensions are 1150 (width) and 1050 (height). The drawing shows a grid of 4 columns and 2 rows of circular features. The horizontal dimensions are: 288, 22, 530, 22, 288, and 15. The vertical dimensions are: 350, 335, 25, 300, 25, 350, and 15. The labels a1, a2, a3, and a4 are on the right side, and b1, b2, b3, b4, and b5 are at the bottom. A label '12-φ41' is at the bottom right, and 'FR' is at the top right. A dimension of 1150 is at the top, and 1050 is on the left. A dimension of 273 is shown for the first and last columns. A dimension of 530 is shown for the middle two columns. A dimension of 288 is shown for the first and last columns. A dimension of 22 is shown for the gaps between columns. A dimension of 15 is shown for the gaps between rows. A dimension of 350 is shown for the height of the first and last rows. A dimension of 335 is shown for the height of the middle two rows. A dimension of 25 is shown for the gaps between rows. A dimension of 300 is shown for the height of the middle two rows. A dimension of 25 is shown for the gaps between rows. A dimension of 350 is shown for the height of the first and last rows. A dimension of 15 is shown for the gaps between rows. A dimension of 1150 is at the top, and 1050 is on the left. A dimension of 273 is shown for the first and last columns. A dimension of 530 is shown for the middle two columns. A dimension of 288 is shown for the first and last columns. A dimension of 22 is shown for the gaps between columns. A dimension of 15 is shown for the gaps between rows. A dimension of 350 is shown for the height of the first and last rows. A dimension of 335 is shown for the height of the middle two rows. A dimension of 25 is shown for the gaps between rows. A dimension of 300 is shown for the height of the middle two rows. A dimension of 25 is shown for the gaps between rows. A dimension of 350 is shown for the height of the first and last rows. A dimension of 15 is shown for the gaps between rows. A label '12-φ41' is at the bottom right, and 'FR' is at the top right.

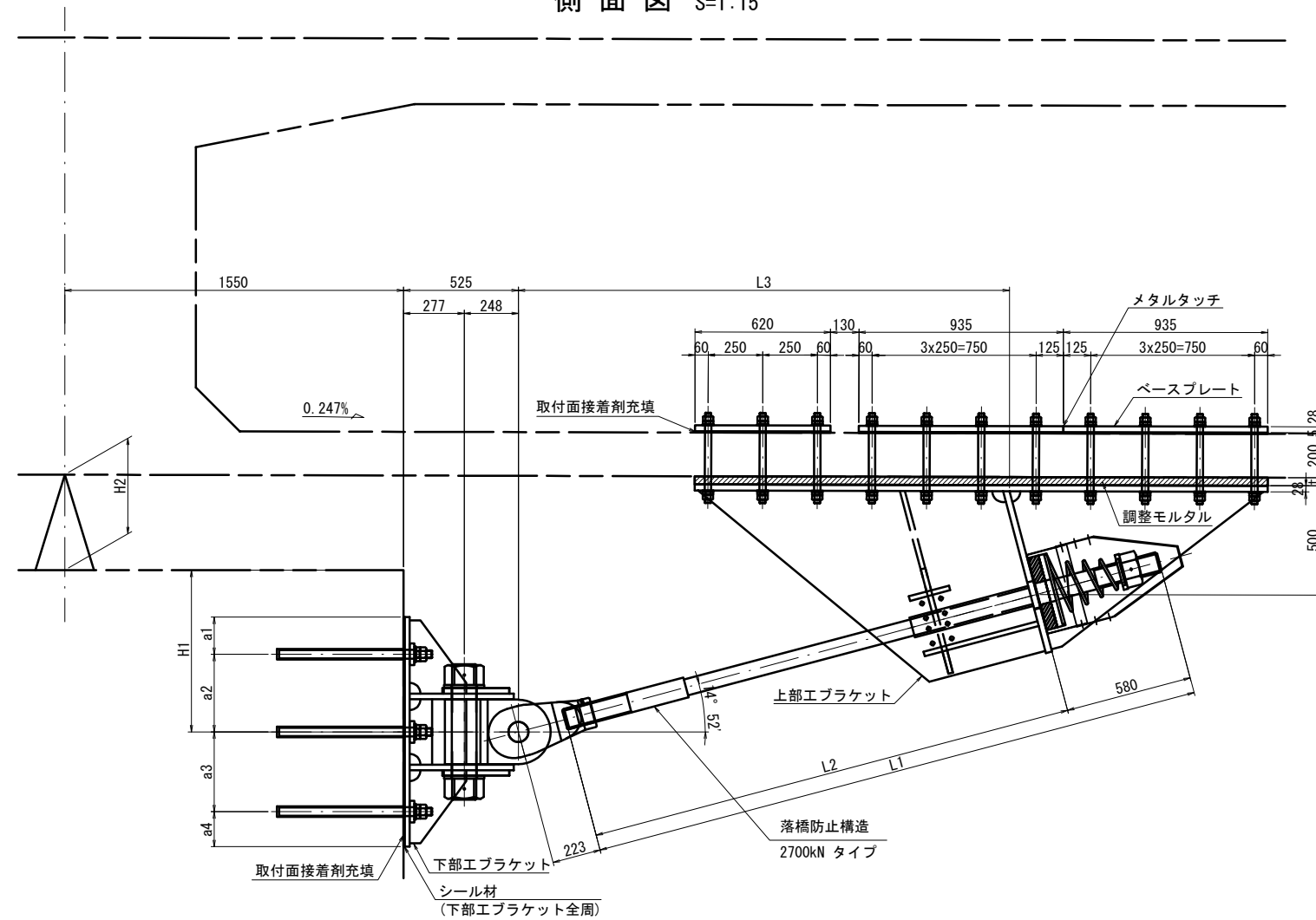
	a1	a2	a3	a4	b1	b2	b3	b4	b5
TYPE-1	170	310	410	160	150	320	290	280	110
TYPE-2	170	310	450	120	120	310	290	310	120
TYPE-3	180	290	315	265	150	280	290	300	130
TYPE-4	160	310	420	160	150	310	290	300	100
TYPE-5	160	310	420	160	130	300	290	280	150
TYPE-6	160	310	420	160	100	300	290	300	160



注記)

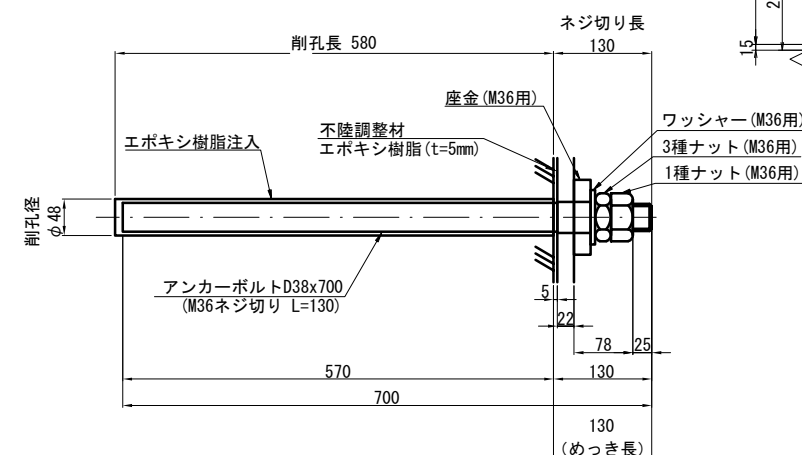
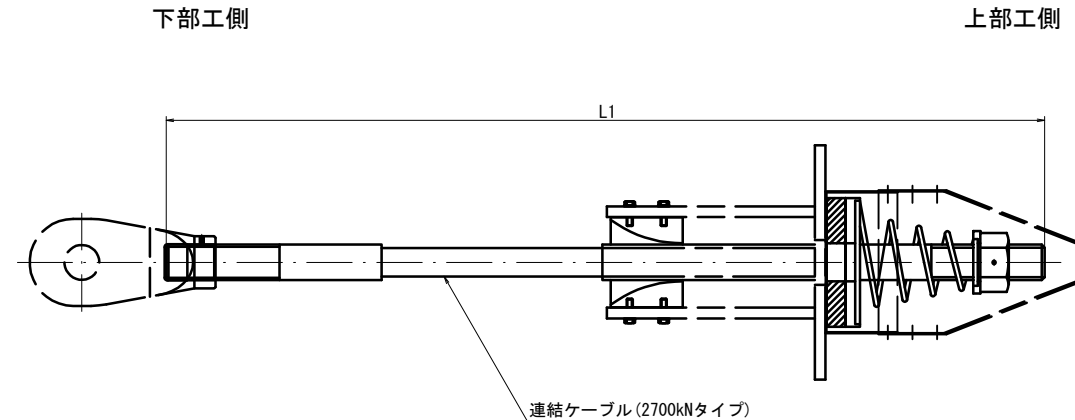
- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
- 2) 特記なきスカラーアップは50Rとする。
- 3) 下部ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 HDZT77、HDZT49)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ
行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
- 7) 施工時に既設の落橋防止装置のナットは撤去すること。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (P C 類) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
L1	2810	2818	2822	2802	2810	2798
L2	2230	2238	2242	2222	2230	2218
L3	2246	2253	2257	2238	2246	2243
H1	740	735	730	750	755	745
H2	437	444	448	418	422	429
t	37	37	35	30	37	37

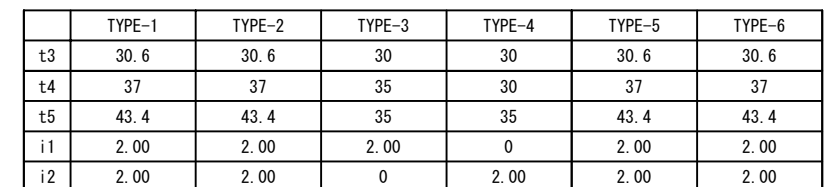
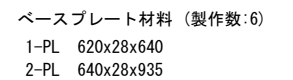
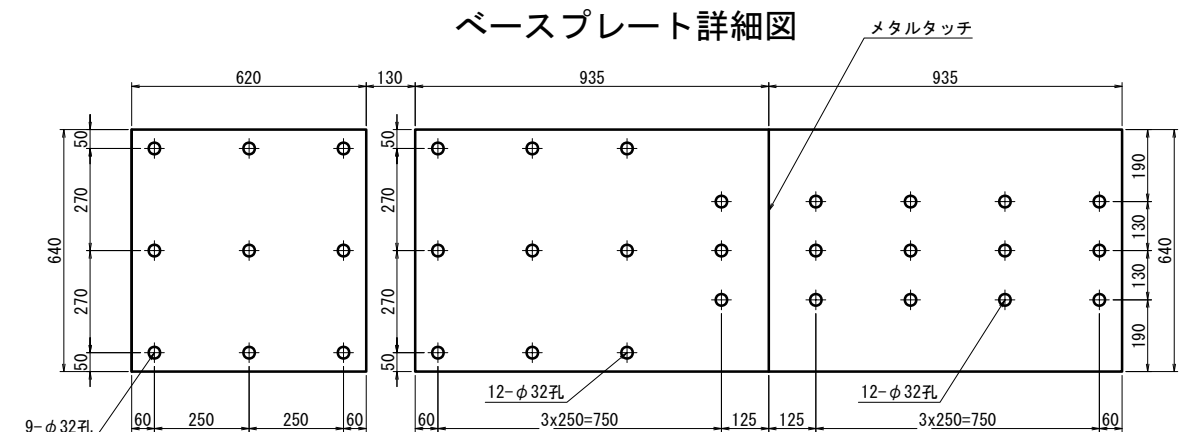
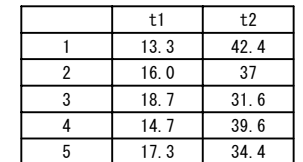
3-1.3



ブラケット1基当り(製作数:6)

2-PL	306x25x412
2-PL	476x25x1120
4-PL	260x22x335
2-PL	260x22x300
1-PL	1050x22x1150

12-Anc Bolt D38x700 (SD345)
12-1種 Nut M36用 (SS400)
12-3種 Nut M36用 (SS400)
12-Washer M36用 (SS400)
12-座金 99x22x99 (SS400)



- 1) 特記なき材質は、全てSM490Bとする。
- 2) 特記なきスカラーアップは50Rとする。
- 3) 上部エブラケットは、全てで溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 HDZT77、HDZT49)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト穿孔孔位置等、現場実測確認のうえ
行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d(ド・アンカー径)以上を確保すること。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (P 析桁) その 2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

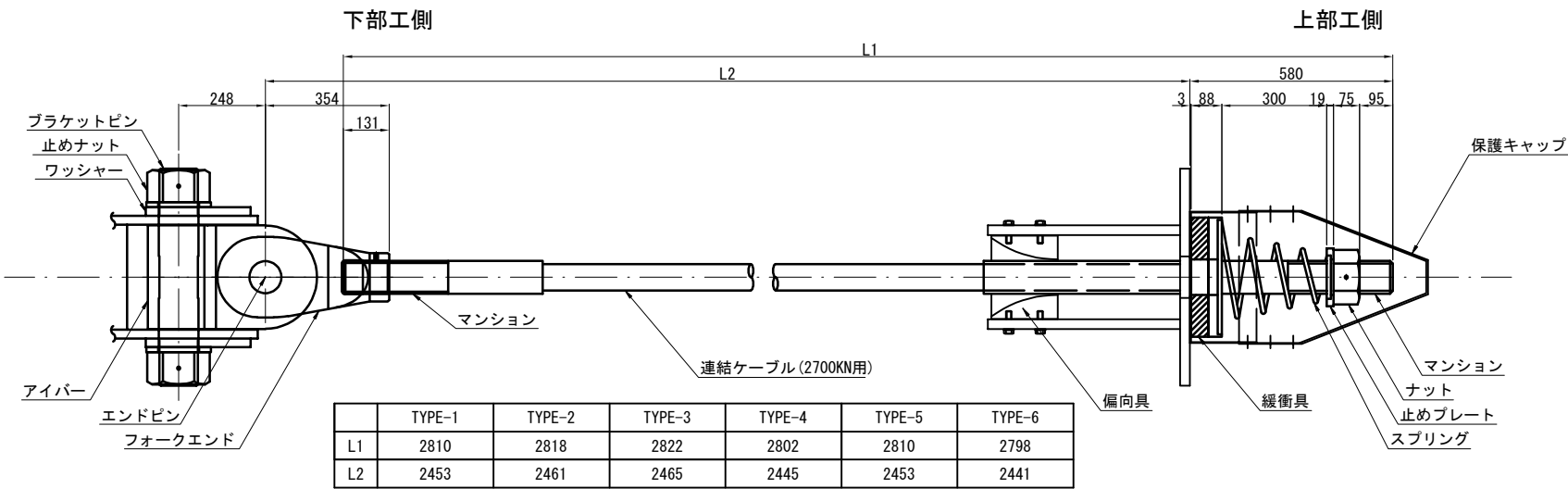
33-Anc Bolt D29x415 (SD345)
66-1種 Nut M27用 (SS400)
66-3種 Nut M27用 (SS400)
66-Washer M27用 (SS400)

標準落橋防止構造詳細図（PC桁）その3 参考図

S=1:10

終点側：取付詳細図及び部品図

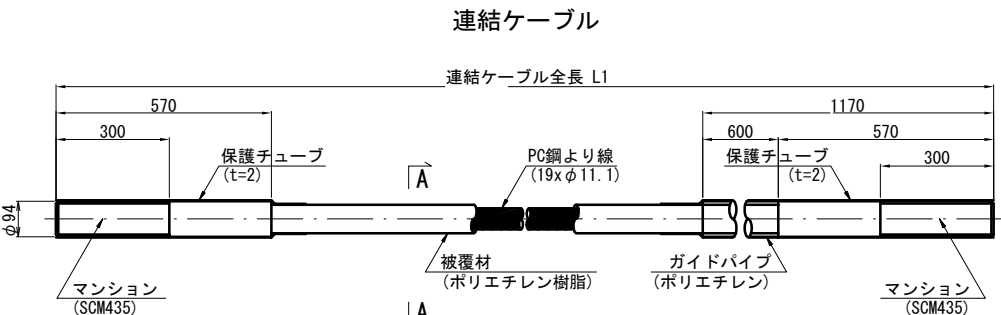
取付詳細図



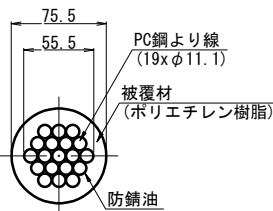
材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

全6組(6組/橋脚)

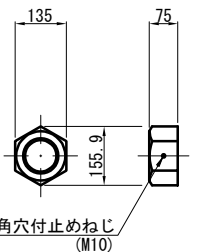
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	2700KN L1 mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
(マンション)	2700KN用 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	2700KN用 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	2700KN用	個	1	S45C:垂鉛めっき (HDZT77)
止めプレート	2700KN用	個	1	SS400:垂鉛めっき (HDZT77)
スプリング	2700KN用 L=400	個	1	SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	2700KN用	個	1	SS400:垂鉛めっき (HDZT77) + クロロブレンゴム
偏向具	2700KN用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
保護キャップ	2700KN用	組	1	ポリエチレン:6-止めビス付
ユニバーサルシステム				
ブラケットピン	2700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	2700KN用	個	2	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	2700KN用	個	2	SS400、垂鉛めっき (HDZT77)
アイバー	2700KN用	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	2700KN用	個	1	S45C、垂鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	2700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
(止めプレート)	2700KN用	個	1	SS400、垂鉛めっき



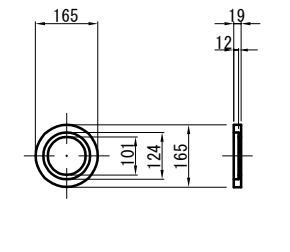
A-A断面図 S=1:3



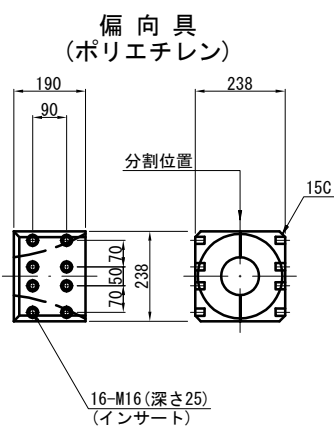
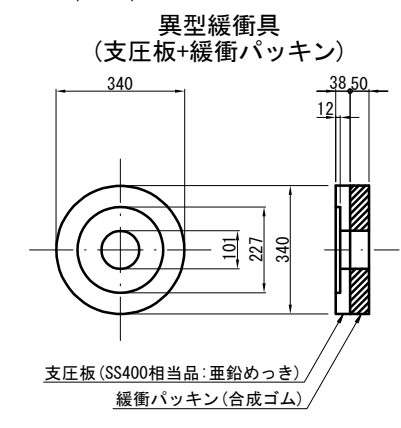
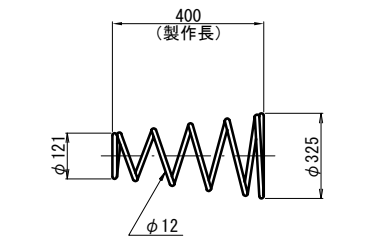
ナット (S45C:垂鉛めっき)



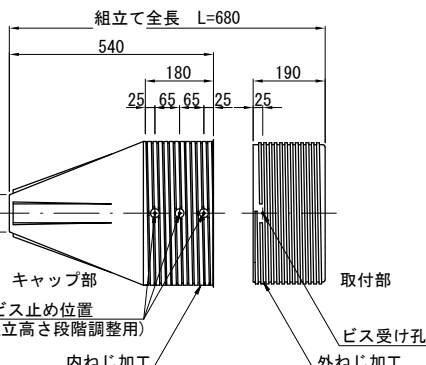
止めプレート (SS400相当品:垂鉛めっき)



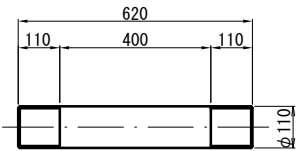
スプリング (SW-C:垂鉛めっき、クロメート処理)



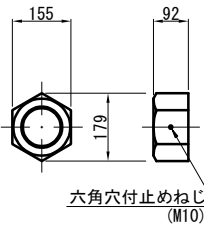
保護キャップ (ポリエチレン)



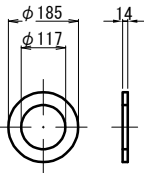
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



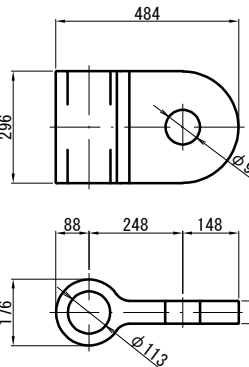
止めナット (S45C:垂鉛めっき)



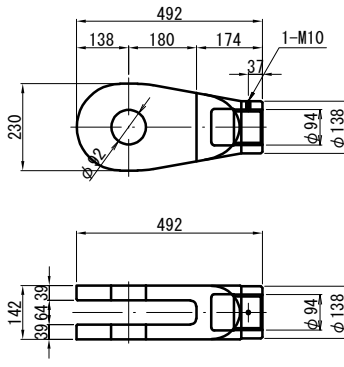
ワッシャー (SS400:垂鉛めっき)



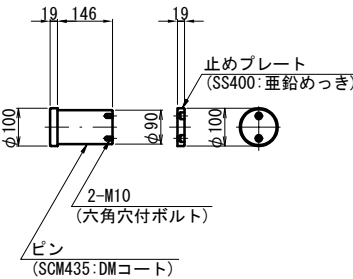
アイバー (S45C:垂鉛めっき)



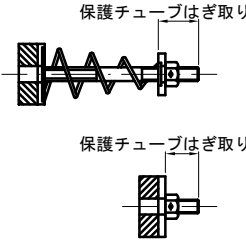
フォークエンド (S45C:垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理

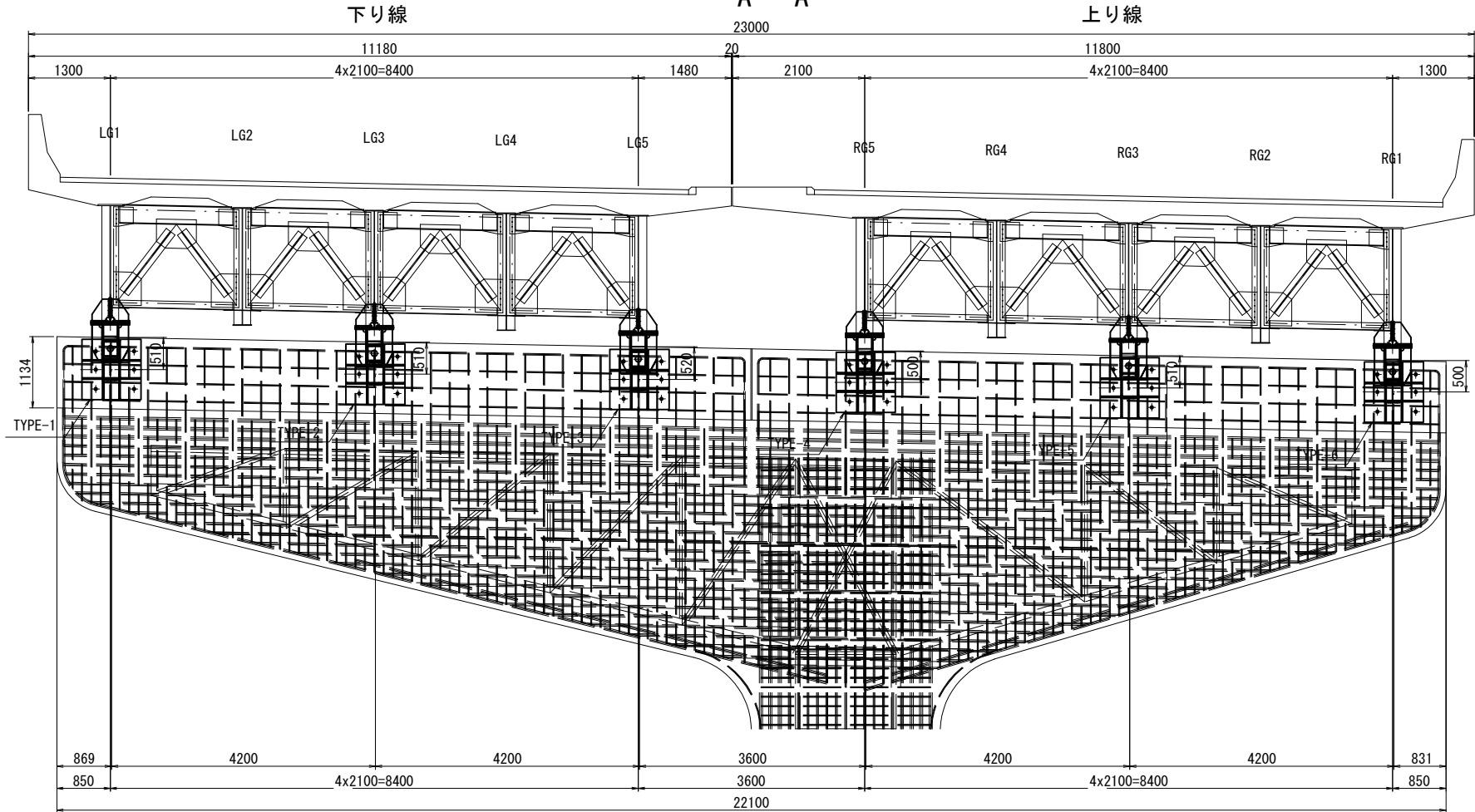


注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

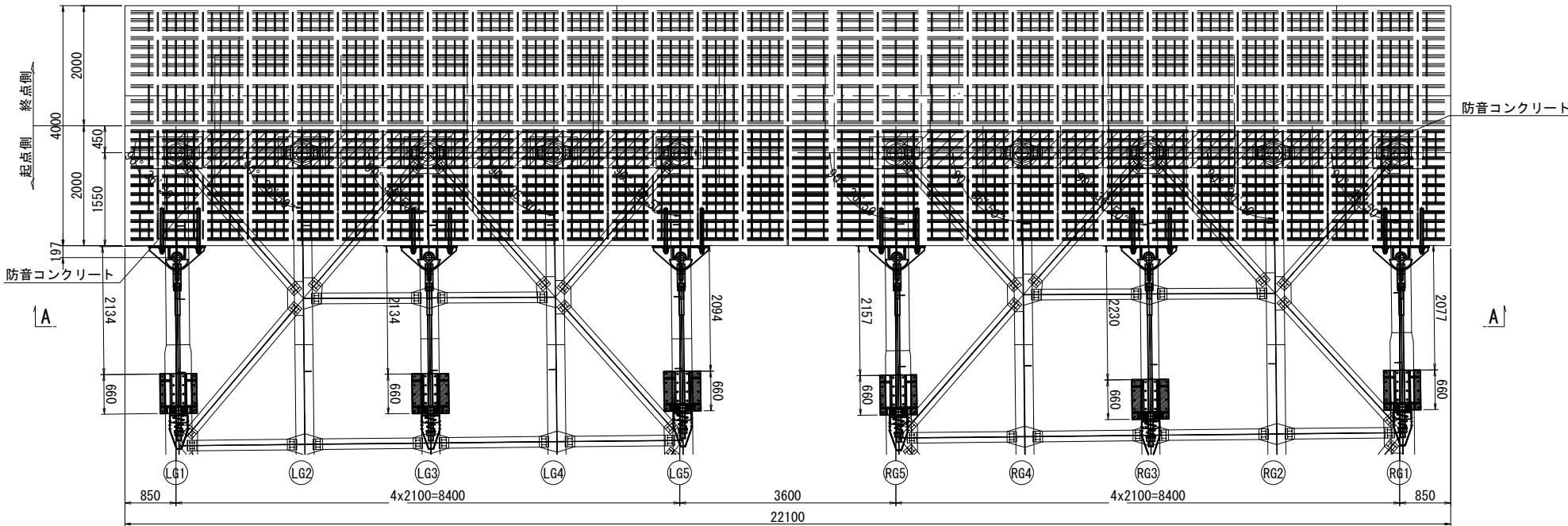
※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (PC桁) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

正面図(起点側)
A - A

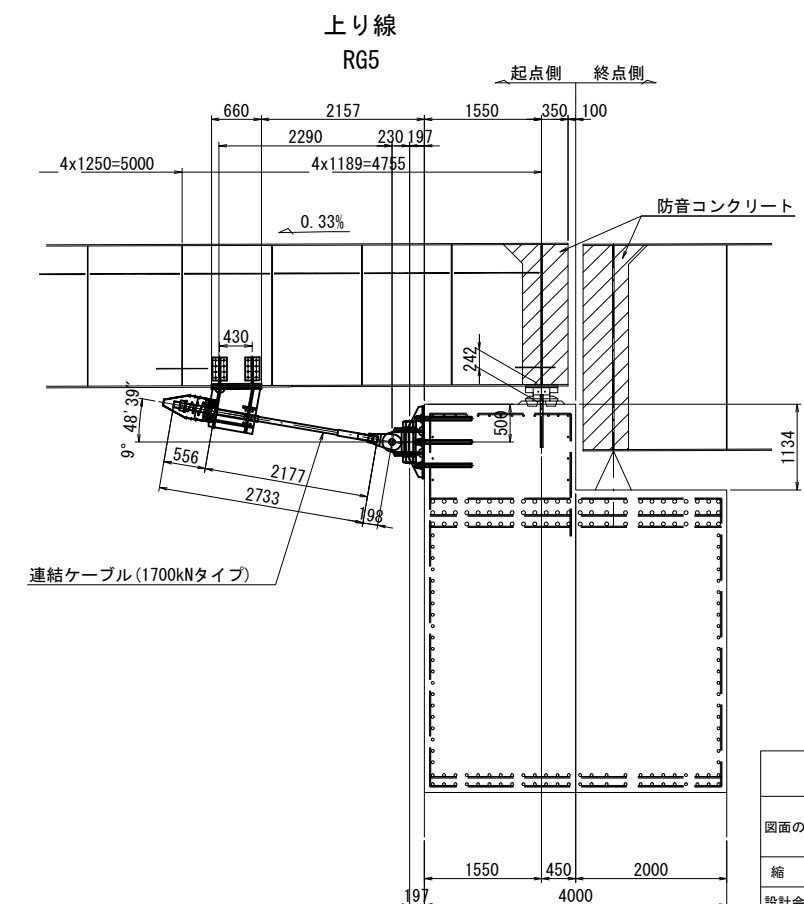
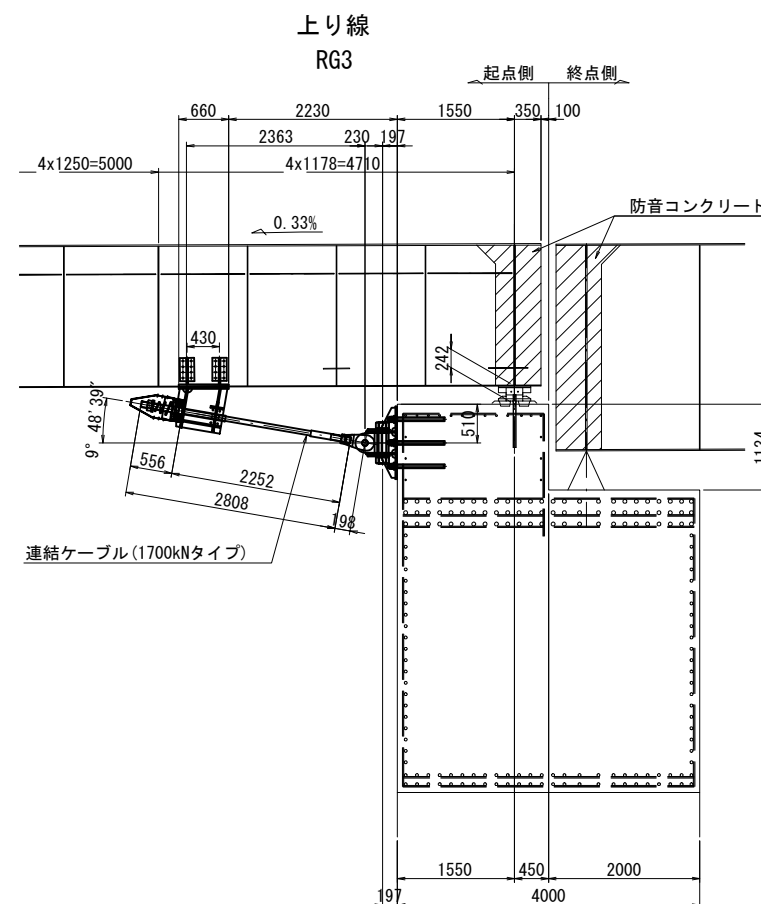
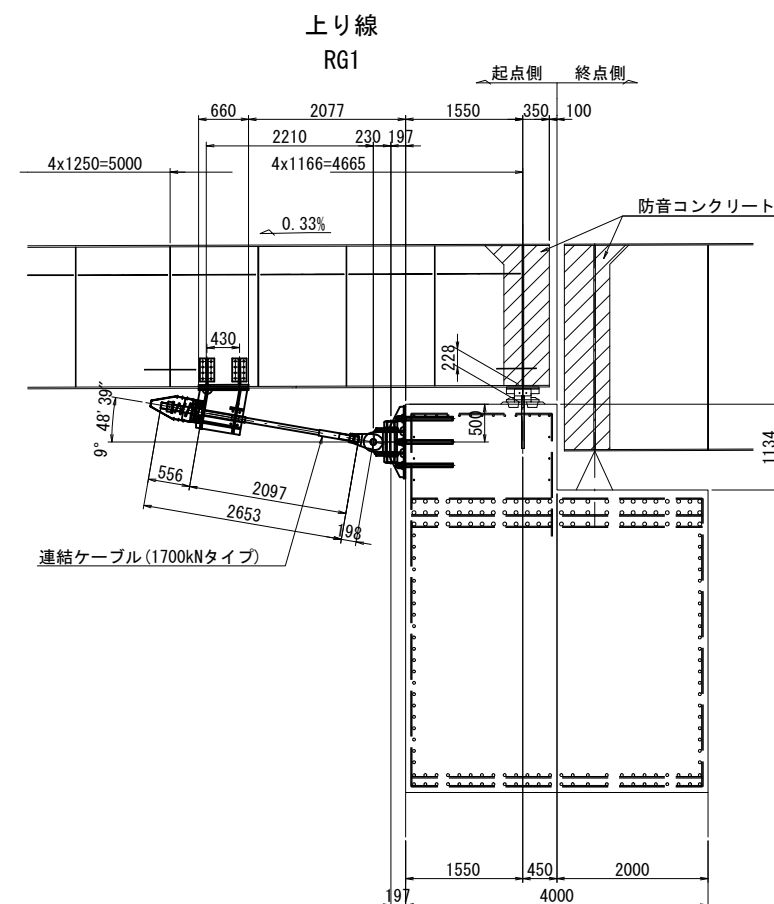
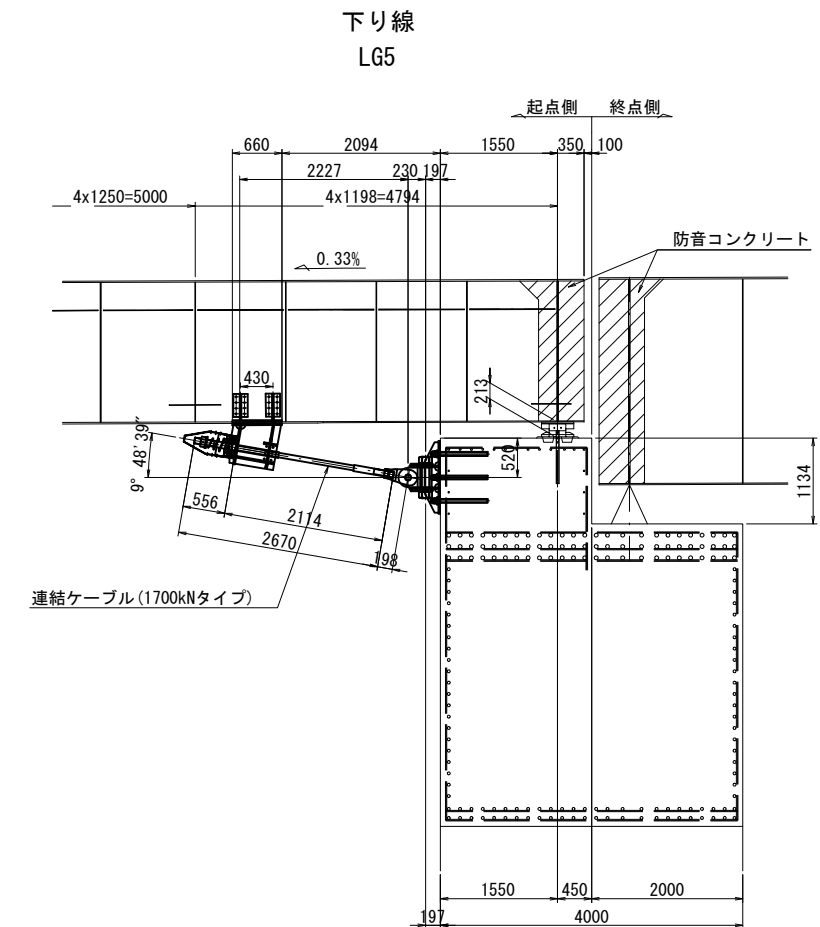
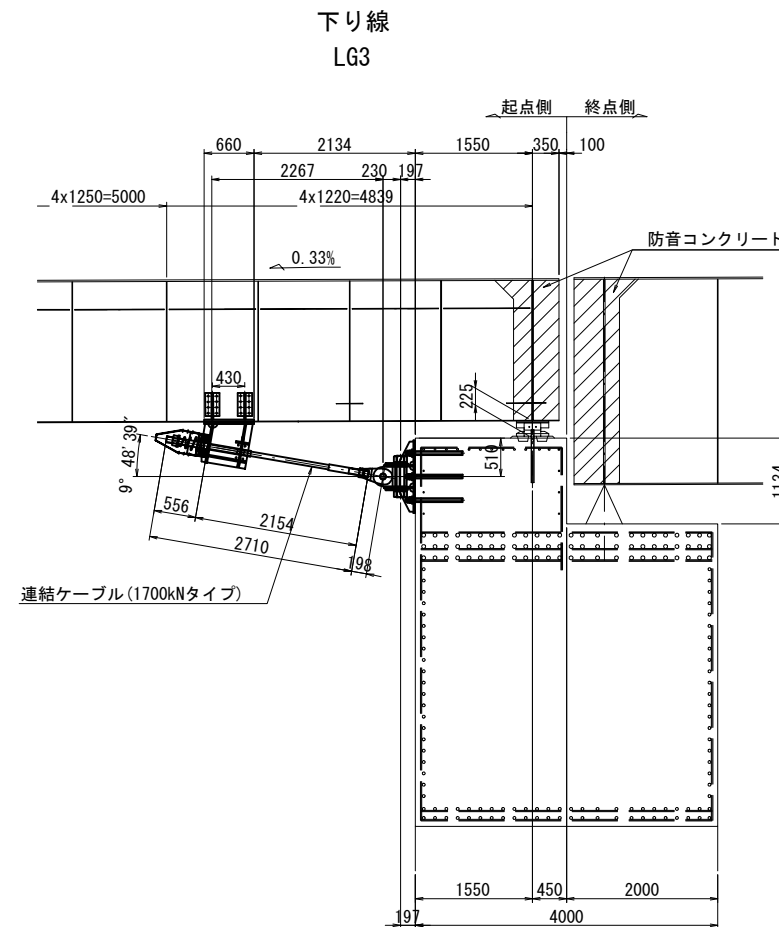
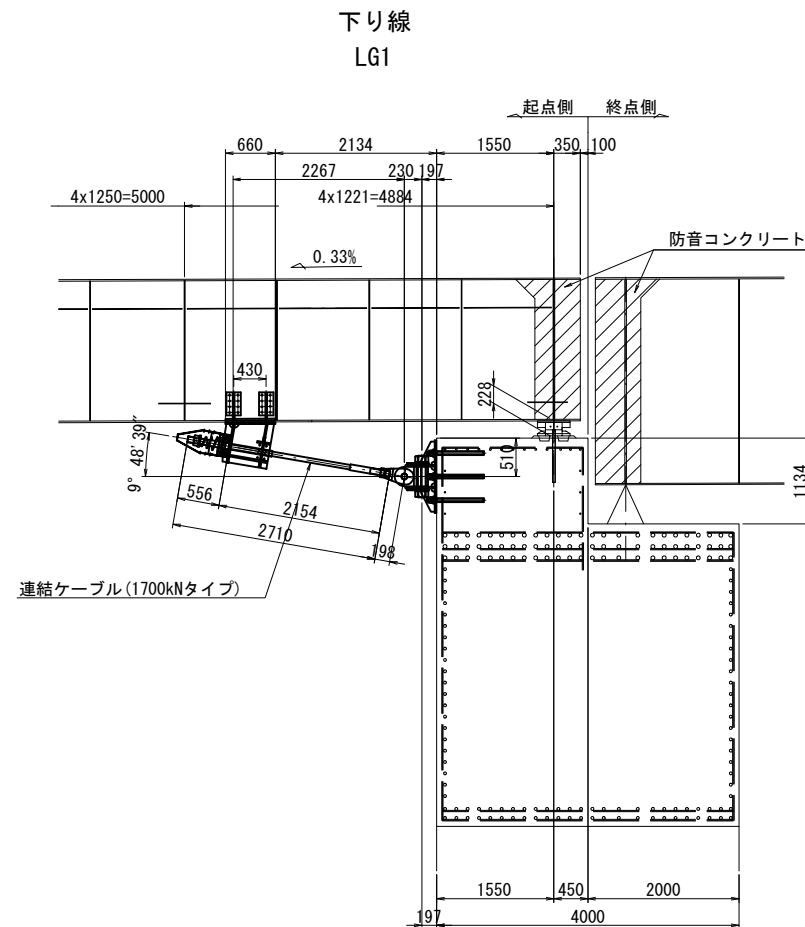


平面図



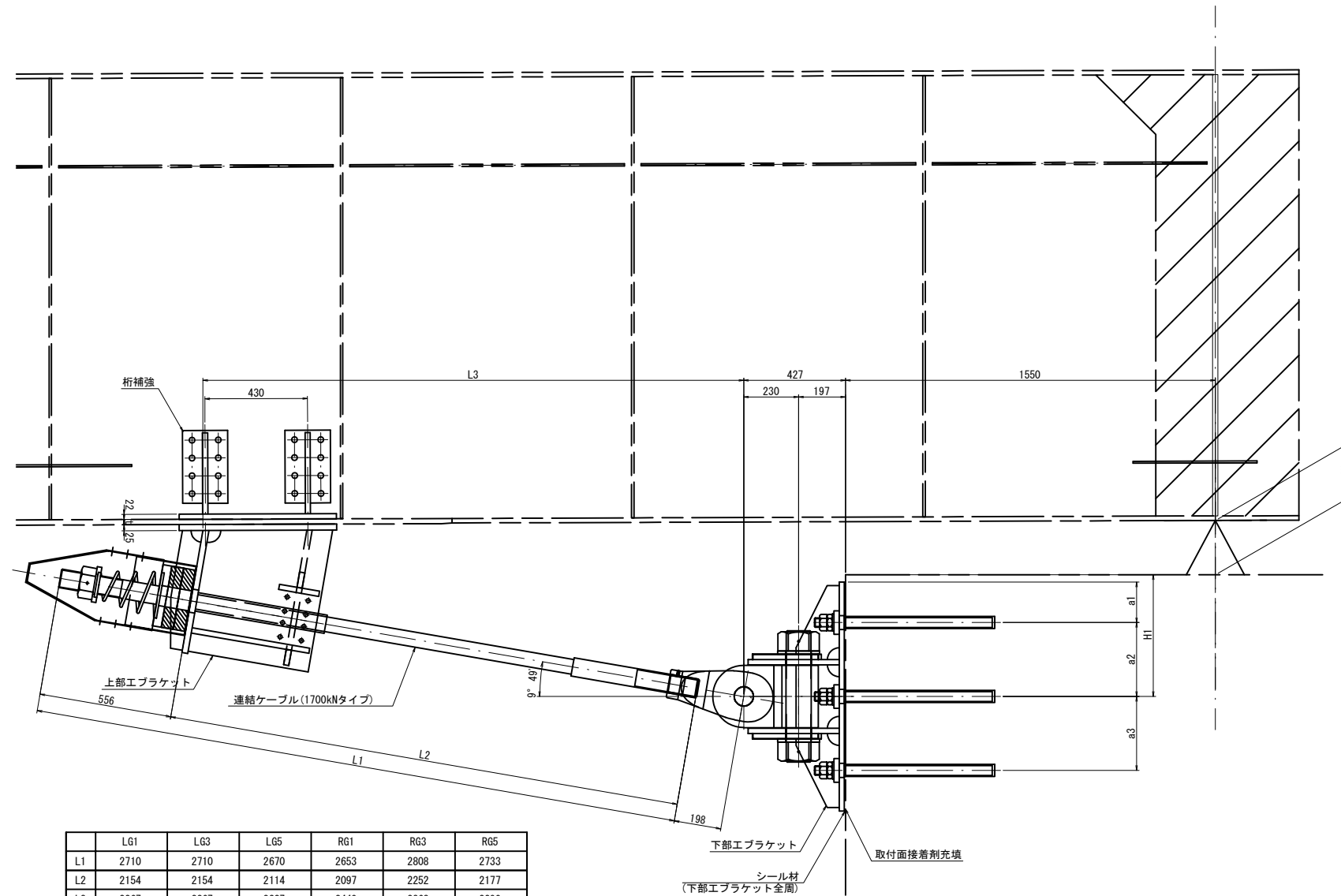
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (鋼鈑桁) その１ 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

側面図



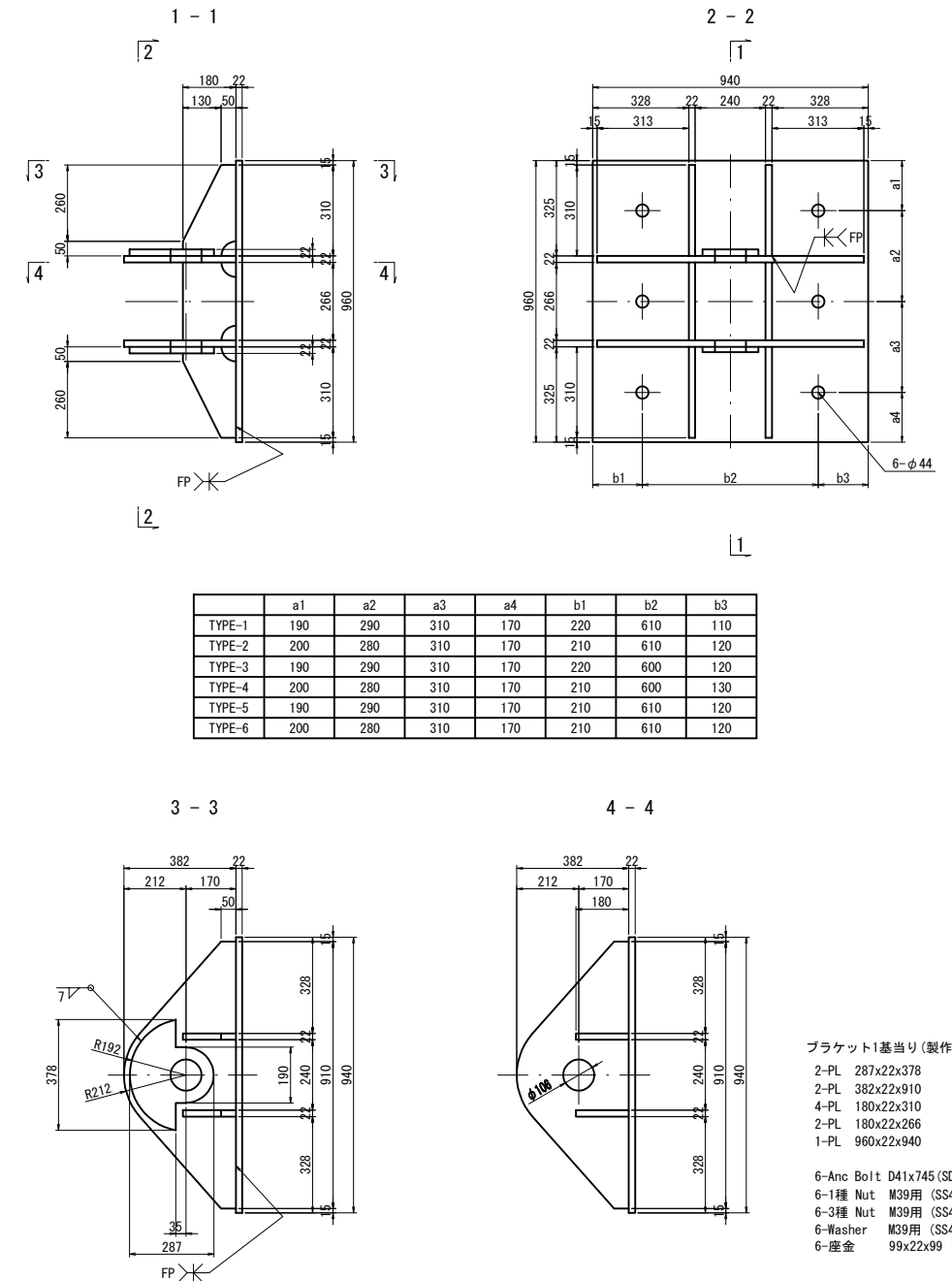
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (鋼飯板) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

下部エブラケット詳細図

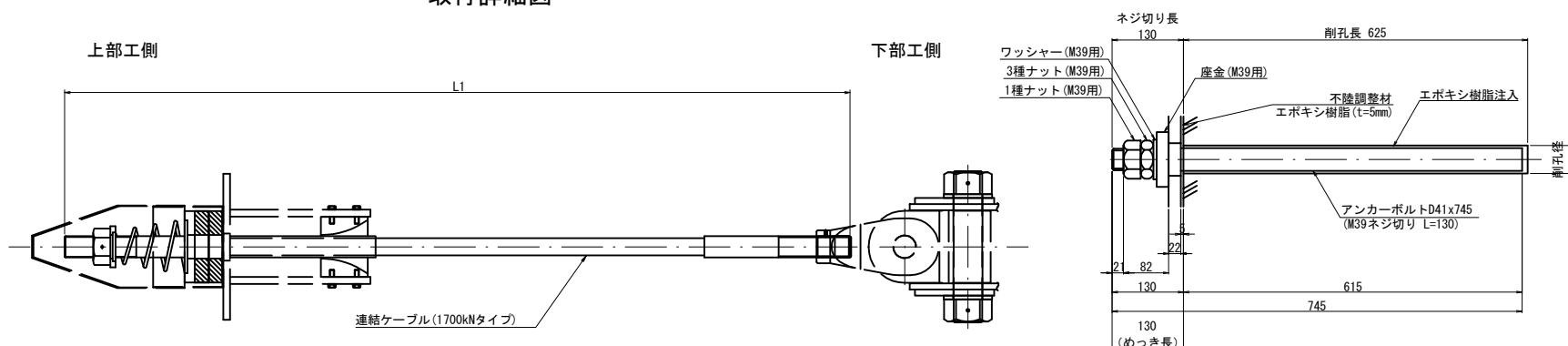


	L61	LG3	LG5	RG1	RG3	RG5
L1	2710	2710	2670	2653	2808	2733
L2	2154	2154	2114	2097	2252	2177
L3	2267	2267	2227	2440	2363	2290
H1	510	510	520	500	510	500
H2	228	225	213	228	242	242
t	22	12	19	22	12	22

連結ケーブル
取付詳細図



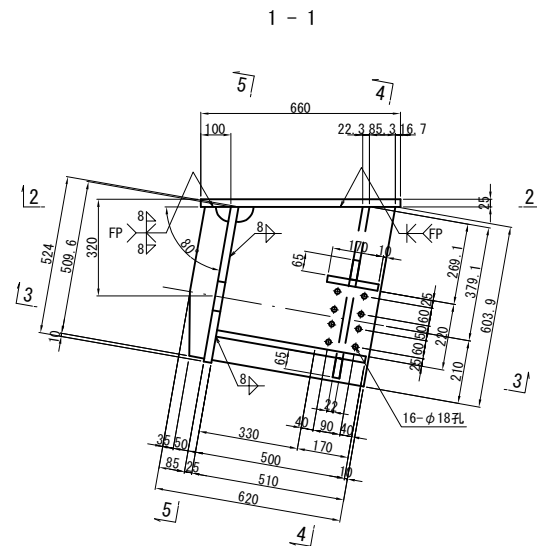
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



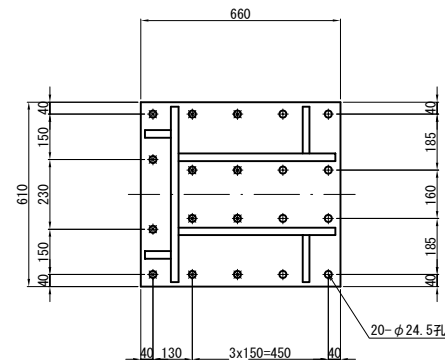
- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
 - 2) 特記なきスカラーラップは50Rとする。
 - 3) 下部工ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ (JIS H8641 HDZT77、HDZT49) とする。
 - 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
 - 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 7) 施工時に既設の落橋防止装置のナットは撤去すること。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼板桁) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東京日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

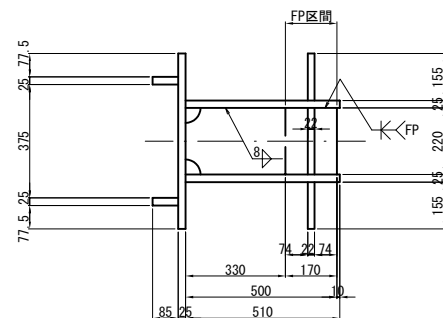
上部エブラケット詳細図



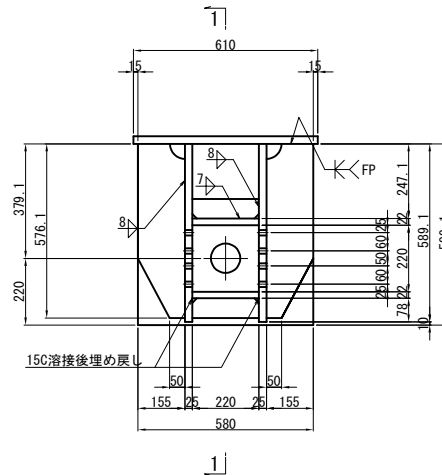
2 - 2



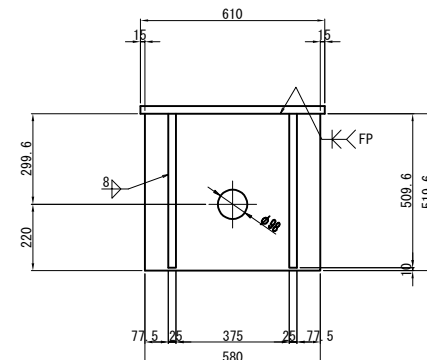
3 - 3



4 - 4



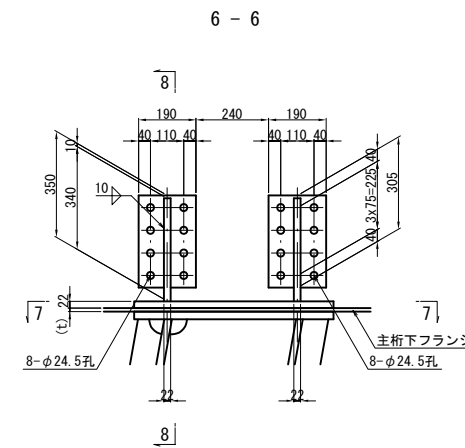
5 - 5



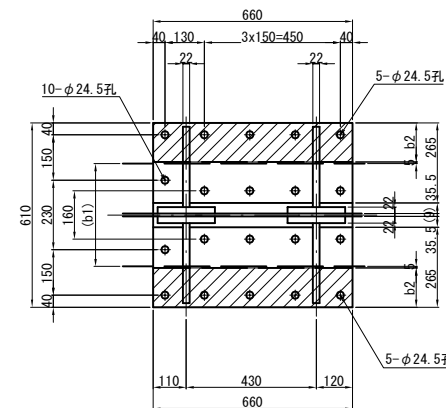
ブラケット1基当り(製作数:6)

2-PL 85x25x510
2-PL 510x25x604
2-PL 155x22x577
2-PL 65x22x220
1-PL 220x22x500
1-PL 170x22x220
1-PL 524x25x580
1-PL 660x25x610
12-TCB M22xL1 (S10T) [+1W]
8-TCB M22xL2 (S10T)

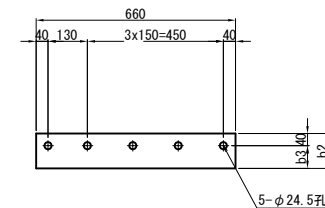
桁補強詳細図



7 - 7



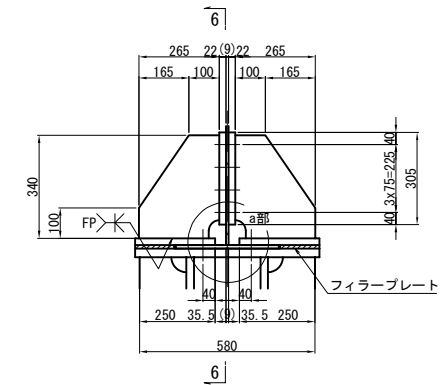
フィラープレート詳細図



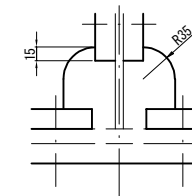
ブラケット1基当たり(製作数:6)

2-PL 250x22x660(SM400A)
4-PL 265x22x340(SM400A)
4-PL 190x22x305(SM400A)
16-TCB M22x90(S10T)
2-Fill PL B1xT1x660(SS400)

8 - 8



a部詳細



	t	b1	b2	b3	T1	B1	L1	L2
L61	22	440	80	40	22	80	110	105
L63	12	300	150	110	12	150	100	95
L65	19	330	135	95	19	135	110	105
R65	22	420	90	50	22	90	110	105
R63	12	300	150	110	12	150	100	95
R61	22	390	105	65	22	105	110	105

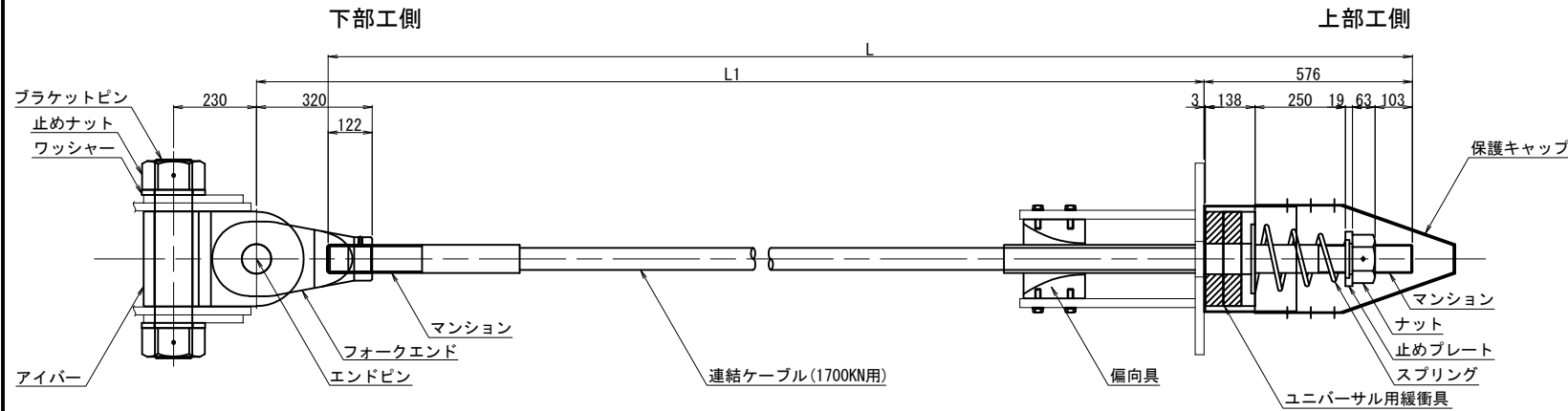
注記)

- 1) 特記なき材質は、全てS490Aとする。
- 2) 特記なきスカラーップは全て50Rとする。
- 3) 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 4) 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 5) ●の強力ボルトは頭部側にメ座金を用いるものとする。
- 6) ()内は既設主桁の仮定寸法値であるため
取付位置に合わせて適宜変更すること。

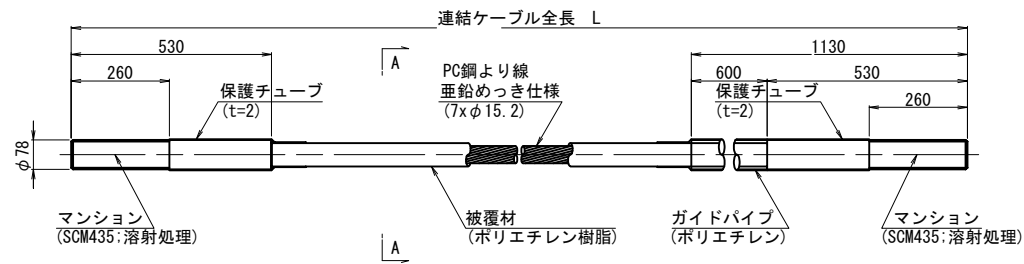
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼板桁) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

起点側：取付詳細図及び部品図

取付詳細図



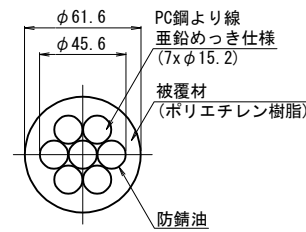
連結ケーブル



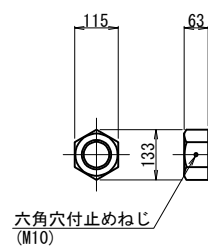
連結ケーブル寸法表

	L1	L
LG1	2332	2710
LG3	2332	2710
LG5	2292	2670
RG1	2275	2653
RG3	2430	2808
RG5	2355	2733

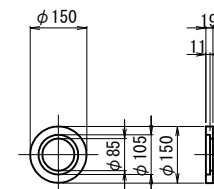
A-A断面图 S=1:2



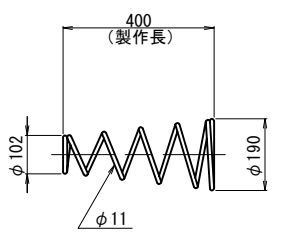
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



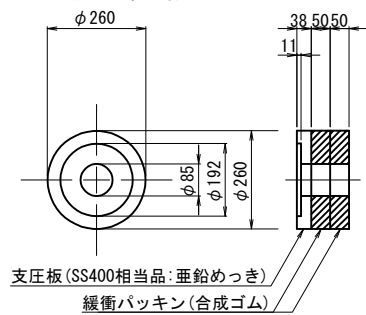
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



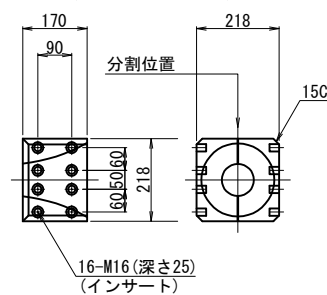
スプリング
(SW-C: 亜鉛めっき, ｸﾛﾒｰﾄ処理)



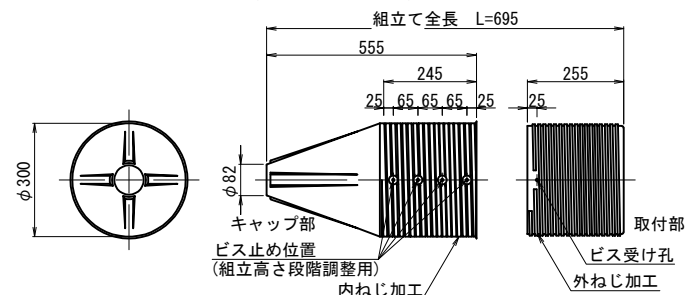
ユニバーサル用緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



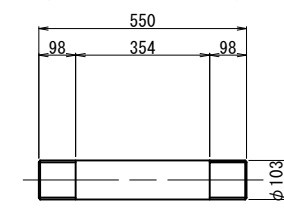
偏 向 具
(ポリエチレン)



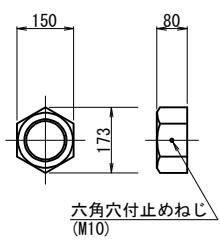
保護キャップ
(ポリエチレン)



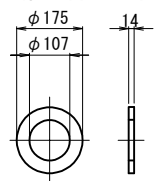
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



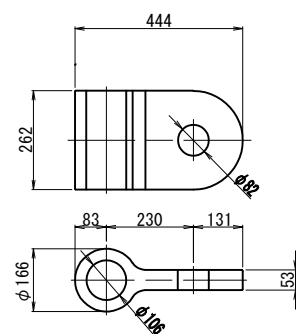
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



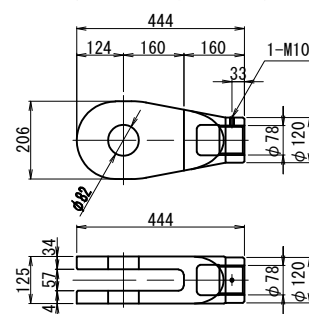
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



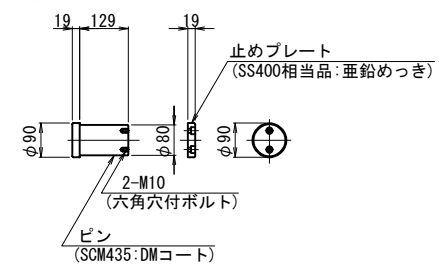
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)

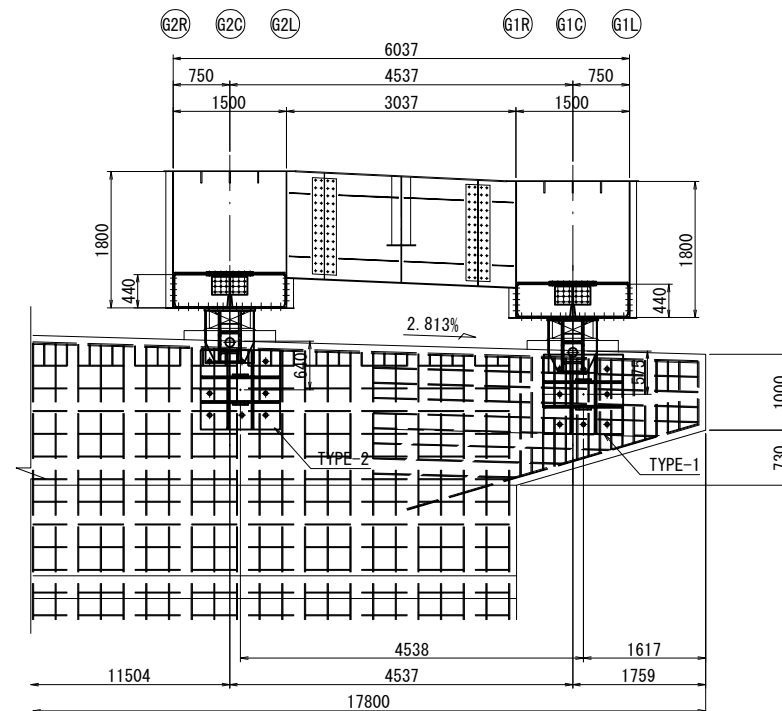
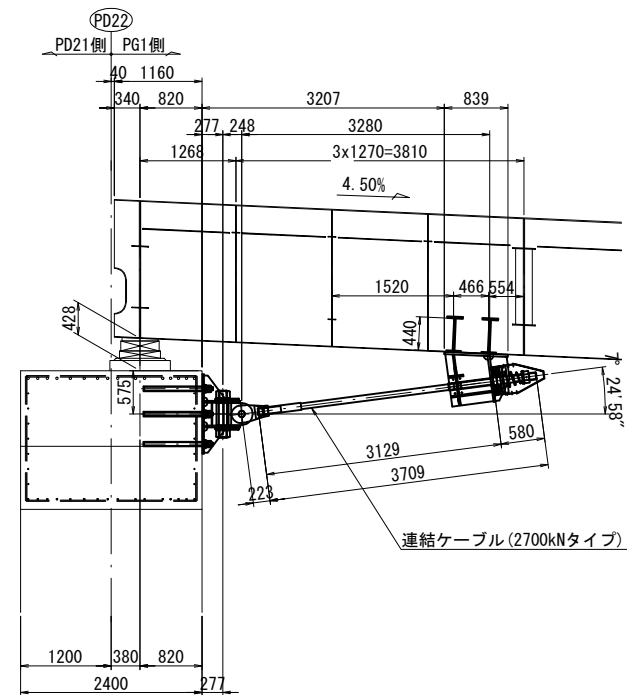


エンドピン
(ピン+止めプレート)

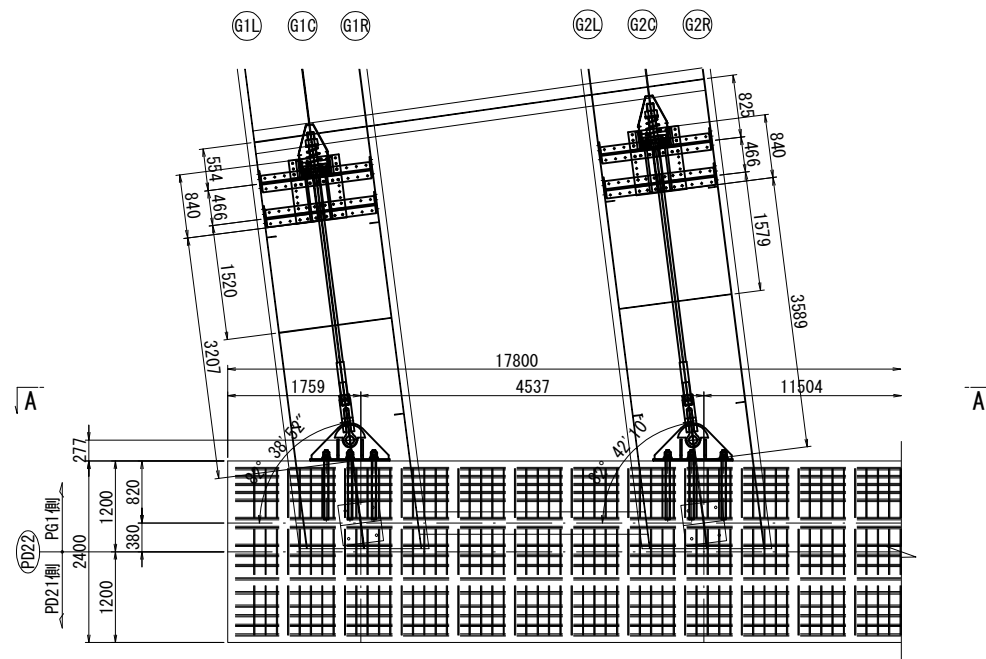


注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

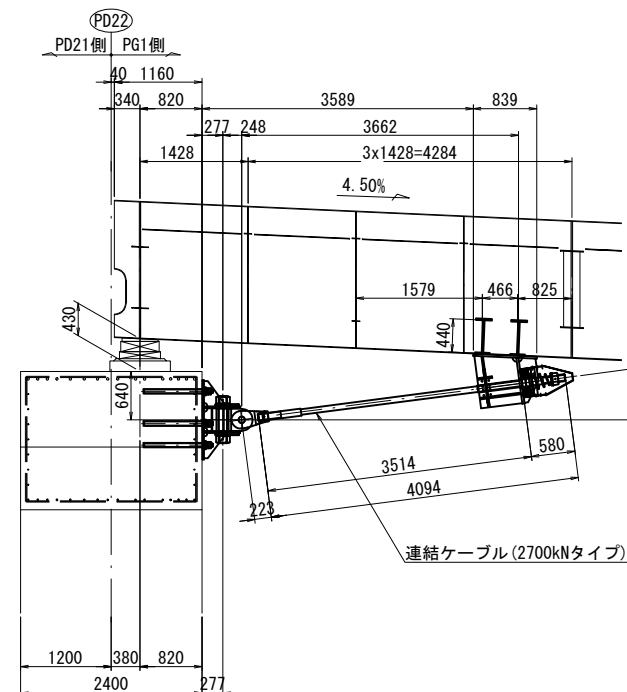
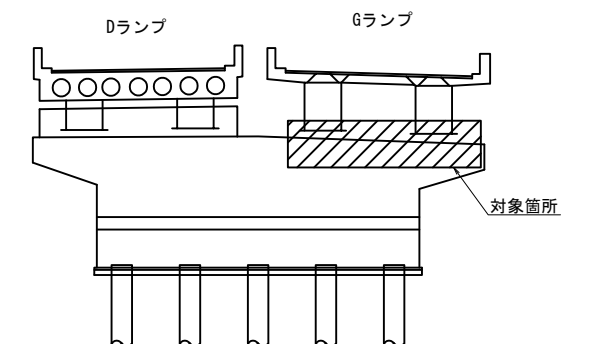
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼板橋) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

正面図 (PG1側)
A - A側面図
G1桁

平面図



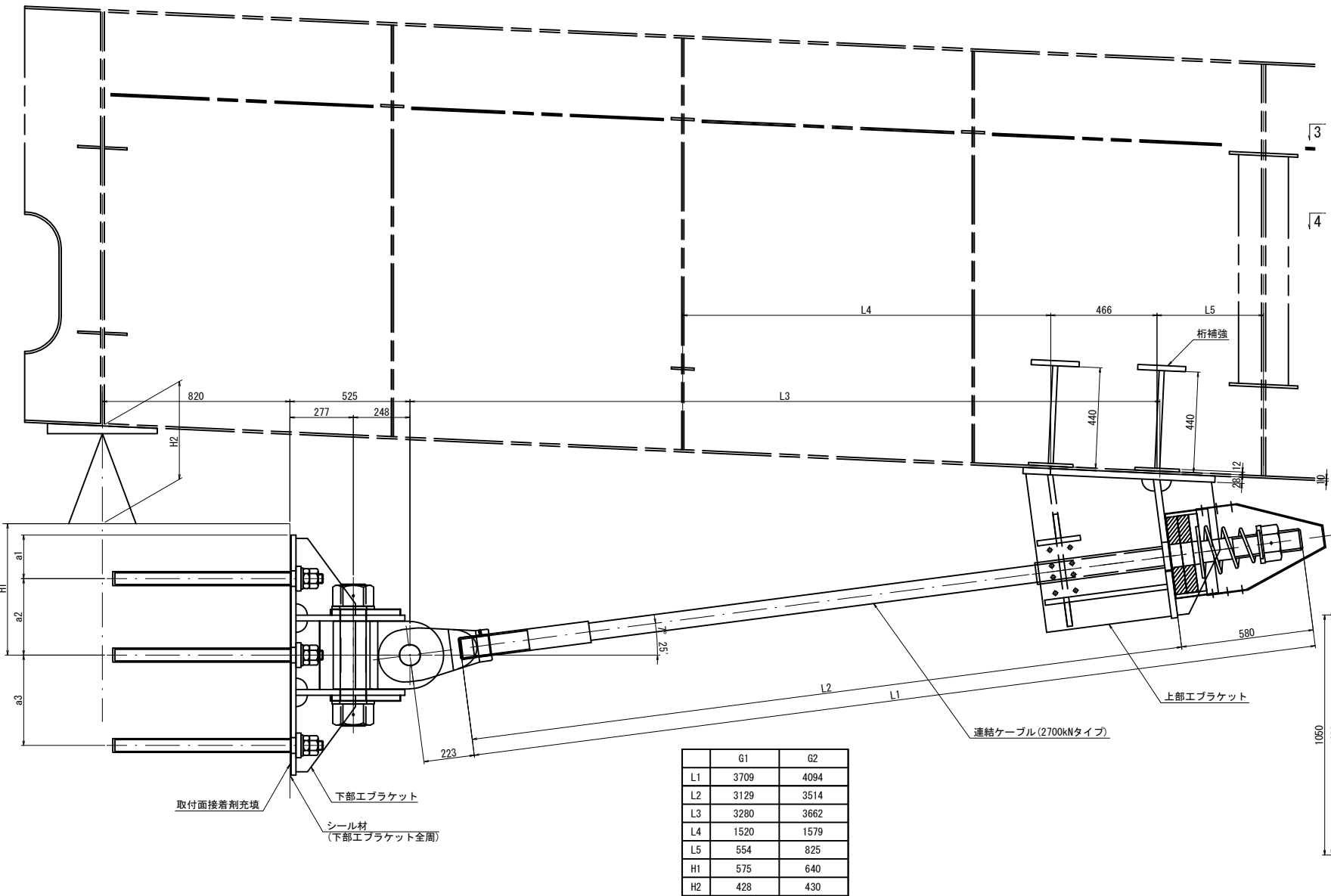
G2桁

位置図
DP22橋脚

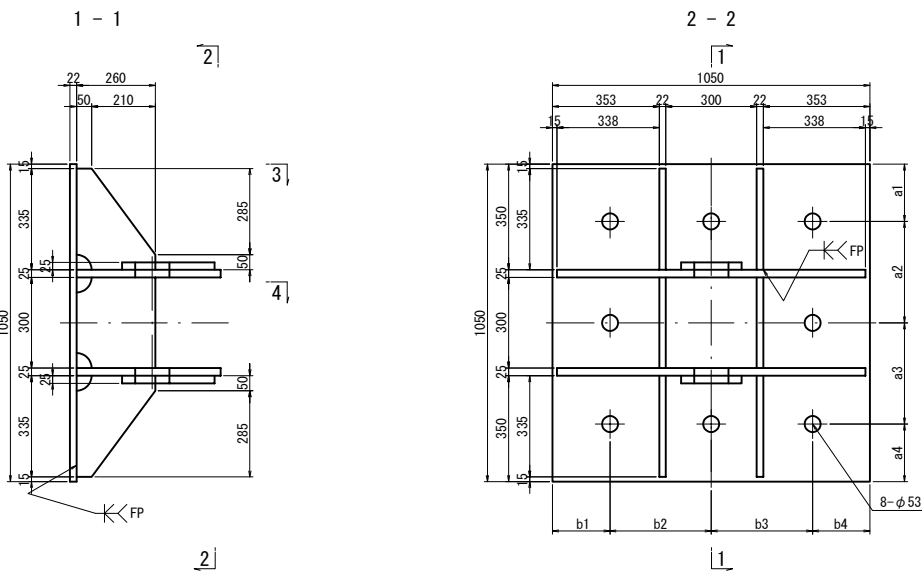
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止設置工 (鋼箱桁) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

(2700kNタイプ)

側面図

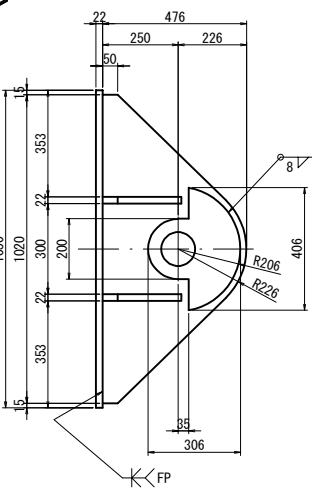


下部エブラケット詳細図



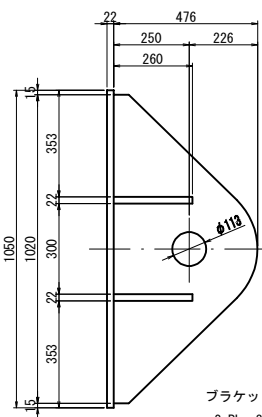
	a1	a2	a3	a4	b1	b2	b3	b4
TYPE-1	190	335	395	130	210	315	315	210
TYPE-2	150	425	285	190	120	425	315	190

3 - 3



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

4 - 4



ブラケット1基当り (製作数:2)

- 2-PL 306x25x406
- 2-PL 476x25x1020
- 4-PL 260x22x335
- 2-PL 260x22x300
- 1-PL 1050x22x1050

- 8-Anc Bolt D51x910 (SD345)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)
- 8-座金 108x22x108 (SS400)

注記)

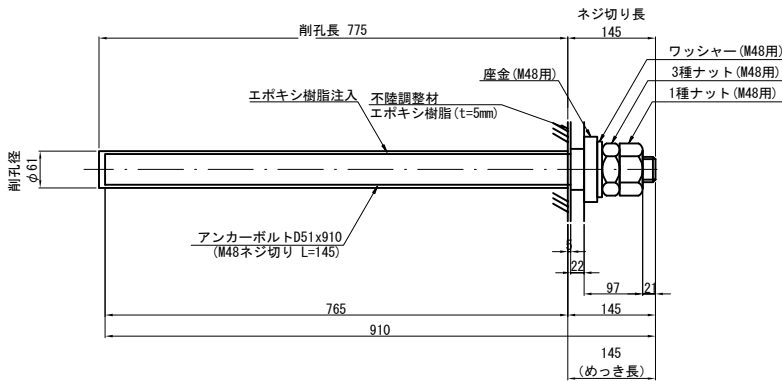
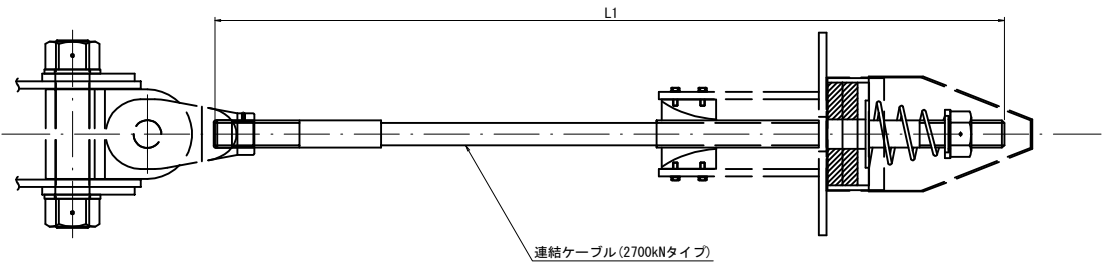
- 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーラップは50Rとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ (JIS H8641 HDZT77, HDZT49) とする。
- 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
- アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
- 施工時に既設の落橋防止装置のナットは撤去すること。

連結ケーブル

取付詳細図

下部工側

上部工側



東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼箱桁) その1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

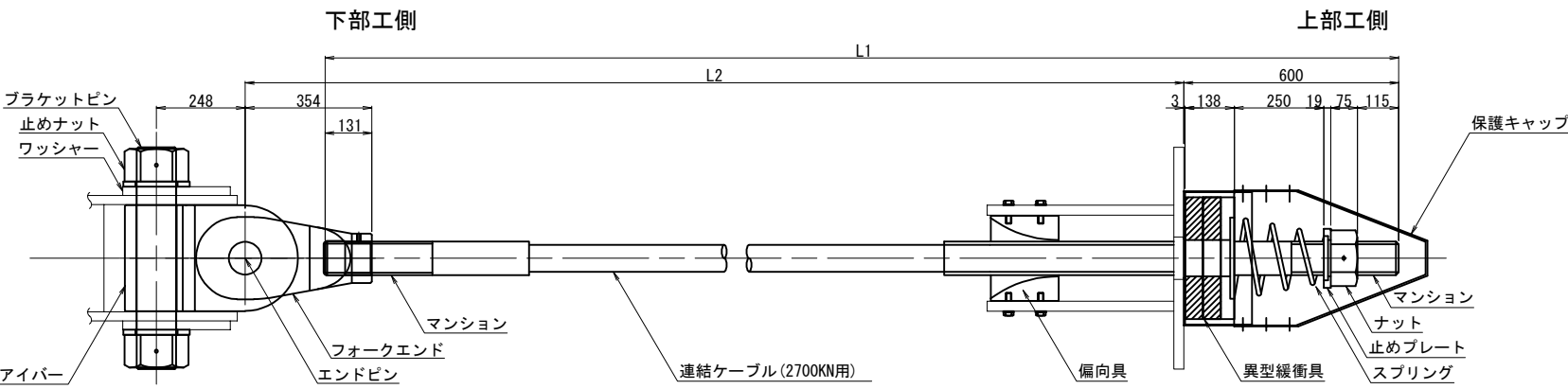
標準落橋防止構造詳細図（鋼箱桁）その3 参考図

S=1:10

129/151

DP22橋脚（終点側）：取付詳細図及び部品図

取付詳細図



材料表（落橋防止構造1組当たり）

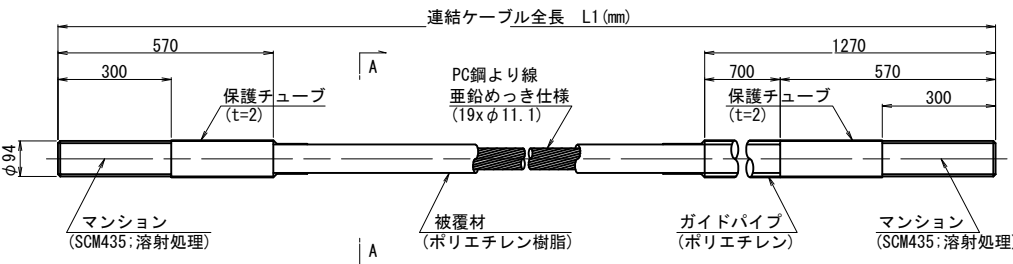
全2組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	2700KN用 L (mm)	本	1	PC鋼より線, 垂鉛めっき仕様, ポリエチレン被覆
	2700KN用 標準	個	2	SCM435, 垂鉛アルミ溶射, ねじきり標準 <ケーブルに組込>
	2700KN用 700mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	2700KN用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZT77)
止めプレート	2700KN用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77)
スプリング	2700KN用 L=400	個	1	SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理
異型緩衝具	2700KN用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具 (取付ボルト)	2700KN用 M16x55 1W付	個	1	ポリエチレン SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
保護キャップ	2700KN用	組	1	ポリエチレン: 6-止めビス付
ブラケットピン	2700KN用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
止めナット	2700KN用	個	2	S45C: 垂鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	2700KN用	個	2	SS400相当品, 垂鉛めっき (HDZT77)
アイバー	2700KN用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	2700KN用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	2700KN用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
止めプレート (止めプレート)	2700KN用	個	1	SS400相当品, 垂鉛めっき (HDZT77)

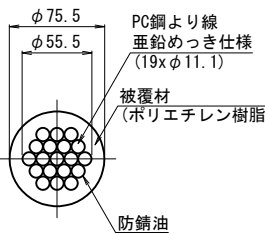
連結ケーブル寸法表

	L1	L2
G1	3709	3332
G2	4094	3717

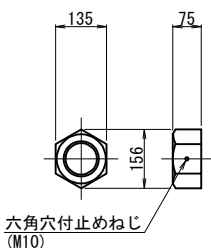
連結ケーブル



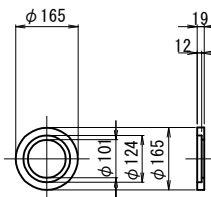
A-A断面図 S=1:3



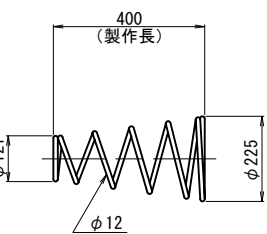
ナット
(S45C: 垂鉛めっき)



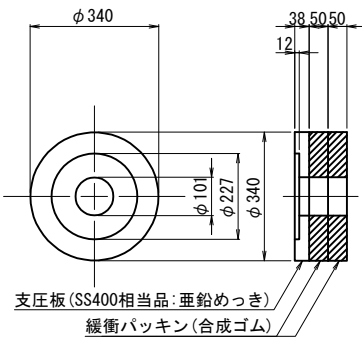
止めプレート
(SS400相当品: 垂鉛めっき)



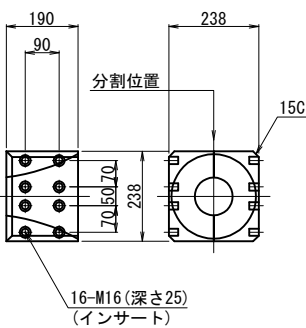
スプリング
(SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理)



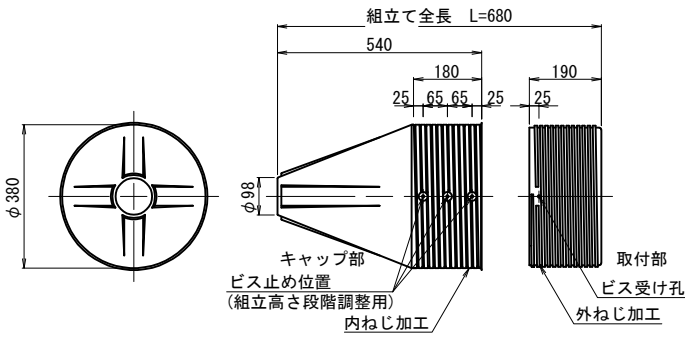
異型緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



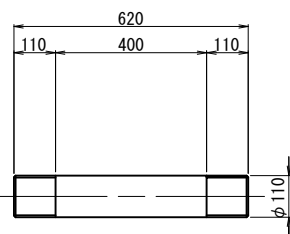
偏向具
(ポリエチレン)



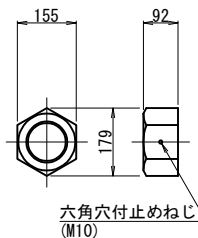
保護キャップ
(ポリエチレン)



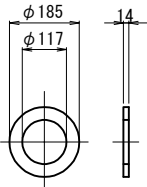
ブラケットピン
(SCM435: DMコート)



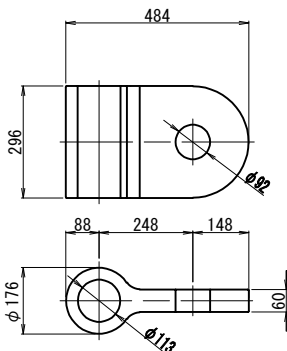
止めナット
(S45C: 垂鉛めっき)



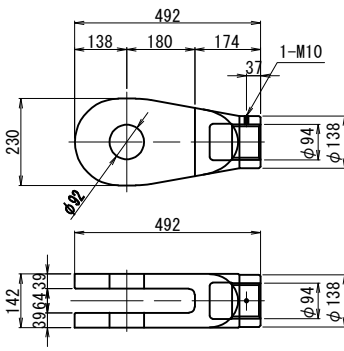
ワッシャー
(SS400相当品: 垂鉛めっき)



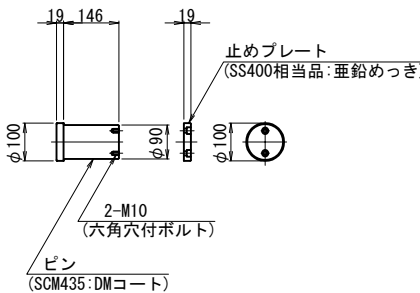
アイバー
(S45C: 垂鉛めっき)



フォークエンド
(S45C: 垂鉛めっき)



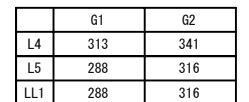
エンドピン
(ピン+止めプレート)



注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

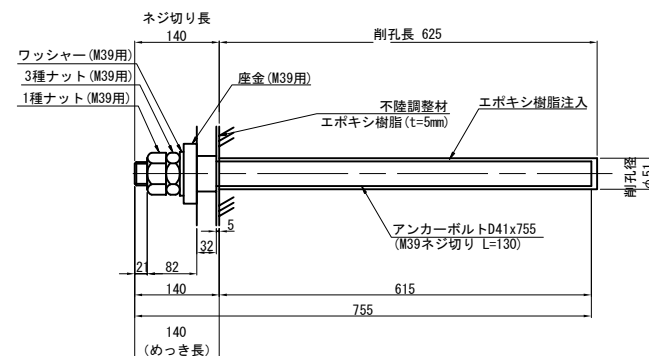
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (鋼箱桁) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

B - B



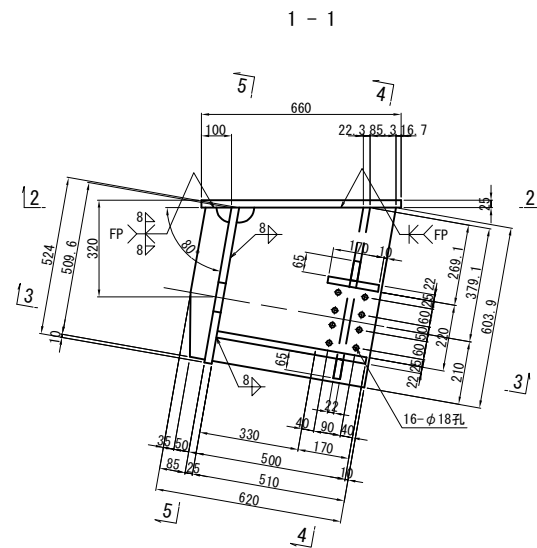
注記)

- 1) 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 2) 特記なきスカラーラップは50Rとする。
- 3) 下部工ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げ
(JIS H8641 HD2177、HD2749)とする。
- 4) 工場製作はアンカーボルト削孔位置等、現場実測確認のうえ行うものとする。
- 5) アンカーボルトは接着系アンカーとする。
- 6) アンカーボルト間隔は5d (d:アンカー径)以上を確保すること。
- 7) 施工時に既設の落着防止装置のネットは撤去すること。

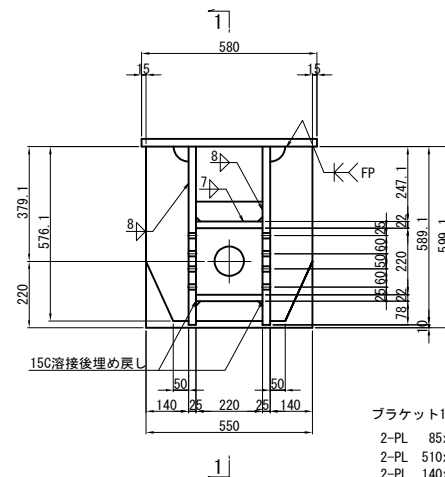


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その 1 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

上部エブラケット詳細図



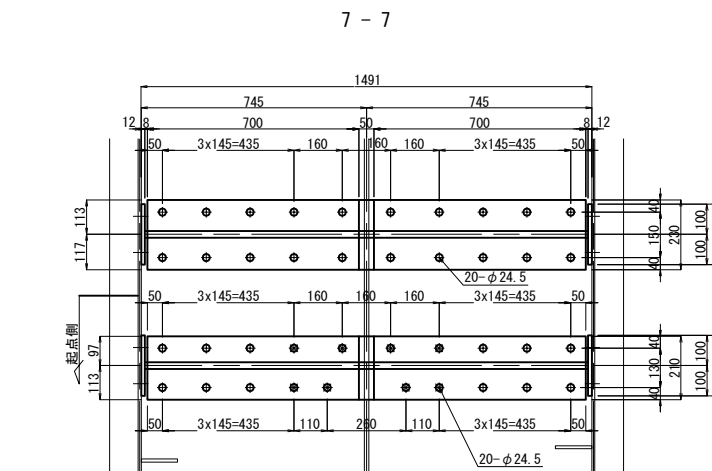
4 - 4



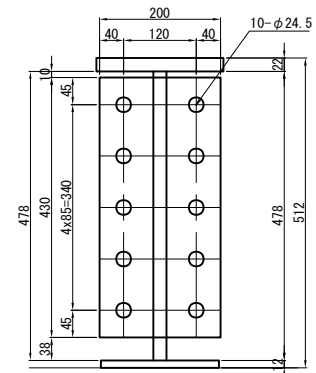
ブラケット1基当り(製作数:2)

2-PL	85x25x510
2-PL	510x25x604
2-PL	140x22x577
2-PL	65x22x220
1-PL	220x22x500
1-PL	170x22x220
1-PL	524x25x550
1-PL	660x25x580
4-TCB	M22x75 (S10T) [+1W]

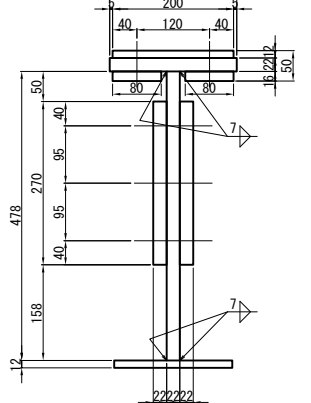
桁補強詳細図



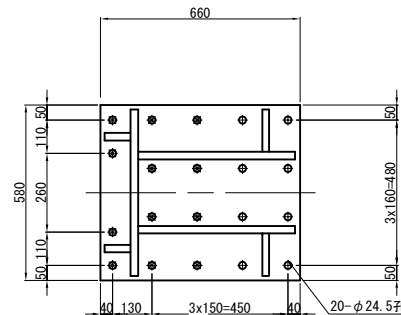
8 - 8 s=1:12.5



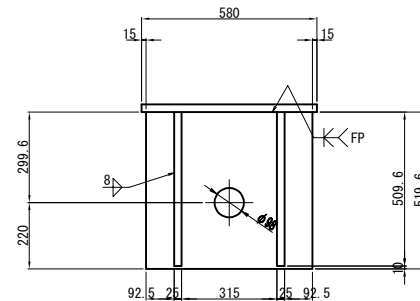
9 - 9 s=1:12.5



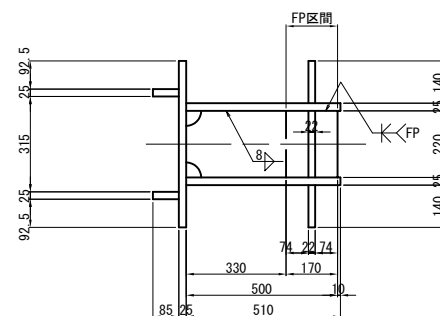
2 - 2



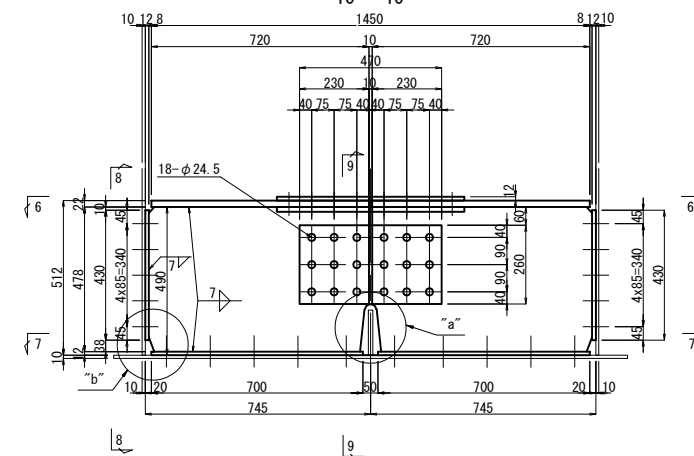
5 - 5



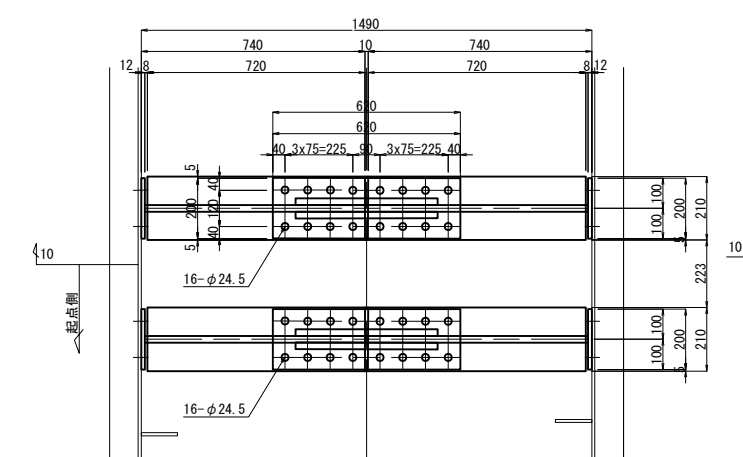
3 - 3



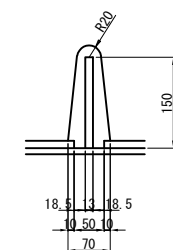
10 - 10



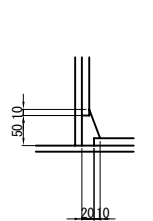
6 - 6



“a”部詳細 S=1:12.5



“b”部詳細 S=1:12.5



上部工付き補強材1基当り(製作数:2基)

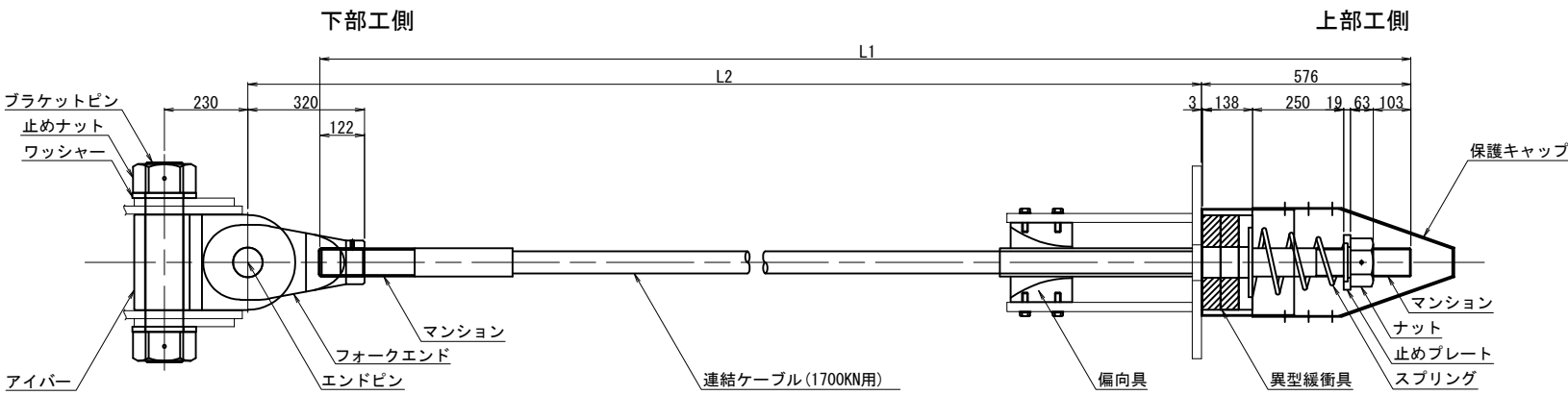
- 2-SPL PL 200×12×620(SM490YA)
- 4-SPL PL 210×22×720(SM490YB)
- 4-SPL PL 80×16×620(SM490YA)
- 4-FL 478×22×728(SM490YB)
- 4-SPL PL 260×22×470(SM490YB)
- 4-BASE PL 200×12×430(SM490YA)
- 2-BASE PL 210×12×700(SM490YA)
- 2-BASE PL 230×12×700(SM490YA)
- 32-TCB M22×85(S10T)
- 36-TCB M22×105(S10T)
- 40-TCB M22×60(S10T)
- 24-TCB M22×60(S10T)
- 8-TCB M22×85(S10T)
- 8-TCB M22×90(S10T) [+1W]

- 注記)
- 1) 特記なき材質は、全てSM490Aとする。
 - 2) 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 3) 工場製作は現場実測確認のうえ行ふものとする。
 - 4) 上部ブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 5) ●の強力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止橋落許詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その2 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

起点側：取付詳細図及び部品図

取付詳細図



材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

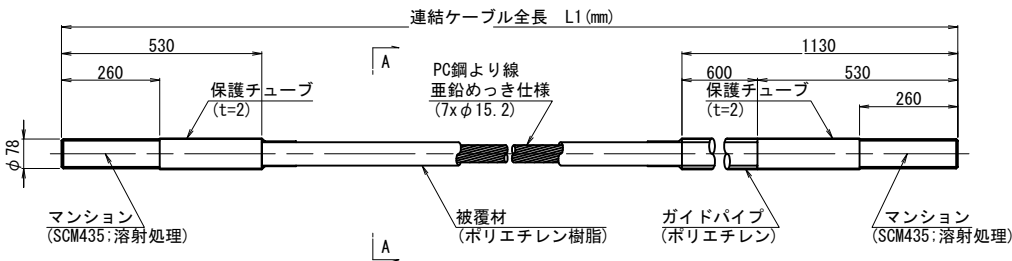
全2組

名 称		規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	1700KN用 L1 (mm)	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	
	1700KN用 標準	個	2	SCM435、亜鉛アルミ溶射、ねじり標準 <ケーブルに組込>	
	1700KN用 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	1700KN用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZT77)	
止めプレート	1700KN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	
スプリング	1700KN用 L=400	個	1	SW-C; 亜鉛めっき、クロメート処理	
異型緩衝具	1700KN用	個	1	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	
偏向具 (取付ボルト)	1700KN用	個	1	ポリエチレン	
	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	
保護キャップ	1700KN用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付	
ユニバーサルシステム	ブラケットピン	1700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
	止めナット	1700KN用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
	ワッシャー	1700KN用	個	2	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)
	アイバー	1700KN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
	フォークエンド	1700KN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)
	エンドピン (ピン)	1700KN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
	(止めプレート)	1700KN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)

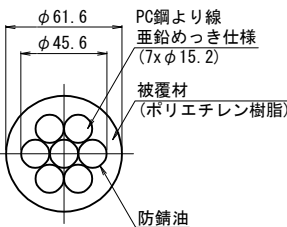
連結ケーブル寸法表

	L1	L2
G1	2916	2538
G2	3082	2704

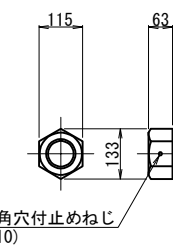
連結ケーブル



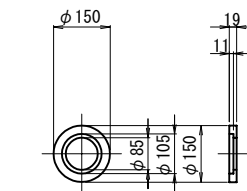
A-A断面図 S=1:2



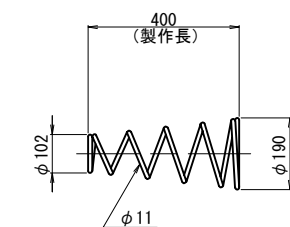
ナット (S45C：亜鉛めっき)



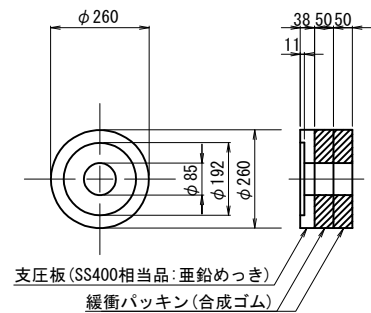
止めプレート (SS400相当品：亜鉛めっき)



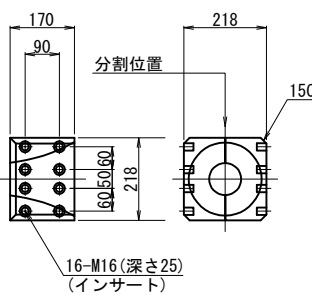
スプリング (SW-C：亜鉛めっき、クロメート処理)



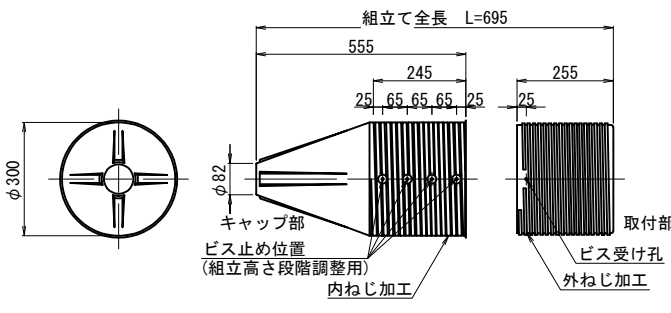
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



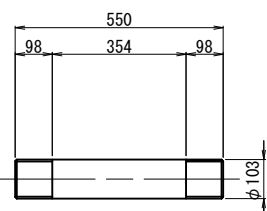
偏向具 (ポリエチレン)



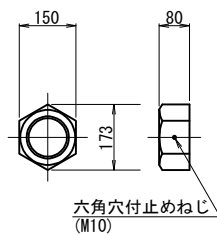
保護キャップ (ポリエチレン)



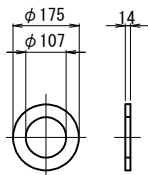
ブラケットピン (SCM435：DMコート)



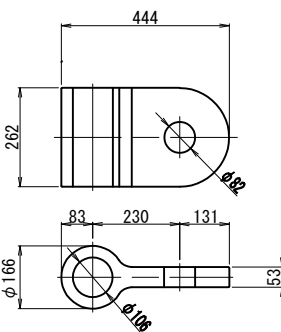
止めナット (S45C：亜鉛めっき)



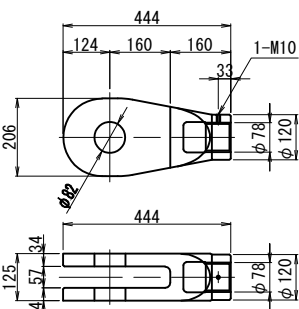
ワッシャー (SS400相当品：亜鉛めっき)



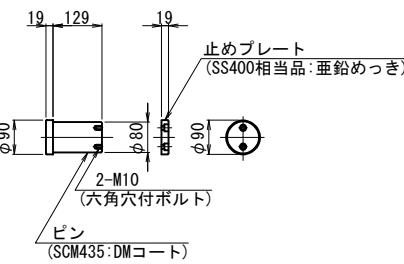
アイバー (S45C：亜鉛めっき)



フォークエンド (S45C：亜鉛めっき)

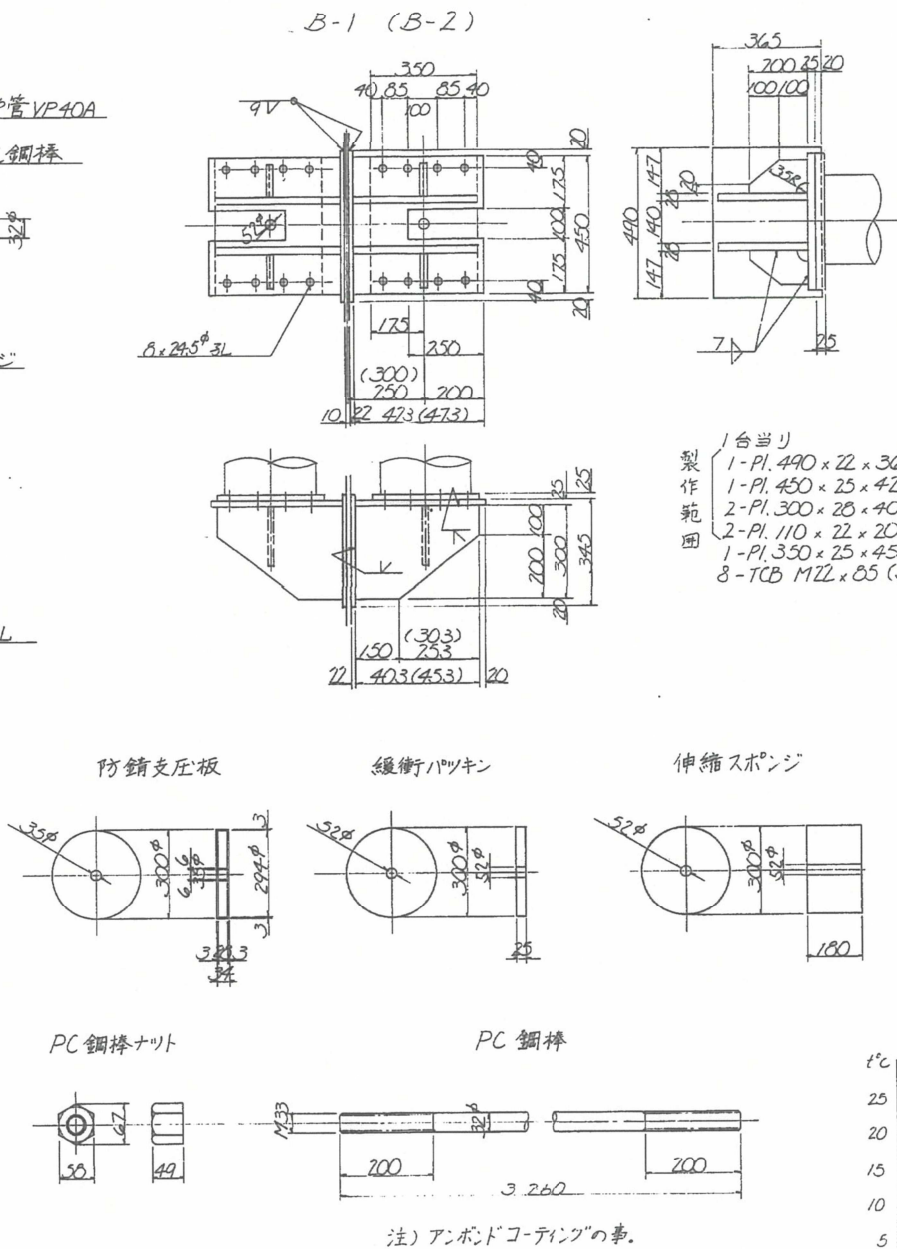
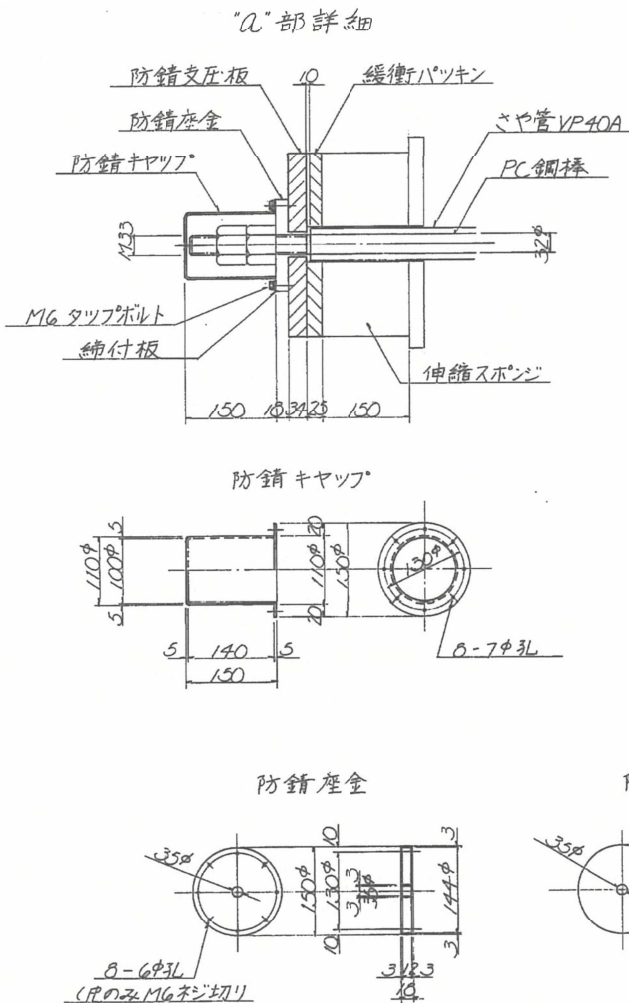
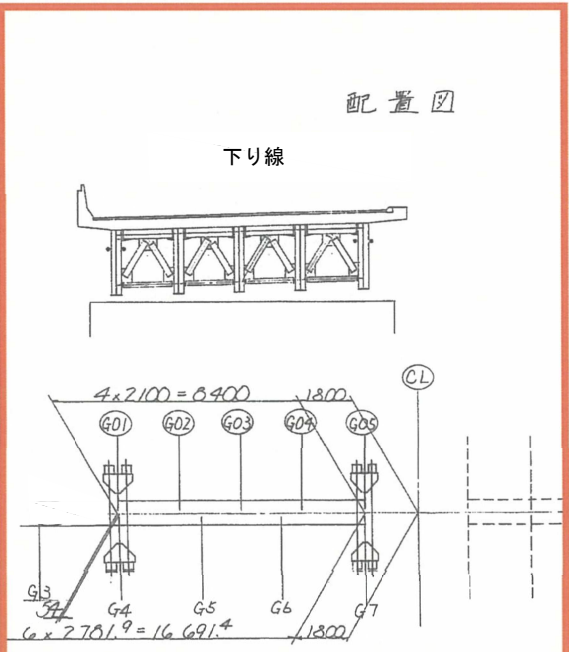
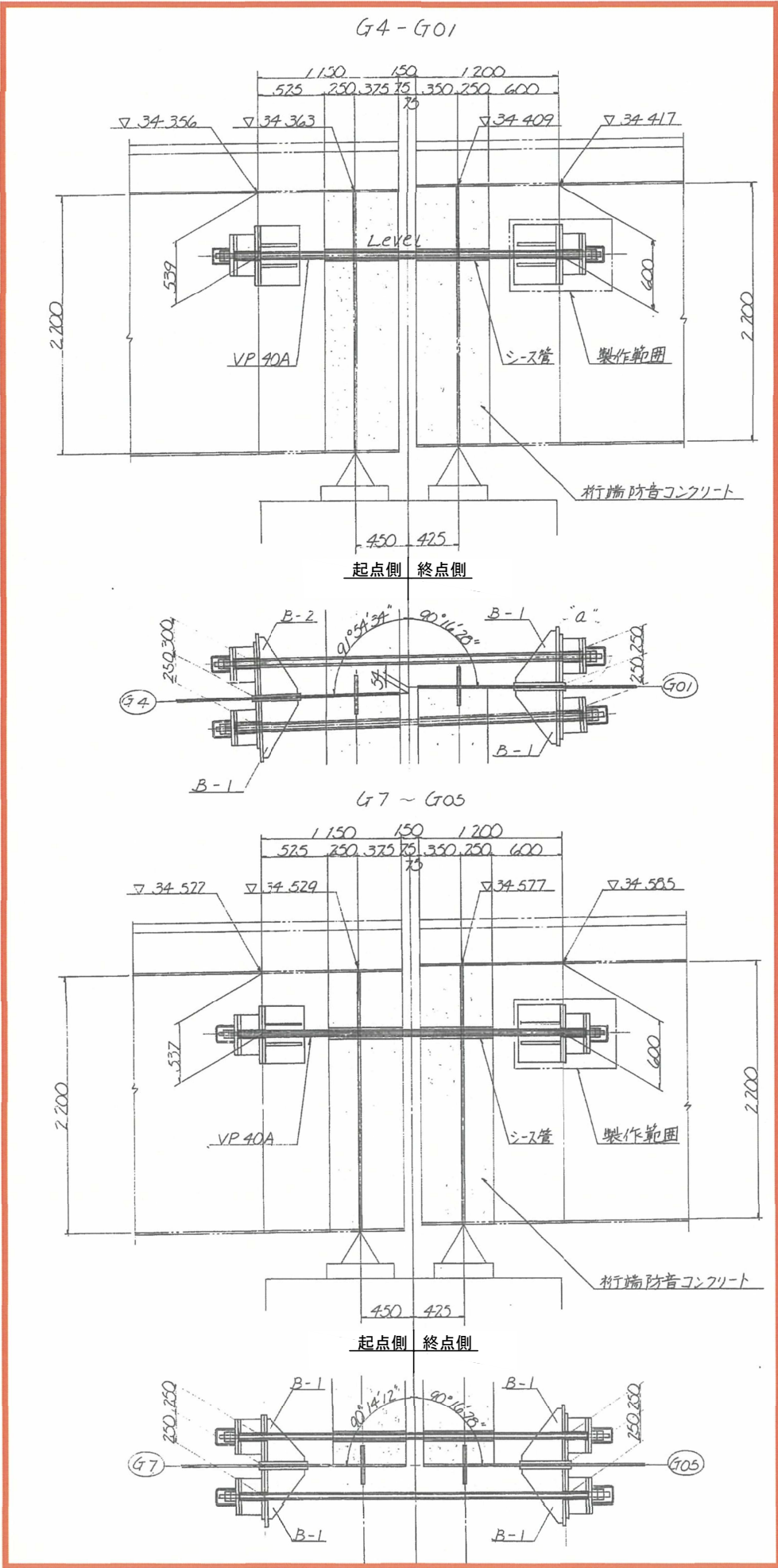


エンドピン (ピン+止めプレート)



注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造詳細図 (落橋防止・段差防止兼用) その3 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



材料表 (PG上外回り線)

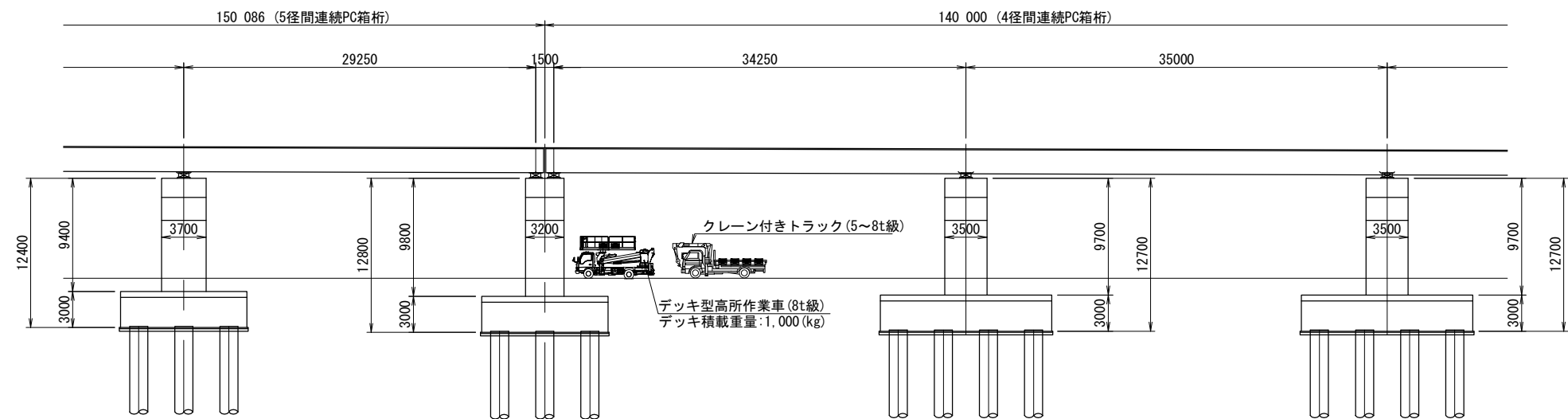
名称	寸法	材質	数量
伸縮スポンジ	300φ×180	単泡材 プレスポンジ	8
緩衝パッキン	300φ×25	ネオプレン	8
防錆支圧板	300φ×34	ネオプラス SS41	8
防錆座金	150φ×10	"	8
防錆キャップ	150φ×150	ネオプレン	8
締付板(タッ付)	10×3.2	SS41	32
六角ボルト(・)	M16×20	"	64
ナット(・)	M16	"	64
PC鋼棒	32φ×3260	SBPRB種1号	4
ナット	M133	S75CN(亜鉛メッキ)	16
さや管	40A×2820	VP	4
シース管	90A×625	SCP	3
	90A×600	"	2

- 注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
 2. 製作範囲はP7側材割寸材料のみとする。
 3. 亜鉛メッキはJIS H 8641 HDZ3Sとする。

東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準落橋防止構造 撤去図 参考図	縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	株式会社建設技術研究所	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

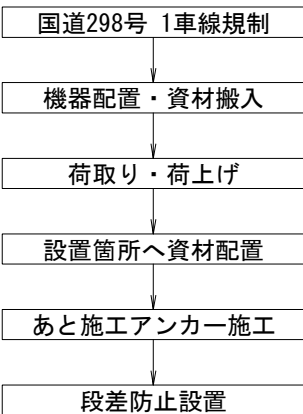
全撤去

側面図

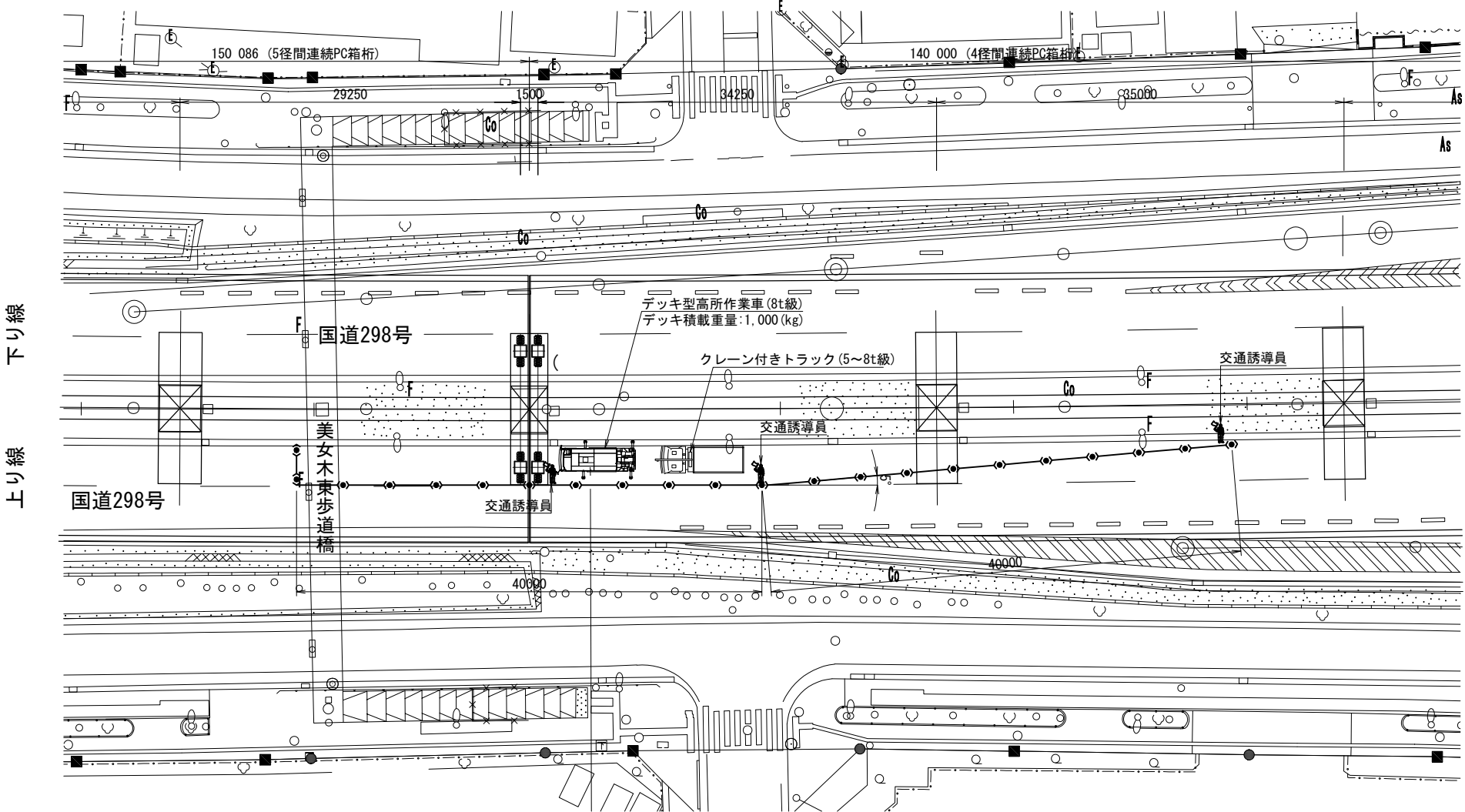


段差防止構造 施工フロー

夜間施工



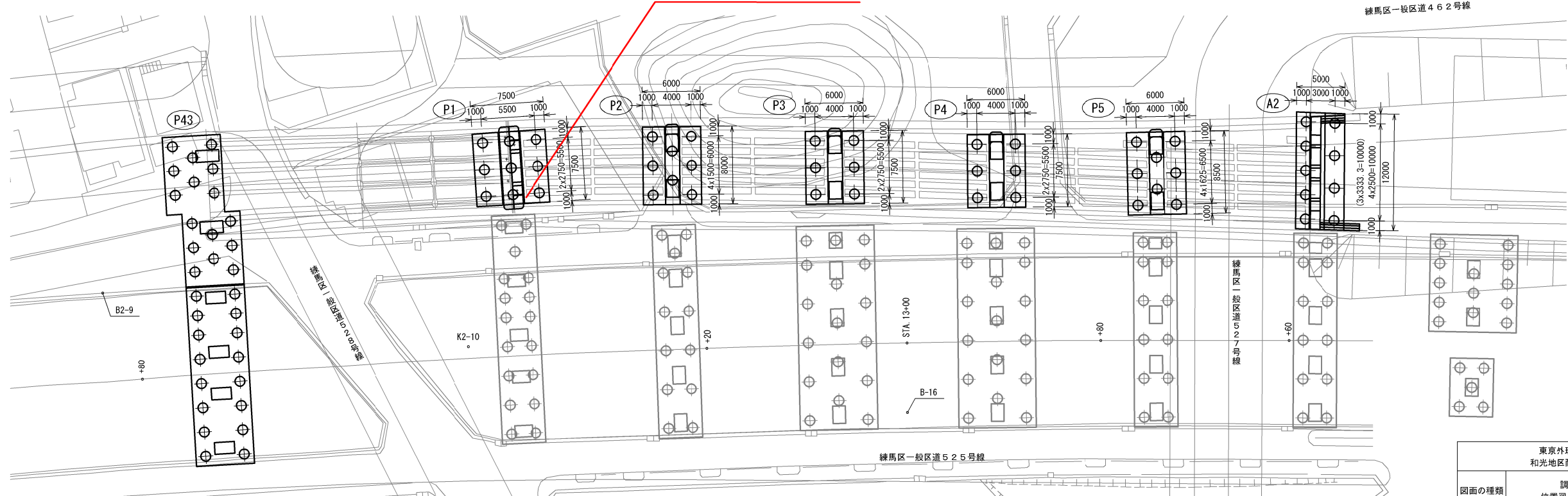
平面図



東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	標準施工計画案 (段差防止・落橋防止) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		



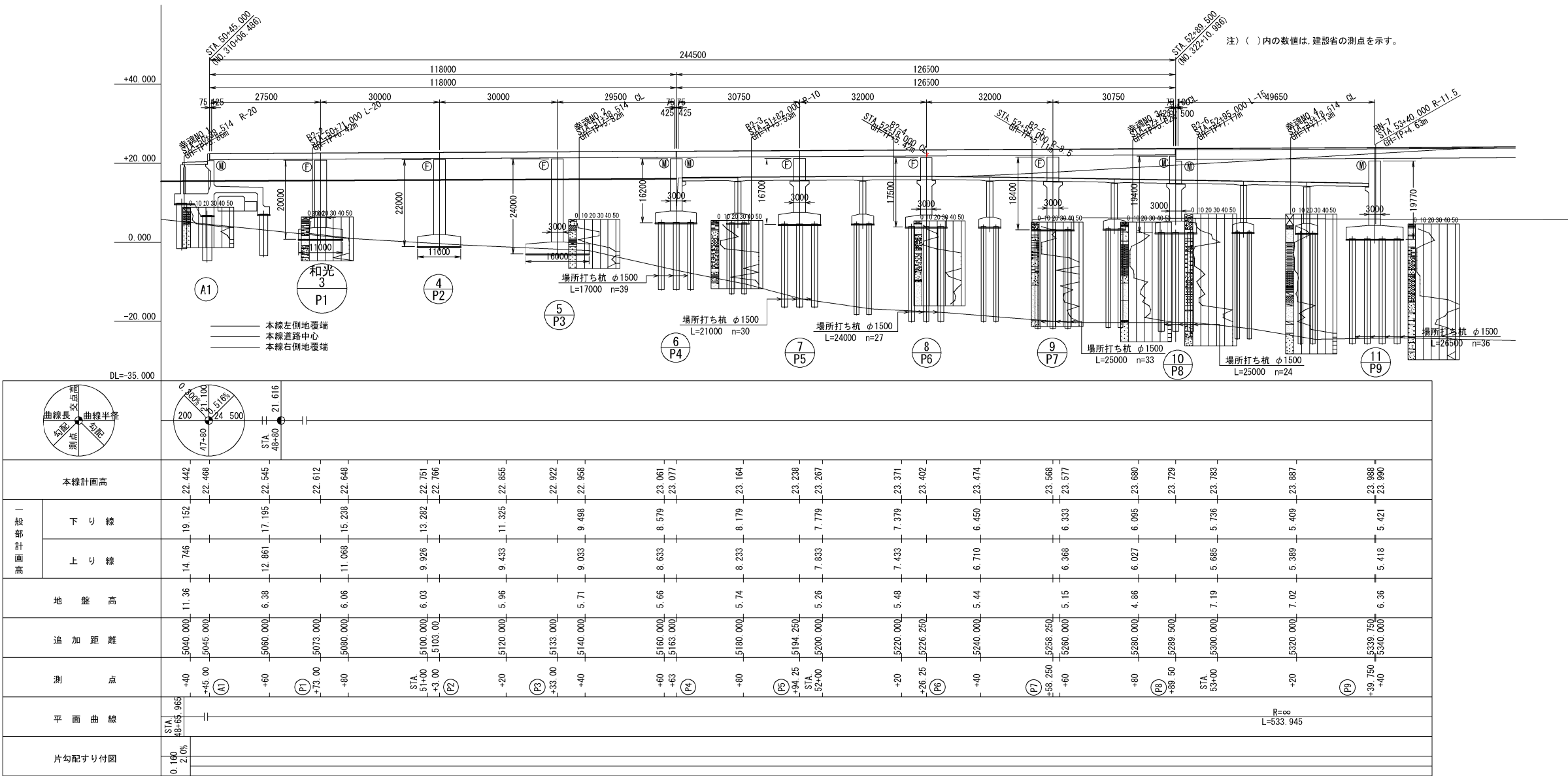
和B① 粘性土・シルト L=2.0m



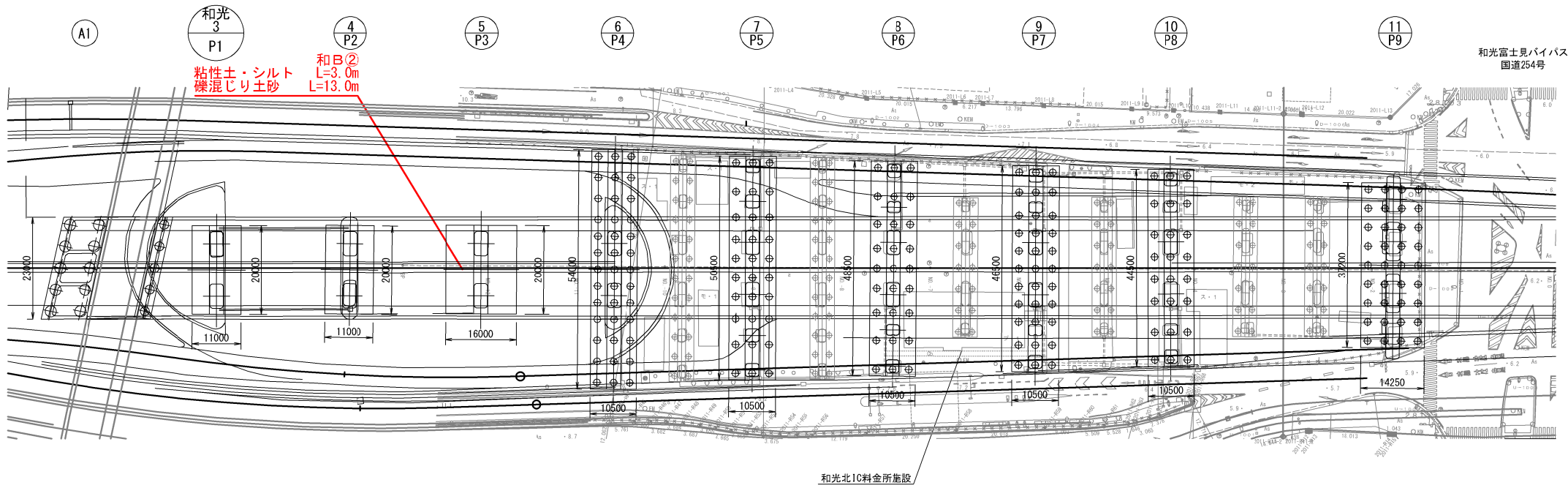
東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事				
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その１） 参考図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所			

調査ボーリング 位置図 (その2) 参考図

側 面 図



平 面 図

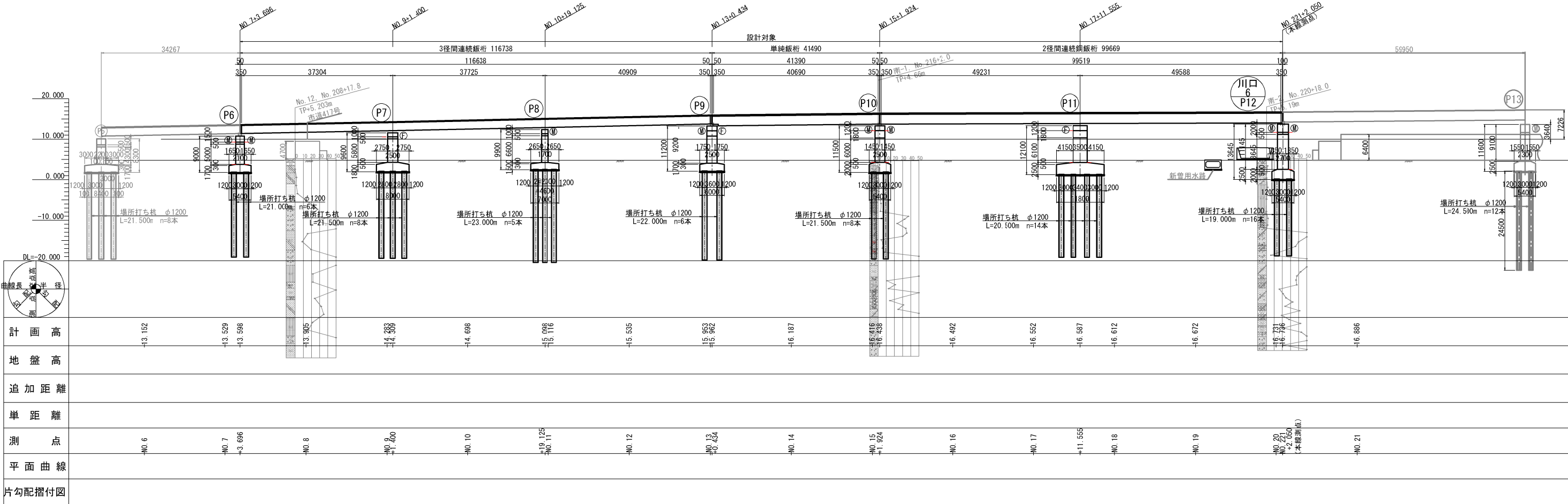


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図 (その2) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

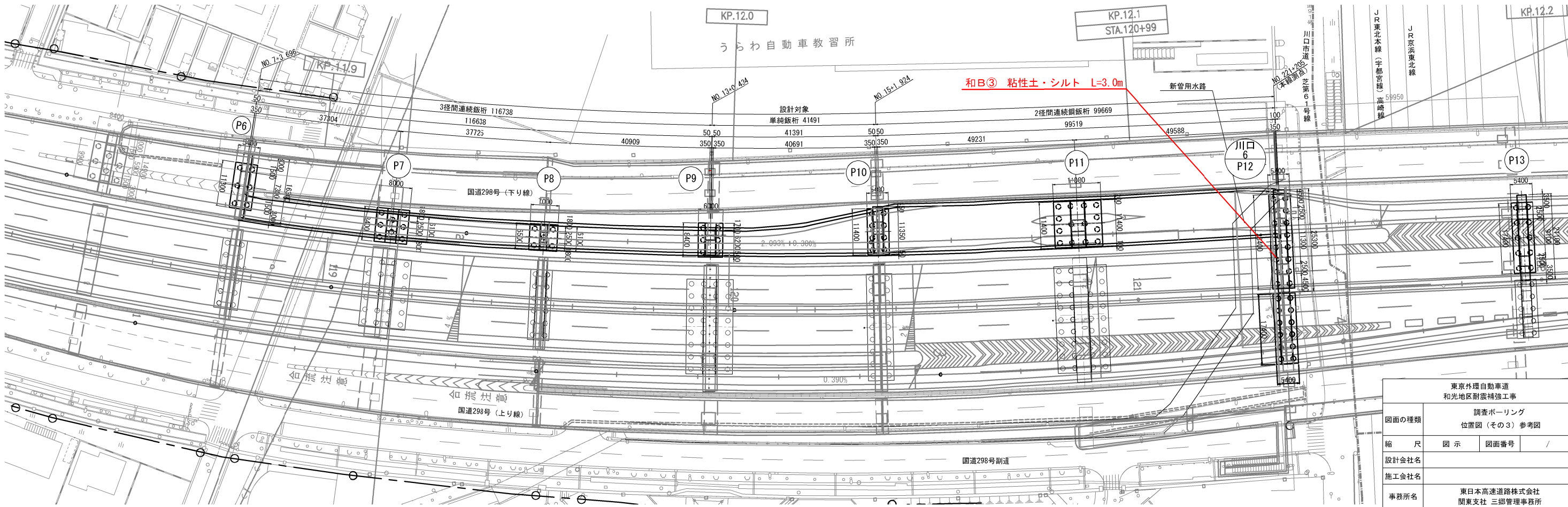
調査ボーリング 位置図 (その3) 参考図

縮 尺 1:1000

側 面 図

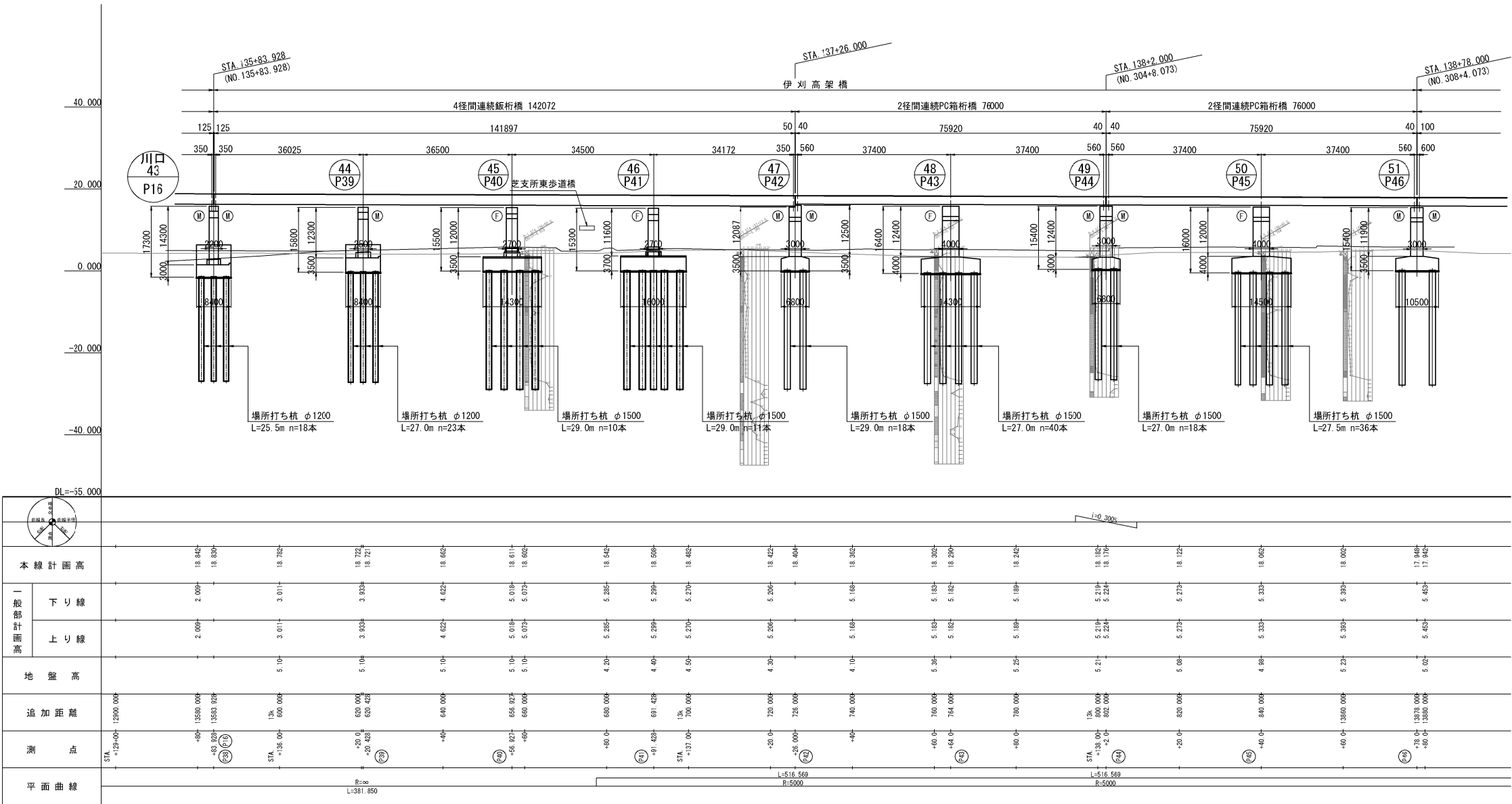


平 面 図

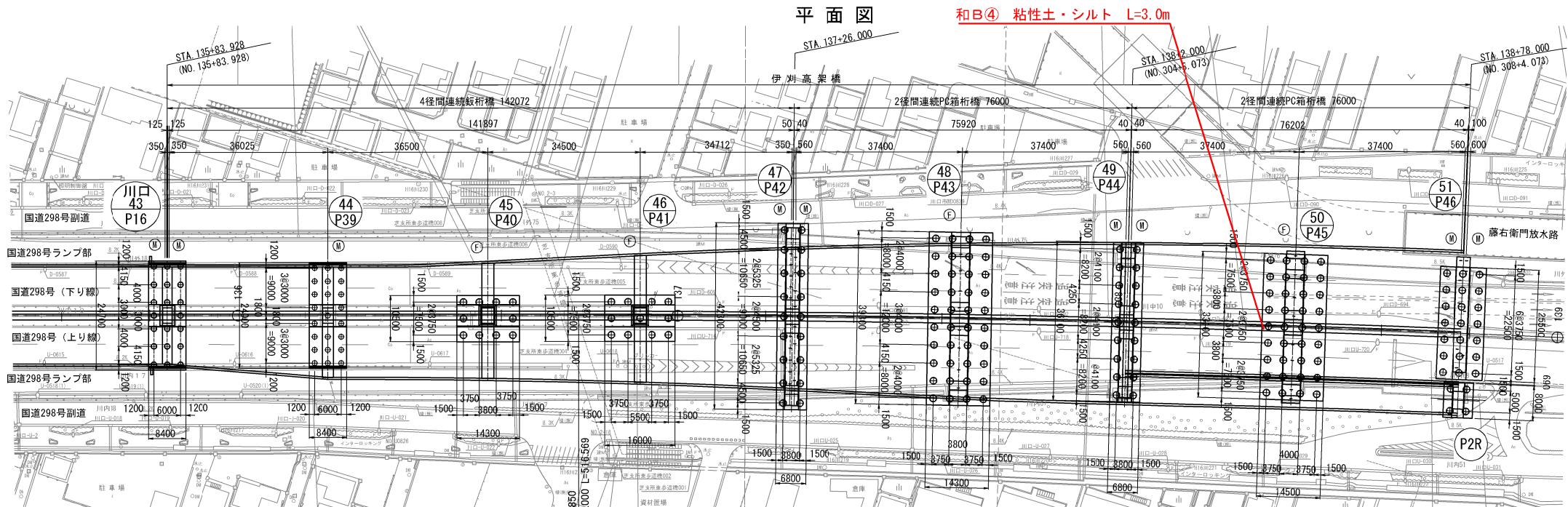


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事	調査ボーリング 位置図 (その3) 参考図
図面の種類	調査ボーリング 位置図 (その3) 参考図
縮 尺	図 示 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所

側 面 図



平面図

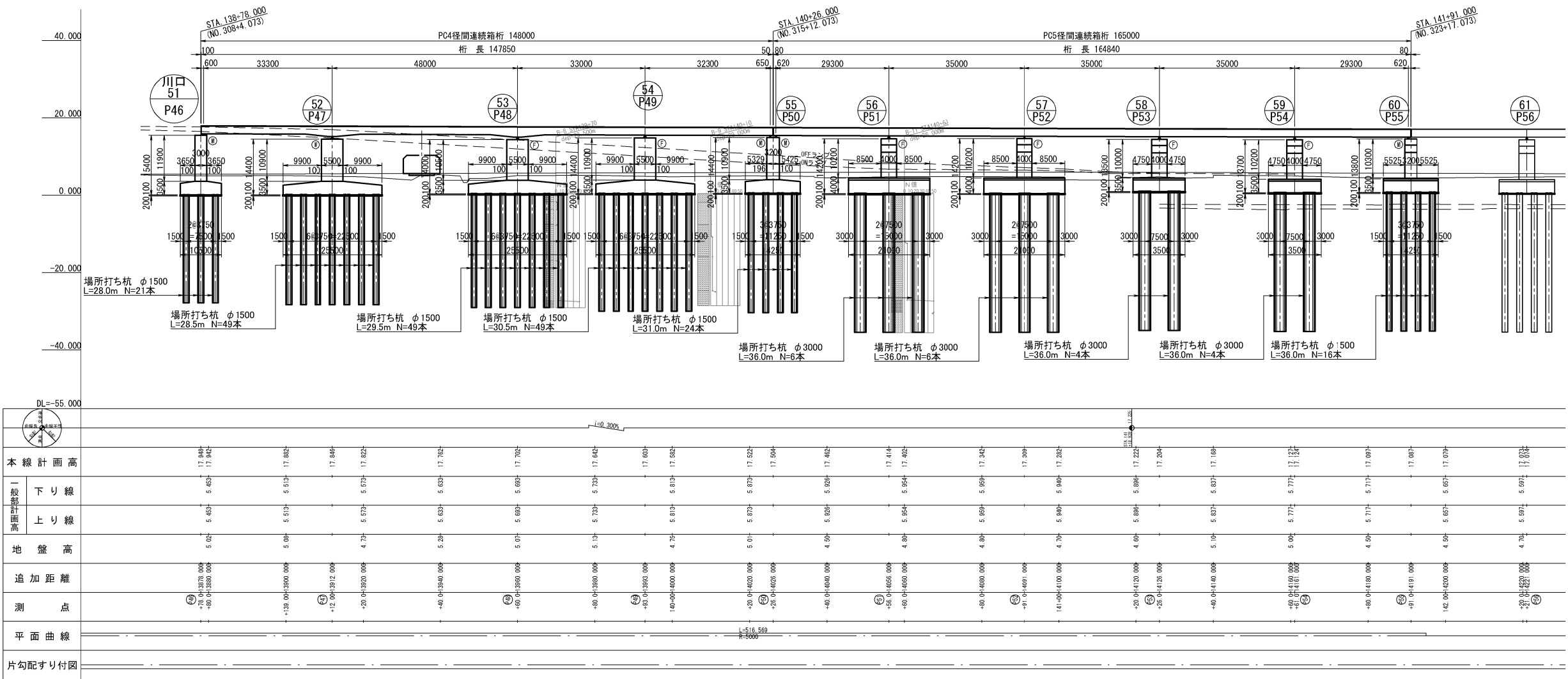


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図 (その4) 参考図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

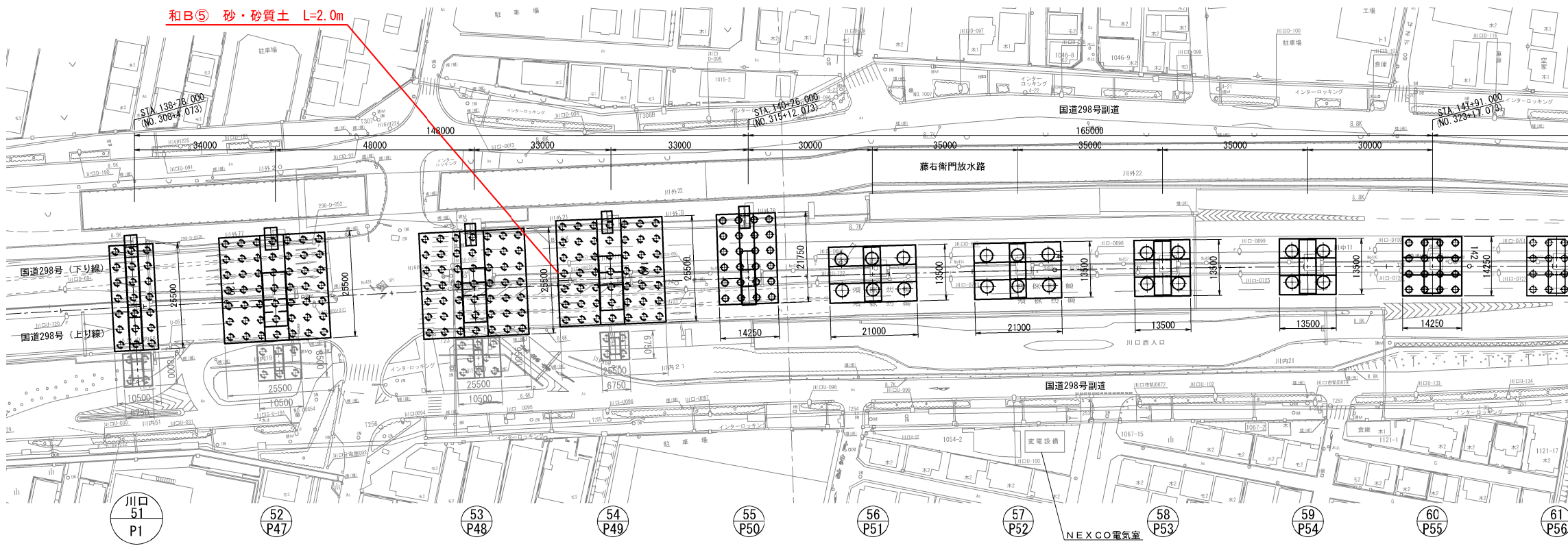
調査ボーリング 位置図（その5）参考図

縮尺=1:1250

側面図

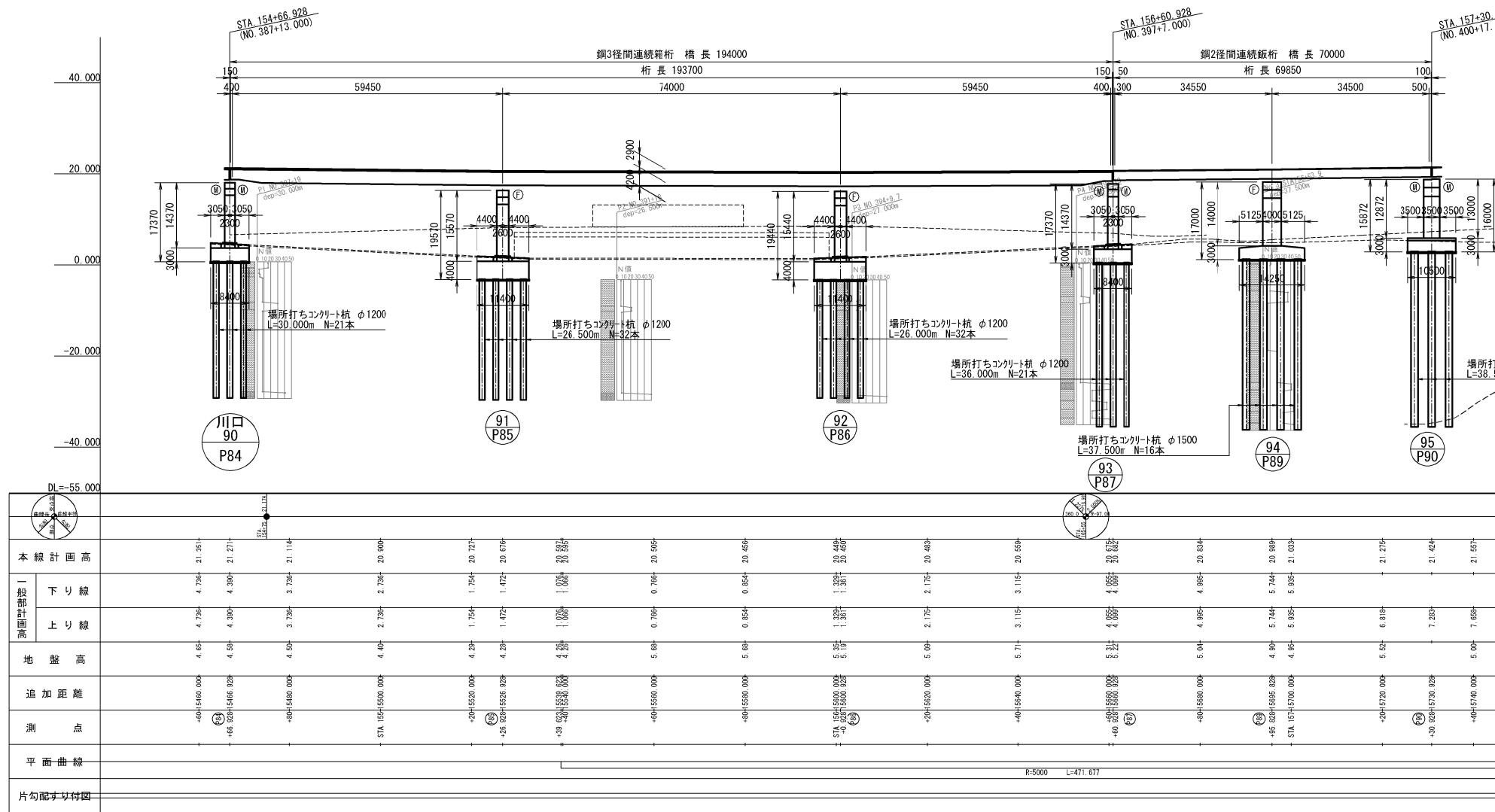


平面図

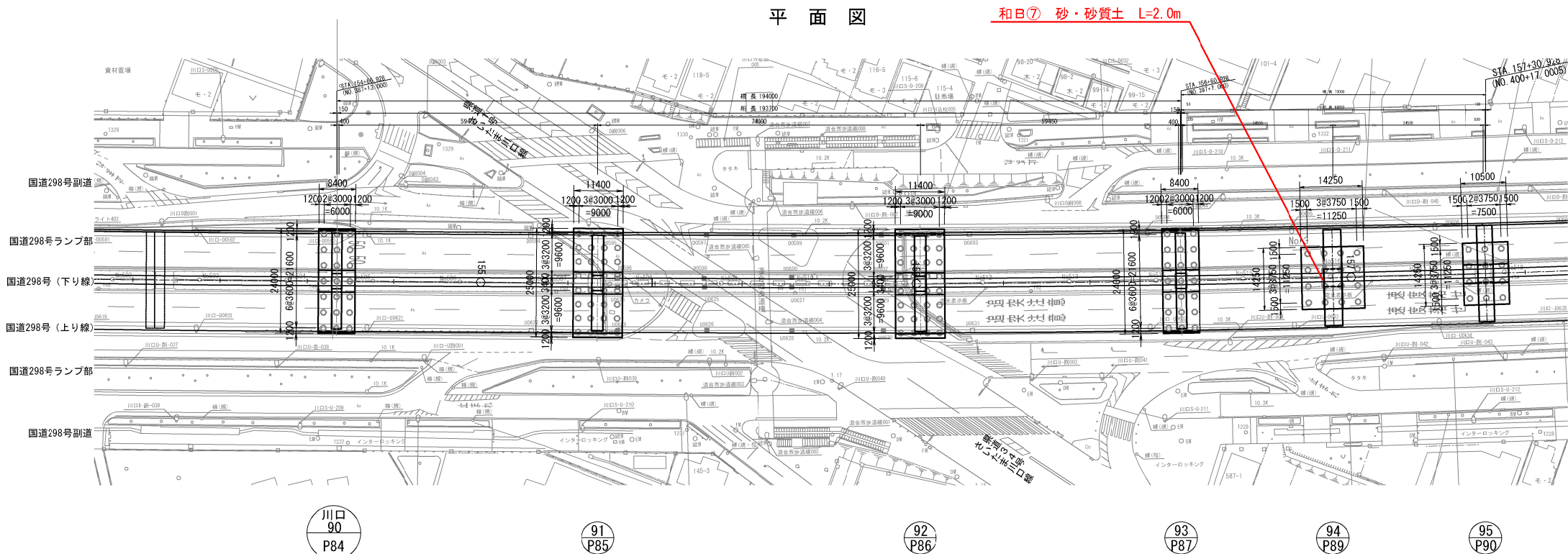


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その5）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

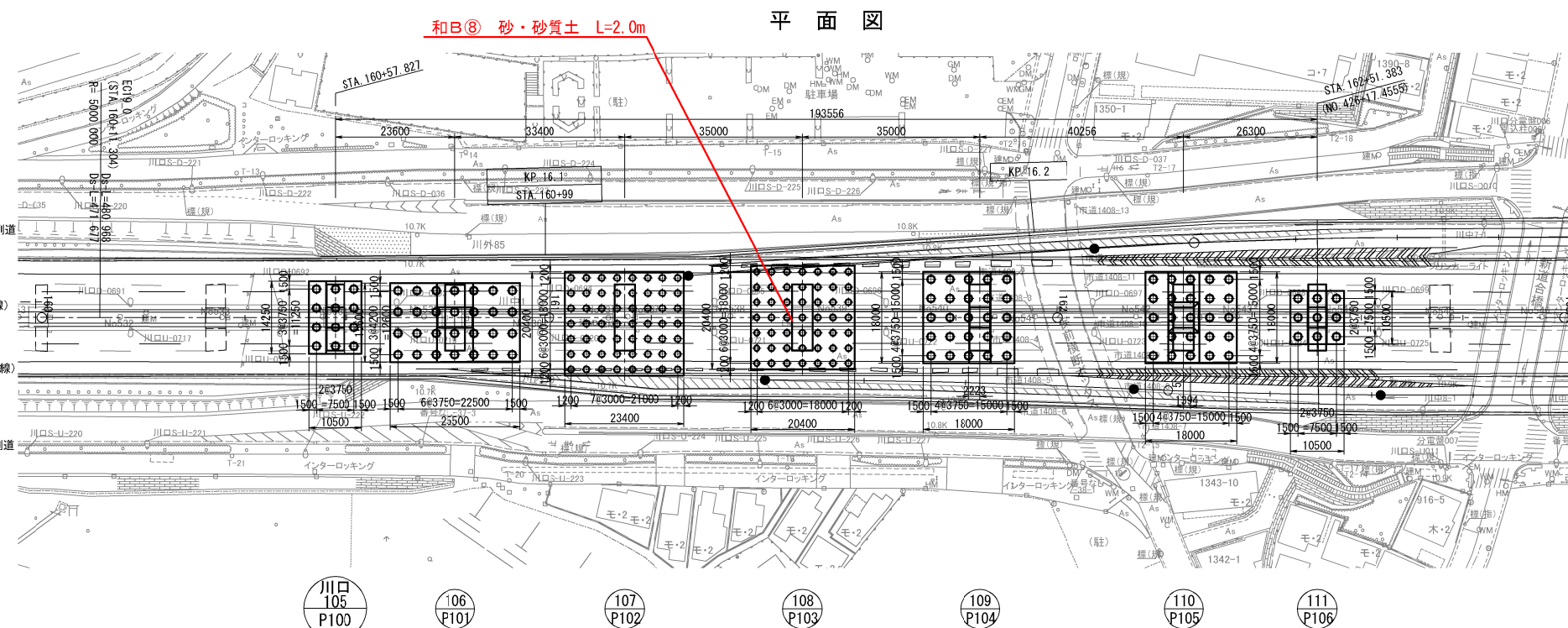
側 面 図



平 面 図

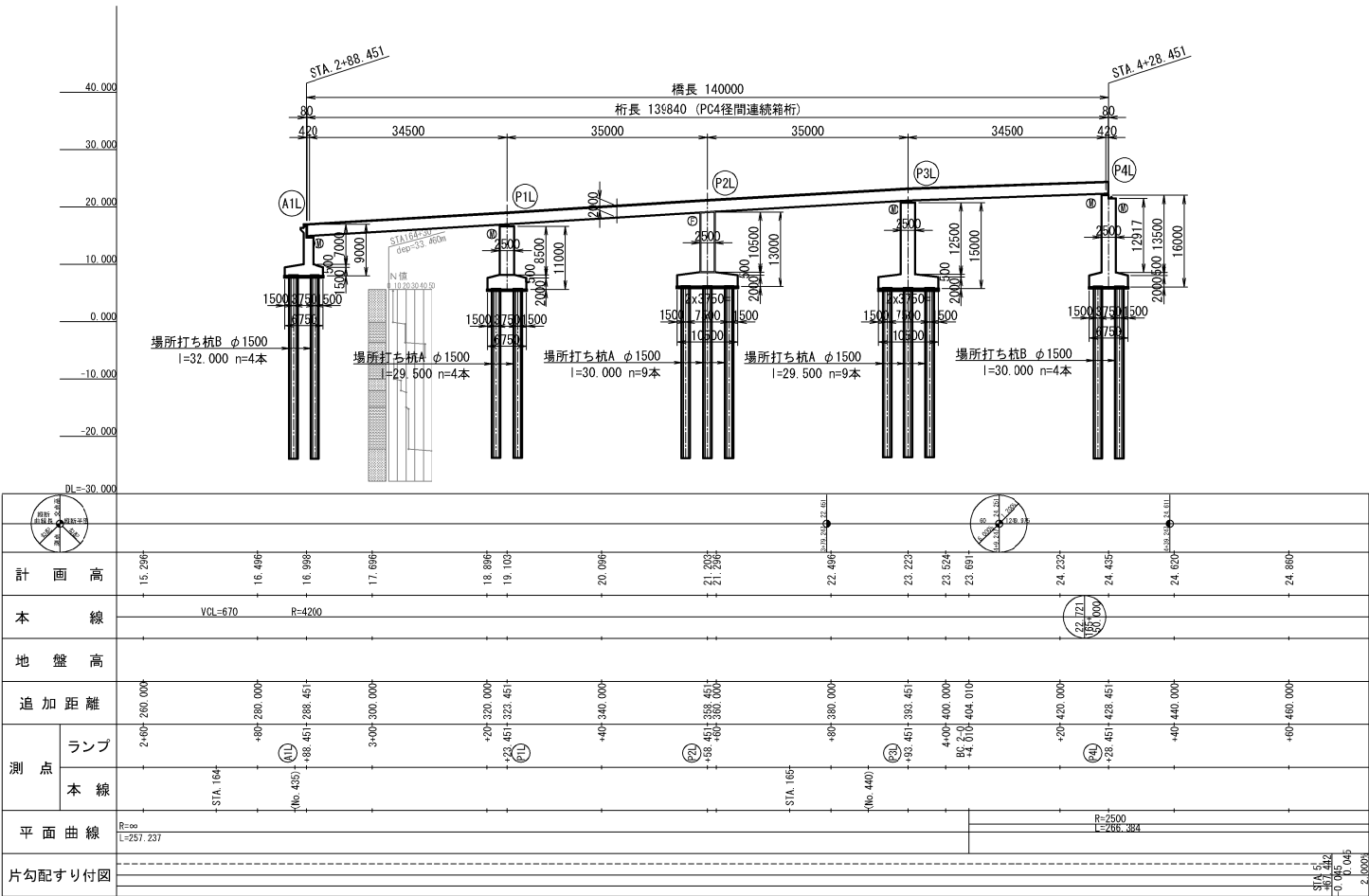


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その7）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

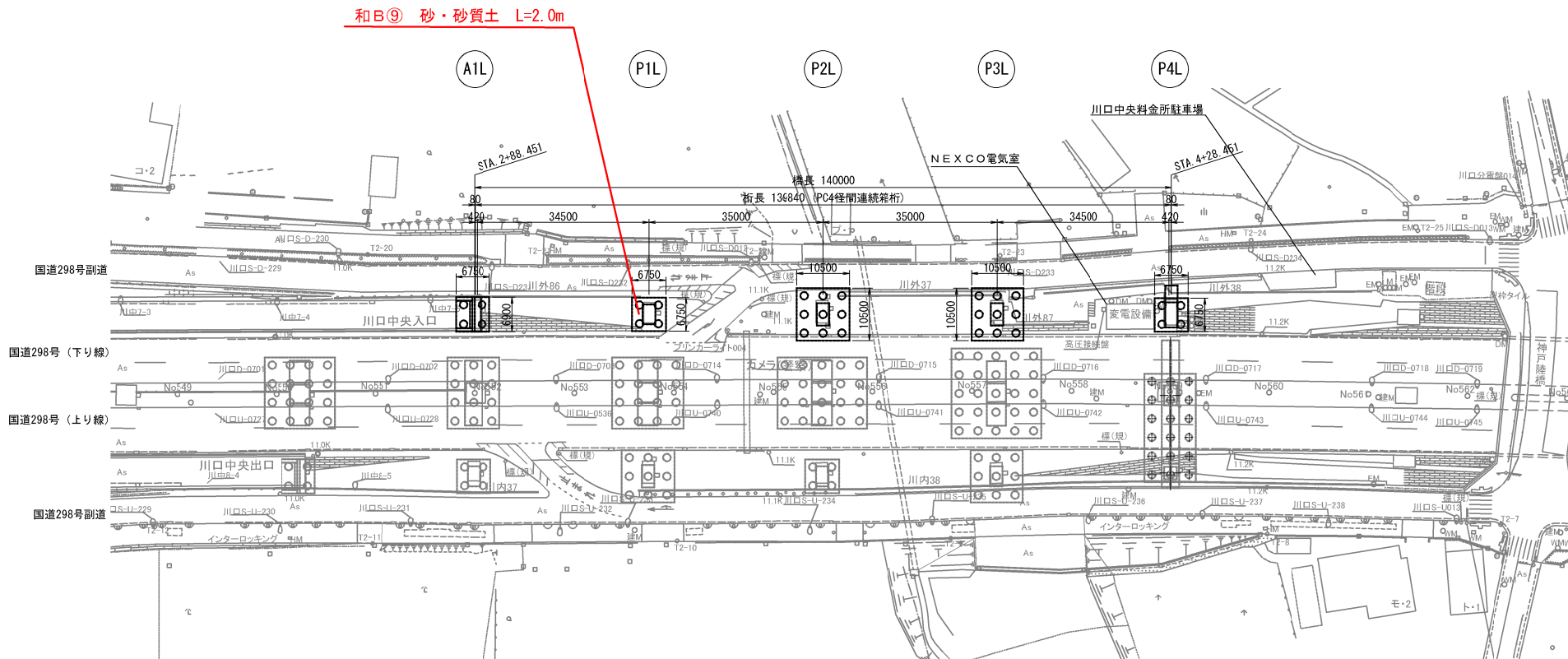


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図 (その 8) 参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

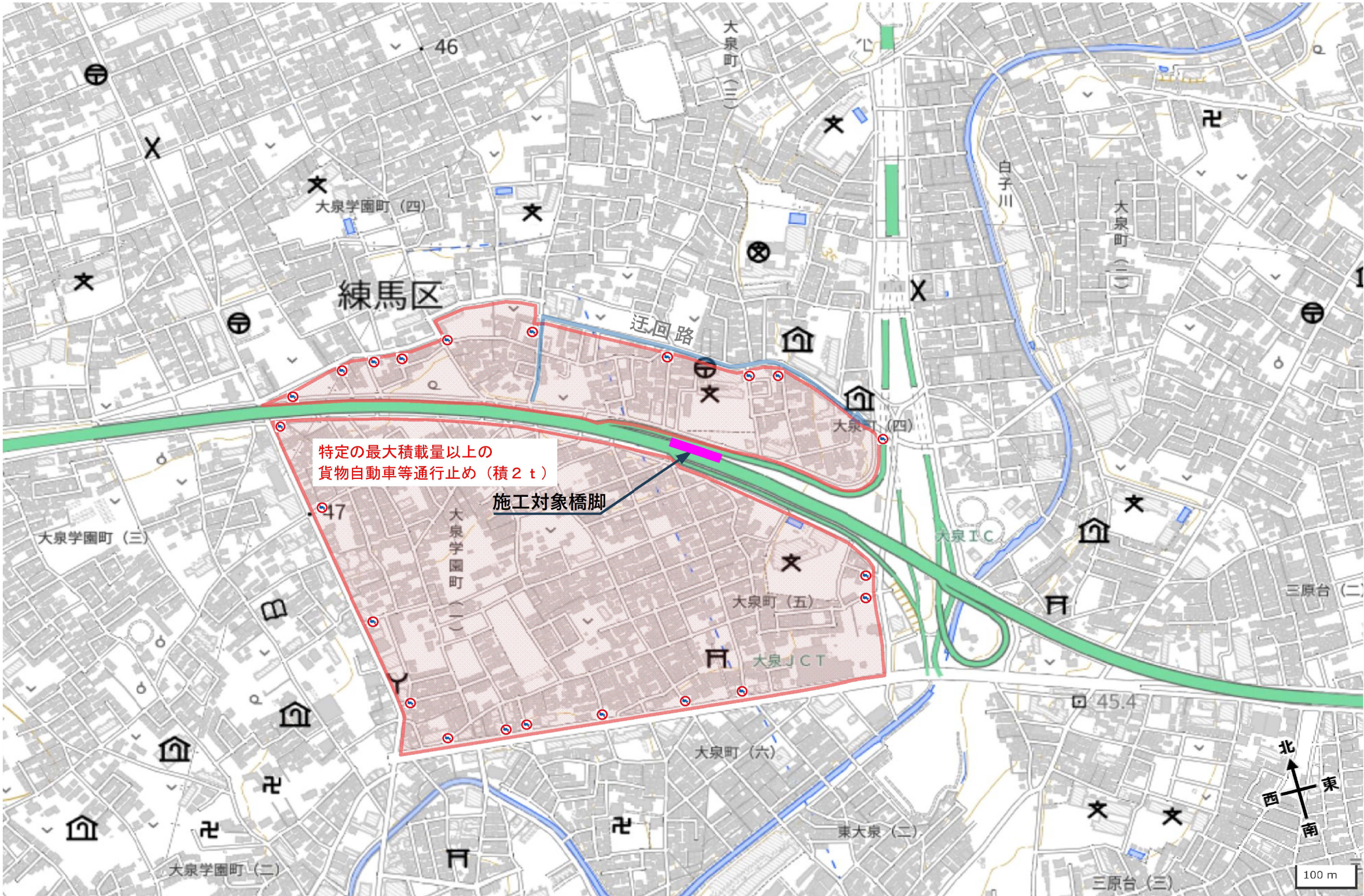
側 面 図



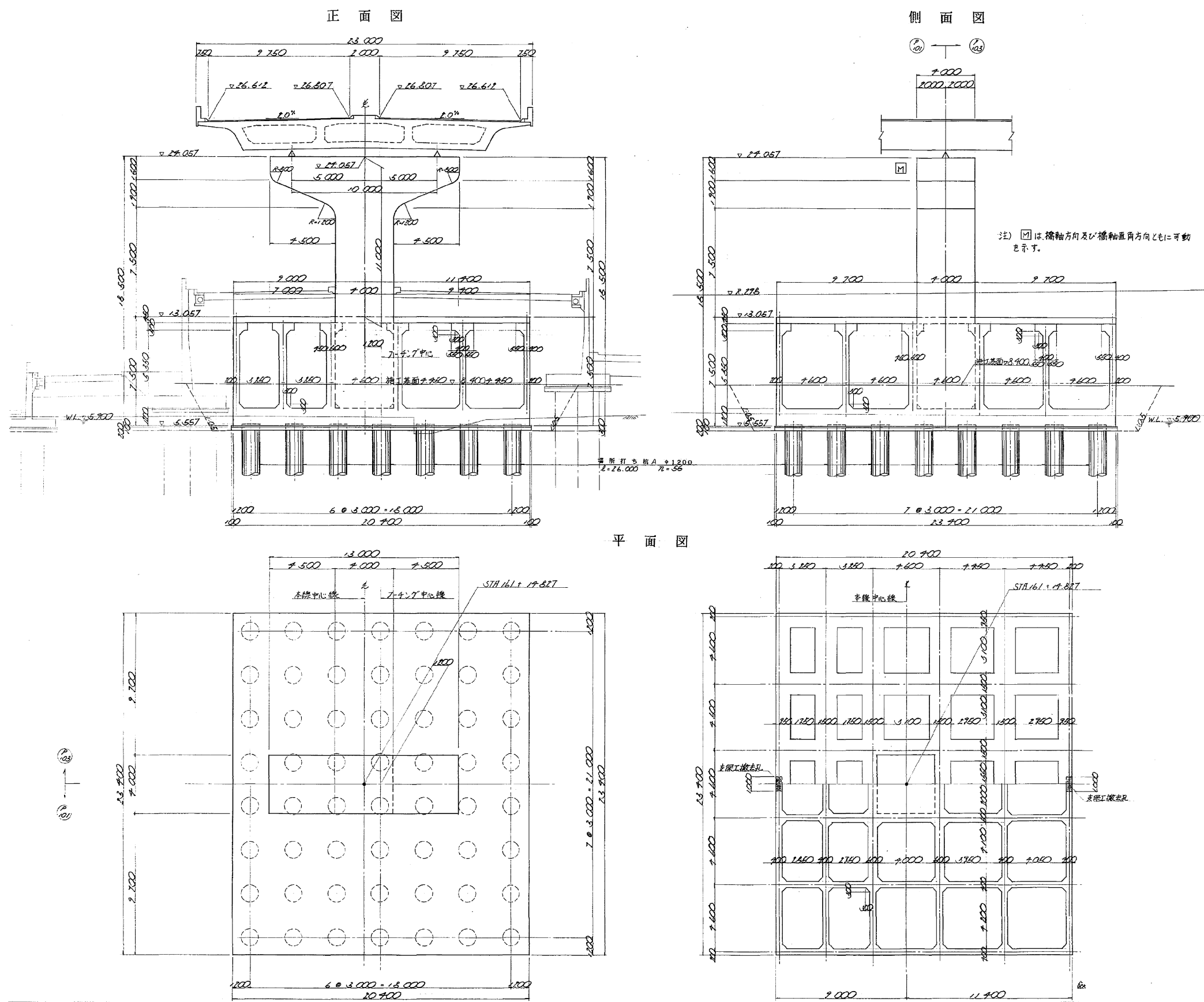
平 面 図



東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	調査ボーリング 位置図（その9）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

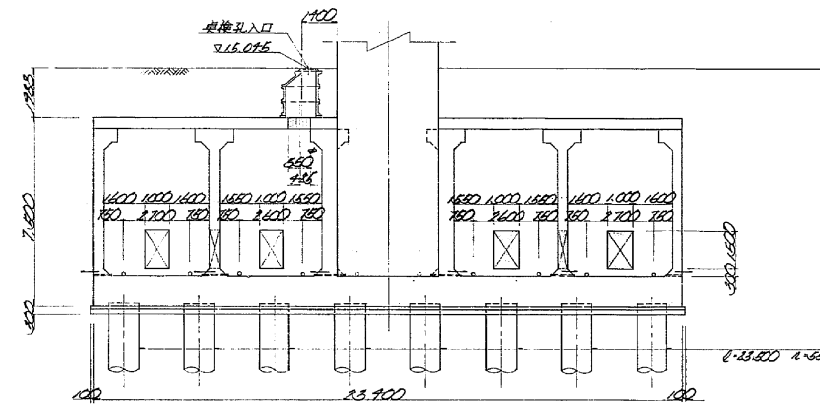


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	大泉JCT Bランプ橋 周辺道路車両規制 参考図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

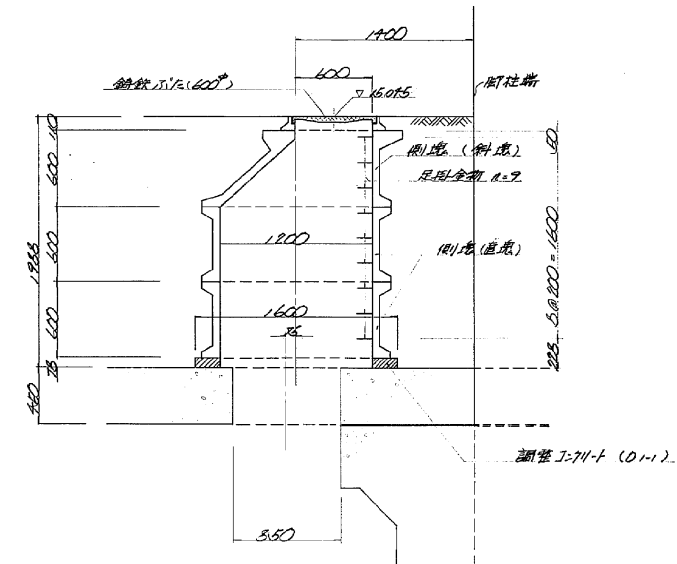


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	道合東高架橋 P102橋脚 基礎一般構造図（その1）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

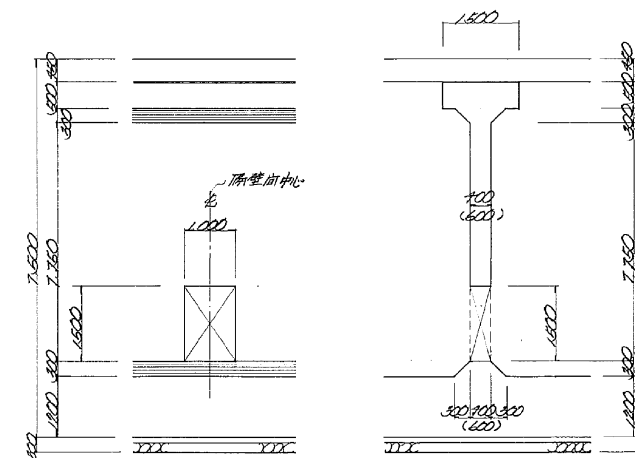
隔壁マンホール及び水抜パイプ配置図 縮尺 1:300



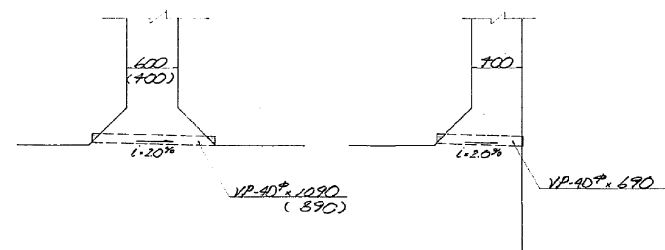
検査孔入口詳細図 縮尺 1:60



隔壁マンホール詳細図 縮尺 1:60

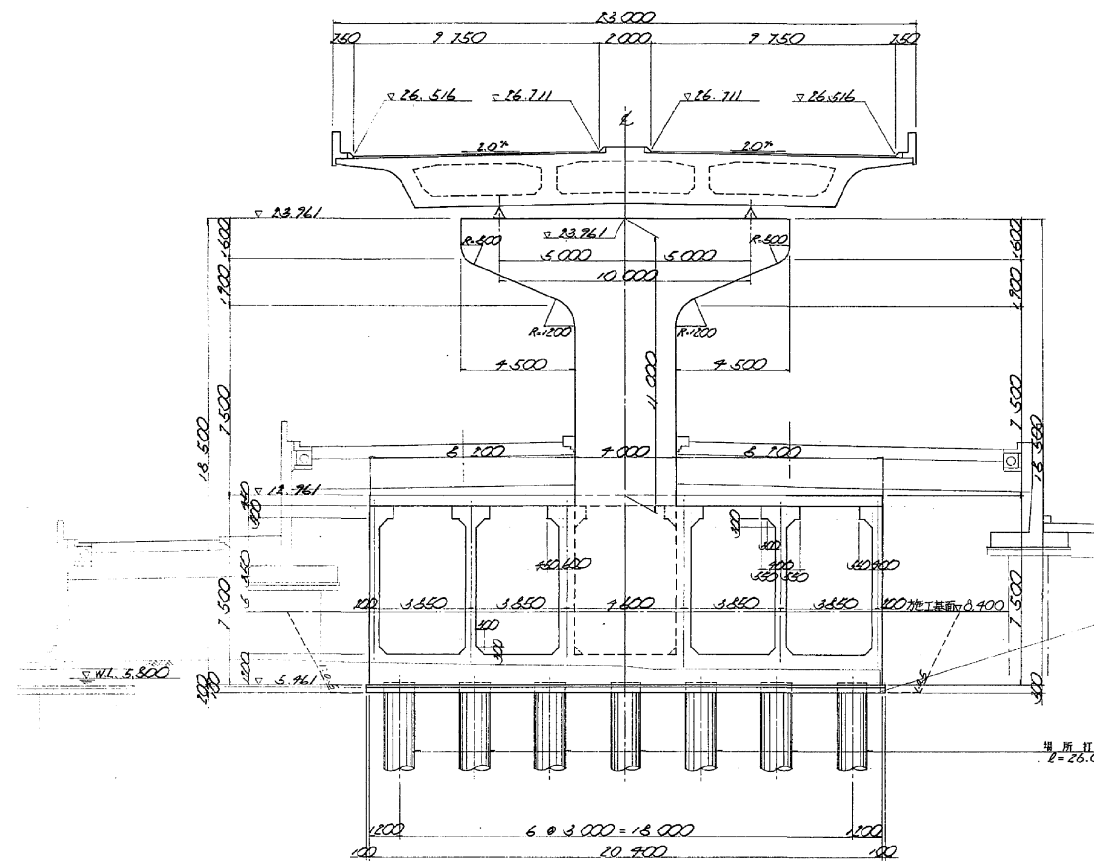


注) 排水勾配は矢印の方向に2.0%とする。
クマツ注入孔は、1室当り隅部4ヶ所設ける。

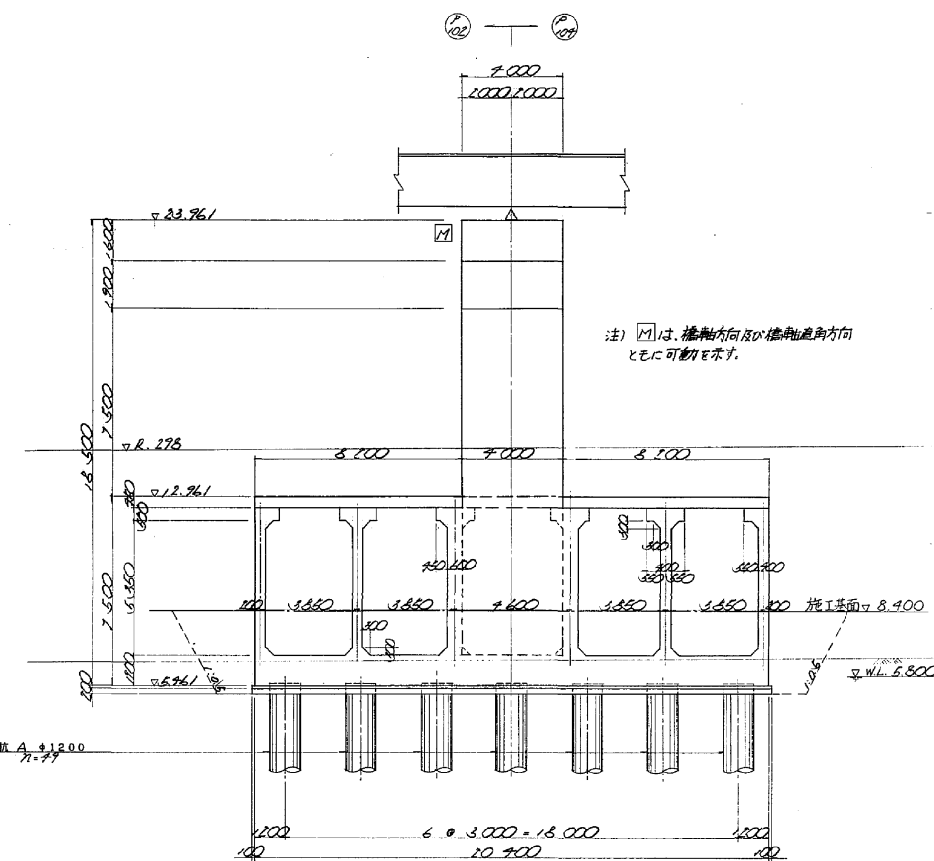


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	道合東高架橋 P102橋脚 基礎一般構造図（その2）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

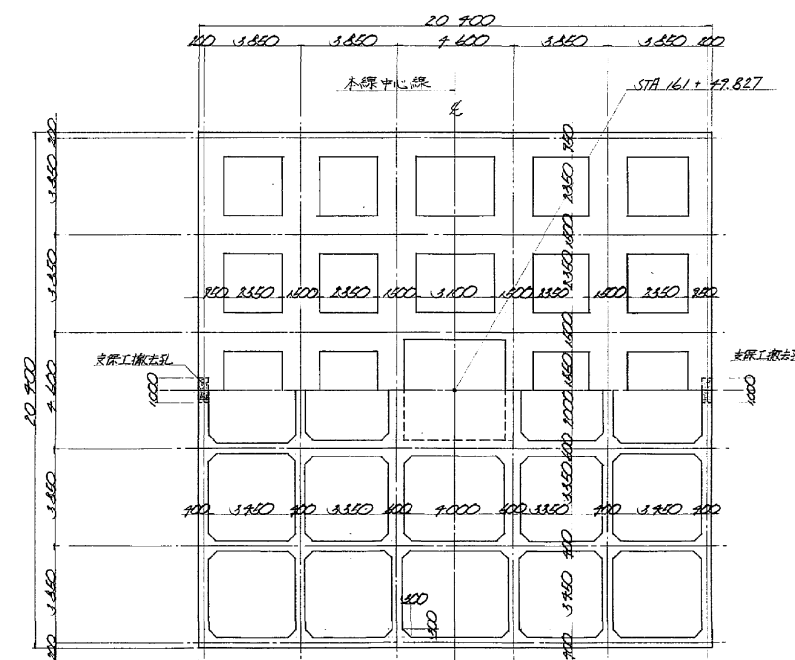
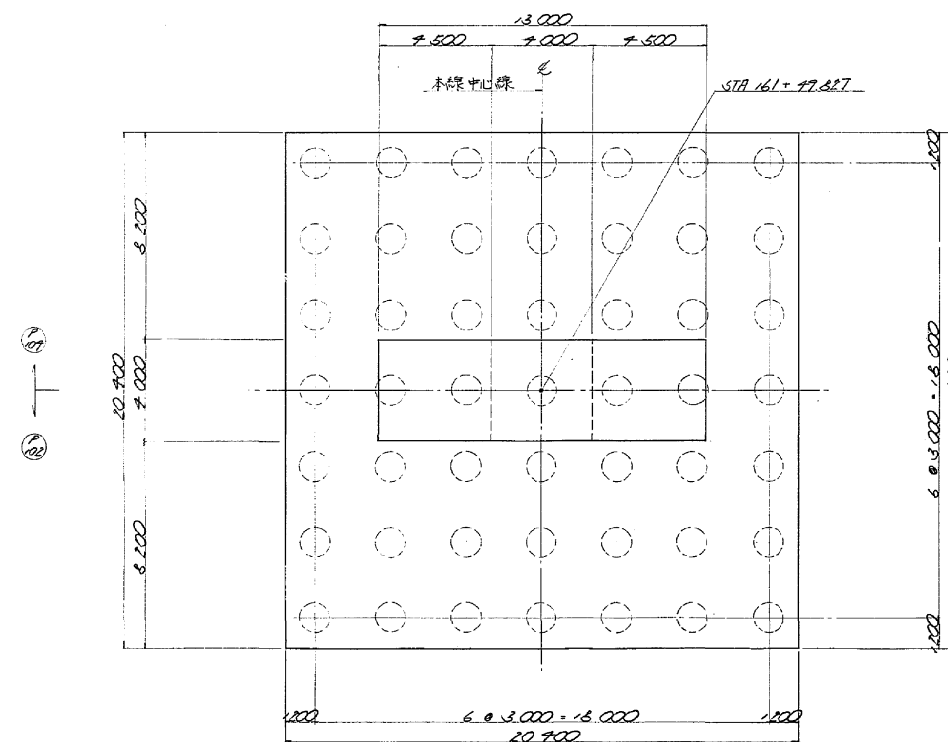
正 面 图



側面圖

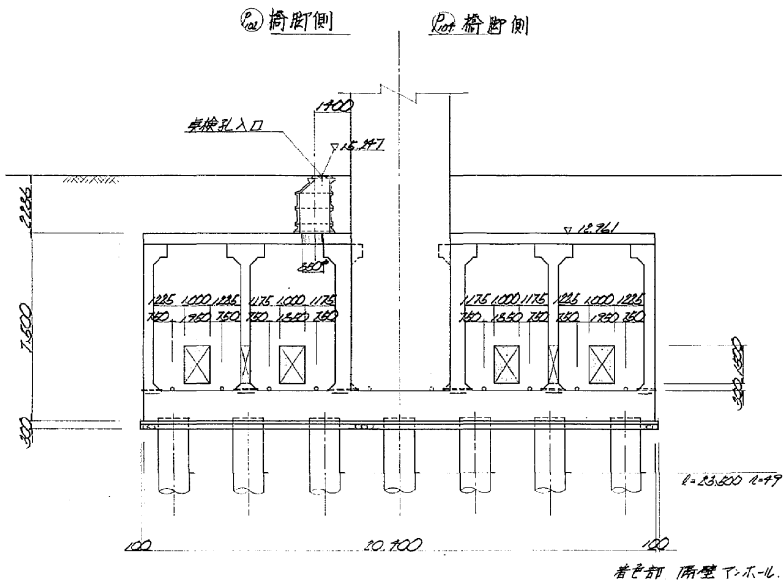


· 平面图

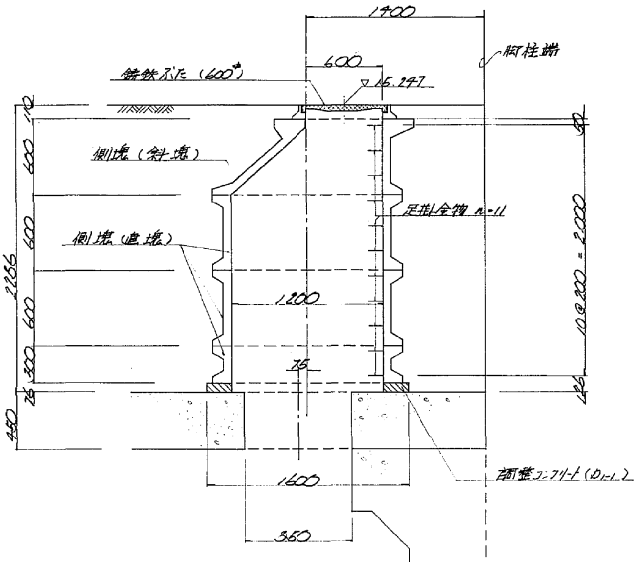


東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	道合東高架橋 P103橋脚 基礎一般構造図（その１）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		

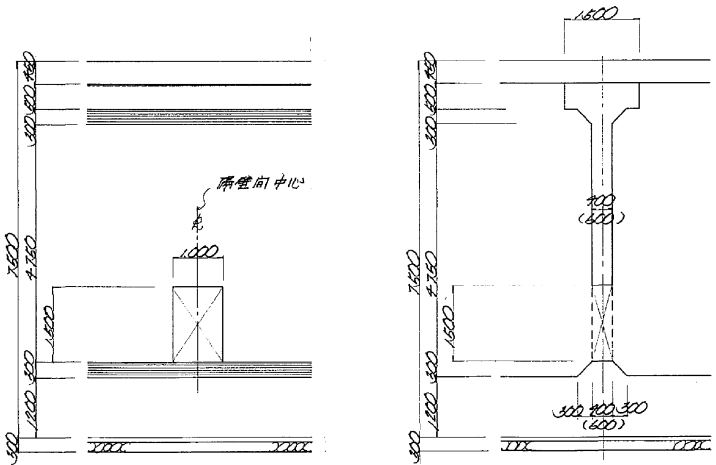
隔壁マンホール及び水抜パイプ配置図 縮尺 1:300



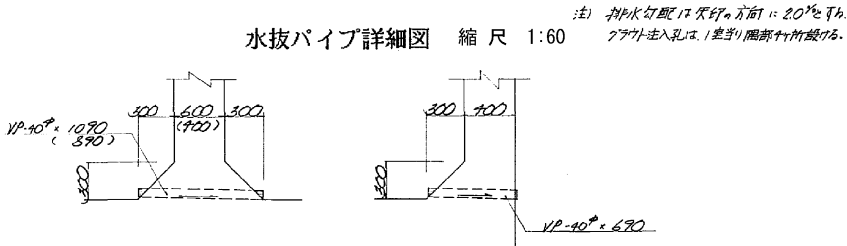
検査孔入口詳細図 縮尺 1:60



隔壁マンホール詳細図 縮尺 1:60



水抜パイプ詳細図 縮尺 1:60



東京外環自動車道 和光地区耐震補強工事			
図面の種類	道合東高架橋 P103橋脚 基礎一般構造図（その2）参考図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 三郷管理事務所		